

平成 29 年度
第 3 次日高市地域福祉計画策定に向けた
市民意識調査
市民ワークショップ
地域懇談会
報告書

平成 30 年 3 月

日高市

目次

1.市民意識調査報告書

(1) 調査概要	3
(2) 調査結果	4
あなたとご家族について	4
問1 (1) 性別	4
問1 (2) 年齢	4
問1 (3) 職業	5
問1 (4) 世帯の状況	5
問1 (5) 同居家族の状況	6
問1 (6) 居住地区	7
問1 (7) 住居形態	7
問1 (8) 居住年数	8
お住まいの地域について	9
問2 「自分の地域」と感じる範囲	9
問3 地域の住みやすさについて	10
問4 地域や周辺の環境について	11
問5 どのような近所づきあいをしているか	17
付問1 近所づきあいをしていない理由	18
問6 地域の行事や活動などに参加しているか	19
問7 地域活動や行事を活発にするために大切なこと	21
生活する上での課題や福祉サービスについて	22
問8 健康や福祉に関する情報で役に立っているもの	22
問9 どのようなことに悩みや不安を感じるか	23
問10 悩みや不安なことの相談先	24
問11 日常生活を送る上で必要な手助け	26
問12 高齢者や障がい者、子育てをしている人が支援を受けるために必要なこと	27
地域福祉を進めるための取り組みについて	28
問13 福祉との関わり方について	28
付問1 福祉活動をする理由	29
付問2 福祉活動をしない理由	30
問14 地域住民の助けあいや支えあいのために大切なこと	31
問15 手助けできると思う地域での支えあい活動	32
問16 地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件	33
問17 身の回りで起こる福祉の問題に対してどのように思うか	34

問 11「日常生活を送る上で必要な手助け」と問 15「手助けできると思う地域での支えあい活動」のクロス集計	37
問 13 付問 2「福祉活動をしない理由」と問 16「地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件」のクロス集計	40
問 13「福祉との関わり方」と問 14「地域住民の助けあいや支えあいのために大切なこと」とのクロス集計	43
問 13「福祉との関わり方」と問 16「地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件」とのクロス集計	44
参考 手助けできると思う地域での支えあい活動について（全国結果との比較） ...	45
（３）総 括	46
（４）新たな地域福祉計画の策定に向けたアンケート調査票	49

2.地域福祉に関する市民ワークショップ報告書

（１）ワークショップ実施概要	61
（２）ワークショップ実施結果	62
第 1 回-意見交換の要約	62
第 2 回-意見交換の要約	64
第 3 回-意見交換の要約	67
第 4 回-意見交換の要約	70
第 5 回-意見交換の要約	74
（３）総 括	76

3.地域懇談会報告書

（１）地域懇談会の概要	81
（２）各学校区の内容	82
○武蔵台学校区	82
○高麗川学校区	84
○高麗学校区	86
○高根学校区	88
○高菰学校区	90
○高菰北学校区	92
（３）総 括	94

1.市民意識調査報告書

（１）調査概要

調査の目的

本市では、「第３次日高市地域福祉計画」の策定に当たり、地域を取り巻く環境や地域福祉に対する意見などを把握し、計画策定や施策推進に役立てることを目的とした市民意識調査を実施しました。

調査の方法

○調査対象：市内在住の 18 歳以上の方 1,500 名（無作為抽出）

○調査期間：平成 29 年 9 月 1 日～9 月 19 日

○調査方法：郵送配布・郵送回収

○配布・回収状況：

	配布数	回収数	回収率
住民対象	1,500 票	708 票	47.2%

この報告書の見方

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第 2 位以下を四捨五入し、小数第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が 100%を超えることがあります。

(2) 調査結果

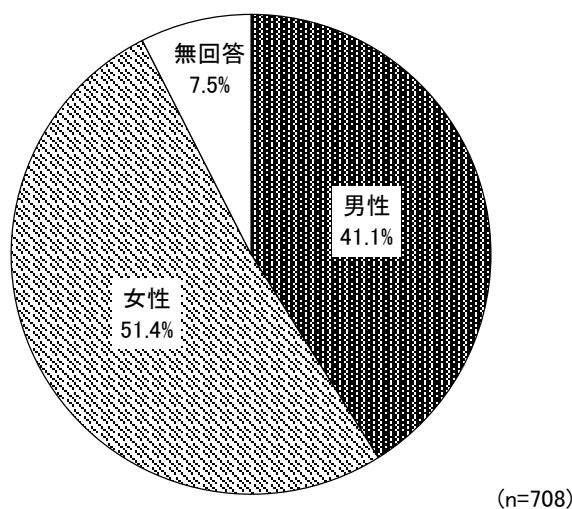
あなたとご家族について

問1 あなたとご家族についてお答えください。(それぞれ当てはまるものに○)

問1 (1) 性別

性別は、「男性」が41.1%、「女性」が51.4%となっています。

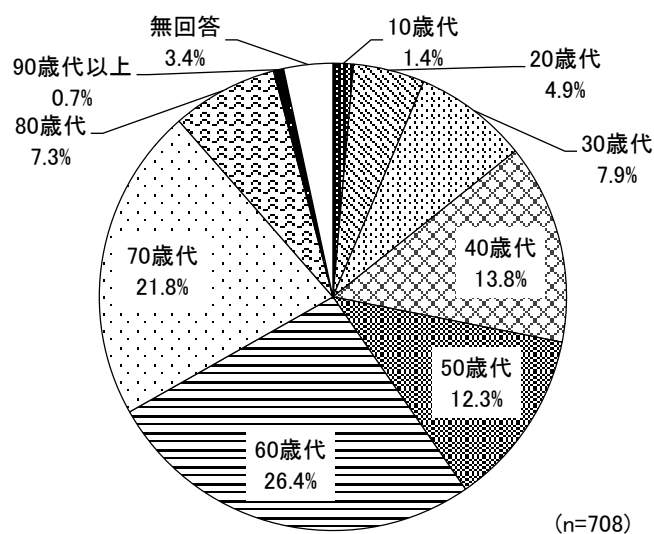
【性別】



問1 (2) 年齢

年齢は、「60歳代」が26.4%と最も高く、次いで「70歳代」が21.8%、「40歳代」が13.8%、「50歳代」が12.3%、「30歳代」が7.9%、「80歳代」が7.3%、「20歳代」が4.9%、「10歳代」が1.4%、「90歳代以上」が0.7%となっています。

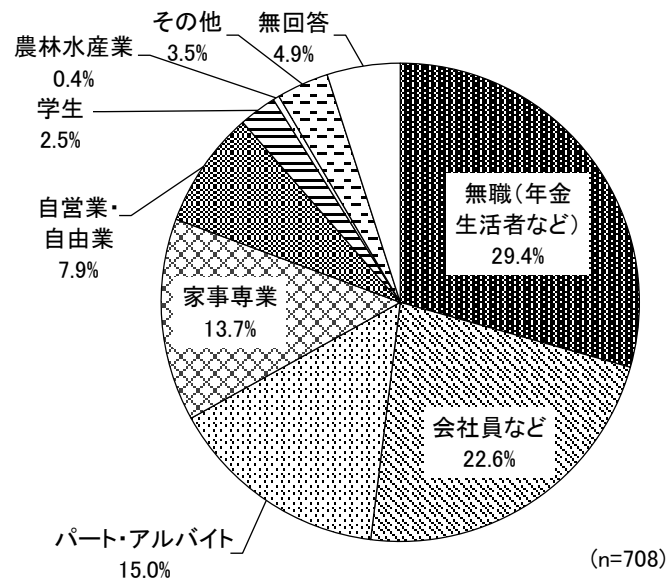
【年齢】



問 1 (3) 職業

職業は、「無職（年金生活者など）」が 29.4%と最も高く、次いで「会社員など」が 22.6%、「パート・アルバイト」が 15.0%、「家事専業」が 13.7%、「自営業・自由業」が 7.9%、「学生」が 2.5%、「農林水産業」が 0.4%となっています。

【職業】



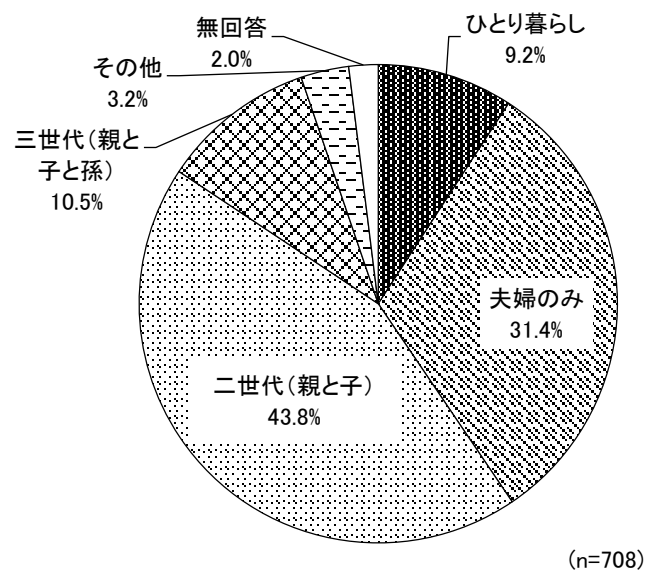
問 1 (4) 世帯の状況

世帯の状況は、「二世帯（親と子）」が 43.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が 31.4%、「三世帯（親と子と孫）」が 10.5%、「ひとり暮らし」が 9.2%となっています。

【その他】

四世代/兄弟と暮らしている など

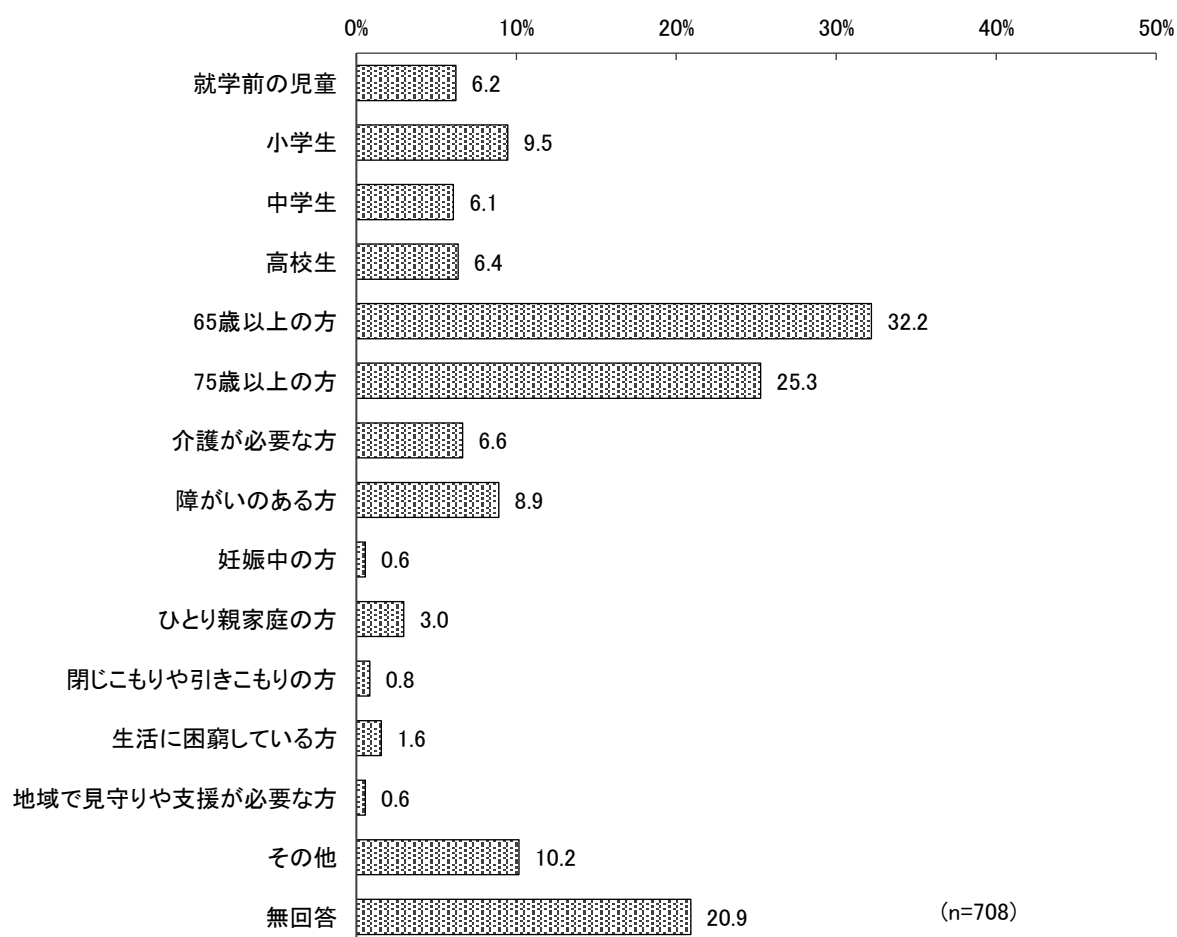
【世帯の状況】



問 1 (5) 同居家族の状況（ご自身も含み、当てはまるもの全てに○）

同居家族の状況は、「65 歳以上の方」が 32. 2%と最も高く、次いで「75 歳以上の方」が 25. 3%、「小学生」が 9. 5%、「障がいのある方」が 8. 9%、「介護が必要な方」が 6. 6%、「高校生」が 6. 4%、「就学前の児童」が 6. 2%、「中学生」が 6. 1%、「ひとり親家庭の方」が 3. 0%、「生活に困窮している方」が 1. 6%となっています。

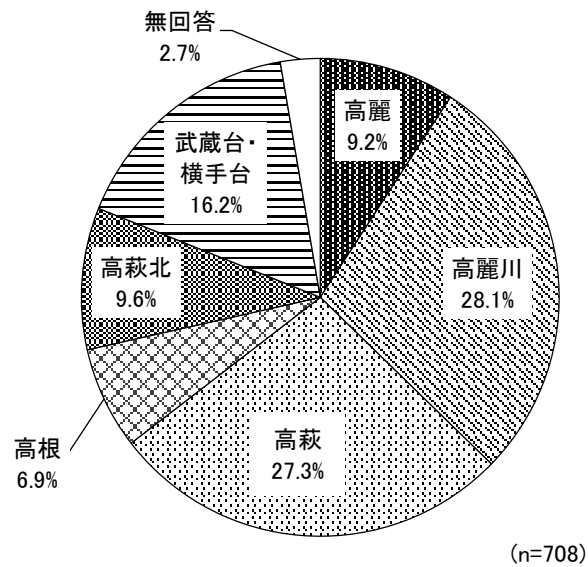
【同居家族の状況】



問１（６） 居住地区

居住地区は、「高麗川」が28.1%と最も高く、次いで「高萩」が27.3%、「武蔵台・横手台」が16.2%、「高萩北」が9.6%、「高麗」が9.2%、「高根」が6.9%となっています。

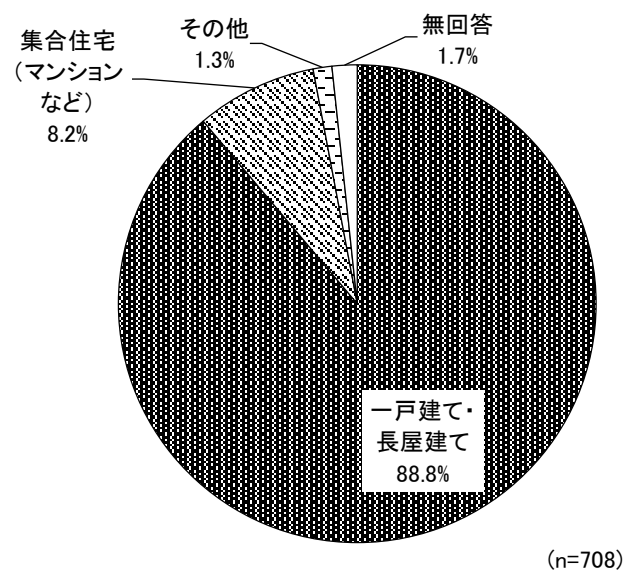
【居住地区】



問１（７） 住居形態

住居形態は、「一戸建て・長屋建て」が88.8%と最も高く、次いで「集合住宅（マンションなど）」が8.2%となっています。

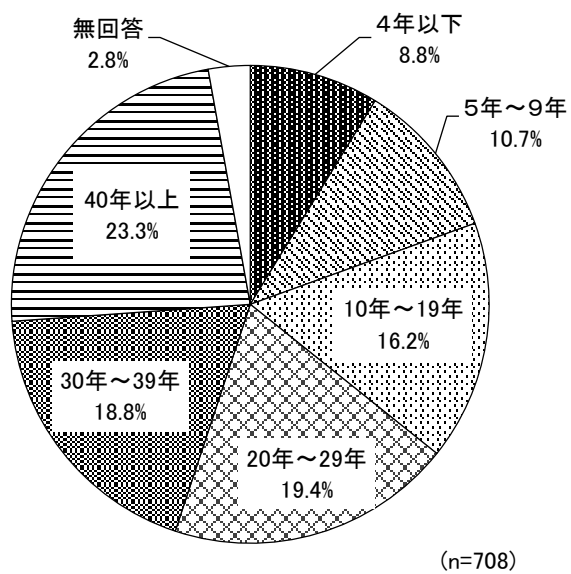
【住居形態】



問1（8） 居住年数

居住年数は、「40年以上」が23.3%と最も高く、次いで「20年～29年」が19.4%、「30年～39年」が18.8%、「10年～19年」が16.2%、「5年～9年」が10.7%、「4年以下」が8.8%となっています。

【居住年数】



お住まいの地域について

問2 あなたにとって「自分の地域」と感じるのはどれくらいの範囲ですか。(○は1つ)
～「自治会・町内会の範囲」が4割、「自宅周辺の近隣」が2割超～

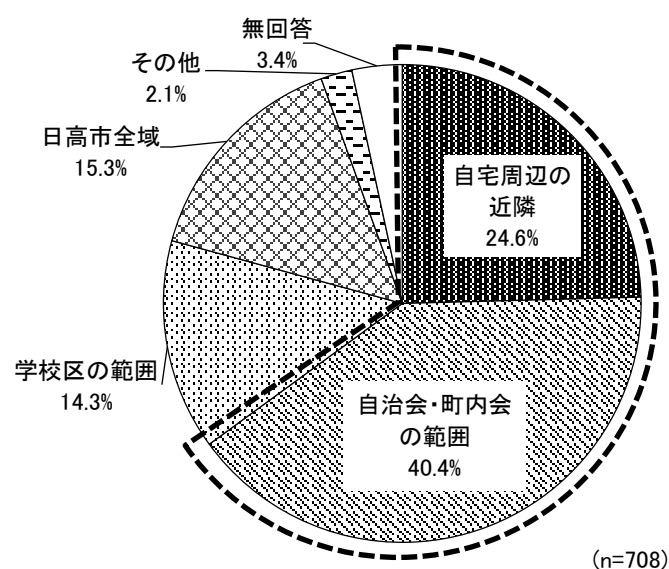
「自分の地域」と感じる範囲は、「自治会・町内会の範囲」が40.4%と最も高く、次いで「自宅周辺の近隣」が24.6%、「日高市全域」が15.3%、「学区の範囲」が14.3%となっています。

属性別でみると、年齢別では、40歳代以上は「自治会・町内会の範囲」が最も高くなっており、10歳代から30歳代では「学区の範囲」が高い傾向があります。

【その他】

埼玉県/最寄り駅周辺 など

【「自分の地域」と感じる範囲】



		自宅周辺の近隣	自治会・町内会の範囲	学区の範囲	日高市全域	その他	無回答
性別	男性(n=291)	25.4	39.2	12.0	18.2	3.1	2.1
	女性(n=364)	23.4	40.4	17.3	14.0	1.4	3.6
年齢	10歳代(n=10)	10.0	10.0	40.0	30.0	10.0	0.0
	20歳代(n=35)	37.1	20.0	31.4	8.6	2.9	0.0
	30歳代(n=56)	19.6	19.6	32.1	25.0	1.8	1.8
	40歳代(n=98)	22.4	33.7	19.4	20.4	3.1	1.0
	50歳代(n=87)	14.9	44.8	21.8	11.5	1.1	5.7
	60歳代(n=187)	26.7	43.3	9.1	18.2	1.1	1.6
	70歳代(n=154)	26.0	48.1	6.5	12.3	2.6	4.5
	80歳代(n=52)	26.9	57.7	1.9	5.8	3.8	3.8
	90歳代以上(n=5)	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	高麗(n=65)	26.2	41.5	15.4	13.8	1.5	1.5
居住地区	高麗川(n=199)	28.1	36.2	16.6	16.1	1.5	1.5
	高萩(n=193)	28.0	42.0	11.4	14.0	0.5	4.1
	高根(n=49)	14.3	36.7	22.4	20.4	4.1	2.0
	高萩北(n=68)	17.6	41.2	19.1	14.7	1.5	5.9
	武蔵台・横手台(n=115)	17.4	49.6	8.7	17.4	4.3	2.6

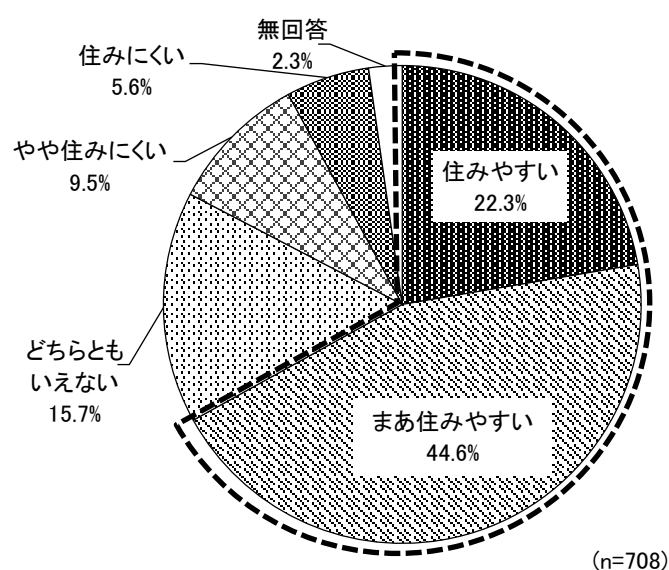
問3 自分の地域の住みやすさについて総合的にどう感じますか。(○は1つ)

～「住みやすい」と「まあ住みやすい」の合計が6割超～

地域の住みやすさは、「まあ住みやすい」が44.6%と最も高く、次いで「住みやすい」が22.3%、「どちらともいえない」が15.7%、「やや住みにくい」が9.5%、「住みにくい」が5.6%となっていて、「住みやすい」と「まあ住みやすい」の合計は66.9%となっています。

属性別で「住みやすい」と「まあ住みやすい」の合計をみると、性別では男性が72.1%、女性が64.6%と男性が7.5ポイント高くなっています。年齢別では、80歳代が75.0%と最も高く、次いで60歳代が73.8%となっています。居住地区別では、「高麗」が78.5%で最も高く、最も低い「武蔵台・横手台」とは22.0ポイントの差があります。

【地域の住みやすさについて】



		住みやすい	まあ住みやすい	どちらともいえない	やや住みにくい	住みにくい	無回答
性別	男性(n=291)	21.6	50.5	13.1	7.2	6.5	1.0
	女性(n=364)	23.1	41.5	16.8	11.5	4.9	2.2
年齢	10歳代(n=10)	20.0	40.0	20.0	10.0	10.0	0.0
	20歳代(n=35)	14.3	45.7	14.3	11.4	14.3	0.0
	30歳代(n=56)	16.1	51.8	16.1	10.7	3.6	1.8
	40歳代(n=98)	21.4	40.8	22.4	9.2	5.1	1.0
	50歳代(n=87)	21.8	44.8	19.5	6.9	3.4	3.4
	60歳代(n=187)	29.4	44.4	10.7	8.0	5.9	1.6
	70歳代(n=154)	21.4	42.2	14.9	13.0	5.8	2.6
	80歳代(n=52)	19.2	55.8	13.5	7.7	1.9	1.9
	90歳代以上(n=5)	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	32.3	46.2	10.8	6.2	1.5	3.1
	高麗川(n=199)	25.1	48.7	13.6	7.5	4.0	1.0
	高萩(n=193)	17.1	46.6	18.7	10.9	4.7	2.1
	高根(n=49)	30.6	40.8	12.2	8.2	8.2	0.0
	高萩北(n=68)	17.6	47.1	16.2	7.4	7.4	4.4
	武蔵台・横手台(n=115)	19.1	37.4	18.3	14.8	9.6	0.9

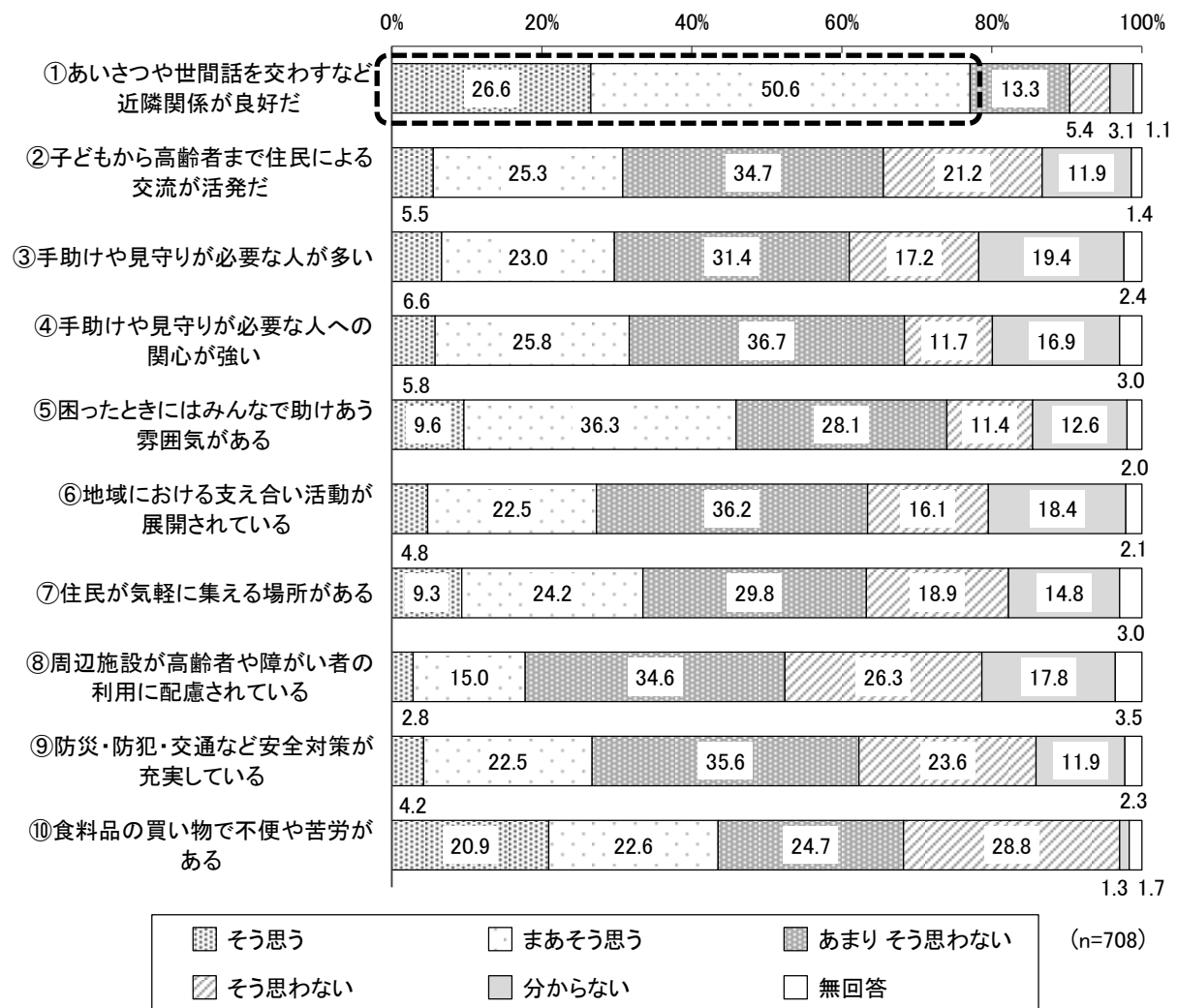
問4 自分の地域や周辺の環境についてどう思いますか。(それぞれ当てはまるものに○)

～「①あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ」は

「そう思う」と「まあそう思う」の合計が7割超～

地域や周辺の環境については、「①あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ」「⑤困ったときにはみんなで助けあう雰囲気がある」は「まあそう思う」がそれぞれ最も高くなっています。「⑩食料品の買い物で不便や苦労がある」は「そう思わない」が最も高くなっています。その他の設問は「あまりそう思わない」が最も高くなっています。

【地域や周辺の環境について】



①あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、年齢別では、ほとんど7割以上となっていますが、5割以下の年代もあります。

居住地区別では、9割近くになる地区もみられます。

		そう思う	まあそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性(n=291)	18.9	52.6	16.8	7.2	4.1	0.3
	女性(n=364)	31.3	49.5	11.3	4.7	2.2	1.1
年齢	10歳代(n=10)	30.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	20歳代(n=35)	5.7	37.1	22.9	28.6	5.7	0.0
	30歳代(n=56)	19.6	53.6	19.6	5.4	1.8	0.0
	40歳代(n=98)	19.4	61.2	10.2	5.1	4.1	0.0
	50歳代(n=87)	21.8	54.0	13.8	3.4	4.6	2.3
	60歳代(n=187)	27.8	52.9	11.8	4.3	3.2	0.0
	70歳代(n=154)	32.5	46.8	13.0	3.2	2.6	1.9
	80歳代(n=52)	36.5	46.2	13.5	3.8	0.0	0.0
	90歳代以上(n=5)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	33.8	55.4	7.7	3.1	0.0	0.0
	高麗川(n=199)	27.6	53.3	11.1	5.5	2.5	0.0
	高萩(n=193)	26.4	49.7	12.4	5.7	3.6	2.1
	高根(n=49)	20.4	51.0	22.4	4.1	2.0	0.0
	高萩北(n=68)	33.8	44.1	14.7	2.9	4.4	0.0
	武蔵台・横手台(n=115)	20.9	53.0	17.4	5.2	2.6	0.9

②子どもから高齢者まで住民による交流が活発だ

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、居住地区別では、5割を超える地区もみられますが、2割程度の地区もあり、差が大きくなっています。

		そう思う	まあそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性(n=291)	4.1	23.7	37.5	22.0	11.3	1.4
	女性(n=364)	6.0	26.4	33.2	20.9	13.2	0.3
年齢	10歳代(n=10)	20.0	0.0	40.0	10.0	30.0	0.0
	20歳代(n=35)	8.6	17.1	22.9	40.0	11.4	0.0
	30歳代(n=56)	3.6	21.4	37.5	26.8	10.7	0.0
	40歳代(n=98)	7.1	28.6	35.7	17.3	11.2	0.0
	50歳代(n=87)	4.6	23.0	40.2	13.8	17.2	1.1
	60歳代(n=187)	3.7	27.3	38.0	17.1	12.8	1.1
	70歳代(n=154)	5.2	26.0	29.9	27.9	9.1	1.9
	80歳代(n=52)	5.8	28.8	34.6	19.2	9.6	1.9
	90歳代以上(n=5)	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	9.2	41.5	20.0	23.1	6.2	0.0
	高麗川(n=199)	5.5	23.6	40.7	18.6	9.5	2.0
	高萩(n=193)	6.2	27.5	33.7	17.6	14.0	1.0
	高根(n=49)	4.1	18.4	42.9	30.6	4.1	0.0
	高萩北(n=68)	4.4	27.9	32.4	19.1	16.2	0.0
	武蔵台・横手台(n=115)	2.6	19.1	35.7	27.0	14.8	0.9

③手助けや見守りが必要な人が多い

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、年齢別では、3割前後が多くなっていますが4割を超える年代もみられます。

居住地区別では、2割以下の地区があるのに対して、5割の地区もあり、差が大きくなっています。

		そう思う	まあそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性(n=291)	6.5	26.8	28.9	16.5	18.9	2.4
	女性(n=364)	6.6	20.6	33.5	17.9	20.1	1.4
年齢	10歳代(n=10)	10.0	10.0	70.0	0.0	10.0	0.0
	20歳代(n=35)	8.6	34.3	22.9	11.4	22.9	0.0
	30歳代(n=56)	5.4	21.4	33.9	16.1	21.4	1.8
	40歳代(n=98)	5.1	22.4	41.8	14.3	16.3	0.0
	50歳代(n=87)	8.0	23.0	33.3	12.6	21.8	1.1
	60歳代(n=187)	7.5	21.4	28.9	18.7	20.3	3.2
	70歳代(n=154)	6.5	22.7	27.9	20.8	19.5	2.6
	80歳代(n=52)	1.9	23.1	32.7	21.2	17.3	3.8
	90歳代以上(n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高麗(n=65)	3.1	27.7	36.9	18.5	12.3	1.5
居住 地区	高麗川(n=199)	4.5	14.1	37.7	19.1	21.6	3.0
	高萩(n=193)	5.7	23.3	34.7	15.0	18.1	3.1
	高根(n=49)	10.2	36.7	20.4	10.2	22.4	0.0
	高萩北(n=68)	5.9	13.2	32.4	32.4	16.2	0.0
	武蔵台・横手台(n=115)	12.2	38.3	19.1	10.4	19.1	0.9

④手助けや見守りが必要な人への関心が強い

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、年齢別では、50歳代までは3割以下ですが、60歳代以上は3割を超えています。

		そう思う	まあそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性(n=291)	3.8	24.4	40.9	11.0	17.5	2.4
	女性(n=364)	7.4	27.2	33.8	11.8	17.3	2.5
年齢	10歳代(n=10)	20.0	0.0	30.0	30.0	20.0	0.0
	20歳代(n=35)	2.9	20.0	37.1	22.9	17.1	0.0
	30歳代(n=56)	5.4	16.1	44.6	14.3	19.6	0.0
	40歳代(n=98)	4.1	22.4	51.0	9.2	13.3	0.0
	50歳代(n=87)	3.4	23.0	41.4	9.2	21.8	1.1
	60歳代(n=187)	4.8	32.1	33.7	9.6	16.6	3.2
	70歳代(n=154)	8.4	30.5	30.5	11.0	16.2	3.2
	80歳代(n=52)	7.7	23.1	30.8	13.5	15.4	9.6
	90歳代以上(n=5)	0.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0
	高麗(n=65)	4.6	35.4	35.4	9.2	13.8	1.5
居住 地区	高麗川(n=199)	4.5	26.6	40.7	10.6	14.1	3.5
	高萩(n=193)	7.8	21.2	36.8	13.0	17.6	3.6
	高根(n=49)	8.2	22.4	32.7	6.1	28.6	2.0
	高萩北(n=68)	5.9	26.5	33.8	14.7	17.6	1.5
	武蔵台・横手台(n=115)	5.2	29.6	35.7	11.3	17.4	0.9

⑤困ったときにはみんなで助けあう雰囲気がある

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、性別では女性は5割を超えており、男性との差が大きくなっています。

年齢別では、20歳代が他の年代よりも低くなっており、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計が上回っています。

居住地区別では、4割以下の地区があるのに対して、6割の地区もあり、差が大きくなっています。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性(n=291)	6.5	32.3	33.7	13.1	12.0	2.4
	女性(n=364)	12.6	39.3	23.4	11.0	12.9	0.8
年齢	10歳代(n=10)	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0
	20歳代(n=35)	0.0	28.6	37.1	14.3	20.0	0.0
	30歳代(n=56)	7.1	32.1	33.9	14.3	12.5	0.0
	40歳代(n=98)	11.2	35.7	26.5	15.3	11.2	0.0
	50歳代(n=87)	3.4	42.5	25.3	12.6	14.9	1.1
	60歳代(n=187)	8.0	41.2	25.7	8.6	13.4	3.2
	70歳代(n=154)	12.3	34.4	32.5	11.0	8.4	1.3
	80歳代(n=52)	17.3	32.7	21.2	7.7	17.3	3.8
	90歳代以上(n=5)	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	16.9	43.1	23.1	6.2	9.2	1.5
	高麗川(n=199)	8.5	40.7	28.1	9.5	10.6	2.5
	高萩(n=193)	10.9	33.2	28.0	13.5	12.4	2.1
	高根(n=49)	8.2	30.6	32.7	14.3	14.3	0.0
	高萩北(n=68)	10.3	48.5	22.1	10.3	8.8	0.0
	武蔵台・横手台(n=115)	5.2	29.6	36.5	12.2	15.7	0.9

⑥地域における支え合い活動が展開されている

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、年齢別では、1割台の年代と3割を超えている年代があり、差が大きくなっています。

		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性(n=291)	3.4	22.3	36.8	15.8	19.6	2.1
	女性(n=364)	4.9	23.1	36.0	16.2	18.4	1.4
年齢	10歳代(n=10)	30.0	0.0	30.0	20.0	20.0	0.0
	20歳代(n=35)	2.9	11.4	34.3	28.6	22.9	0.0
	30歳代(n=56)	5.4	17.9	35.7	25.0	16.1	0.0
	40歳代(n=98)	4.1	26.5	34.7	11.2	22.4	1.0
	50歳代(n=87)	2.3	14.9	42.5	14.9	23.0	2.3
	60歳代(n=187)	3.2	24.1	41.7	11.2	17.1	2.7
	70歳代(n=154)	5.2	28.6	31.2	17.5	16.2	1.3
	80歳代(n=52)	5.8	26.9	30.8	17.3	15.4	3.8
	90歳代以上(n=5)	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	7.7	26.2	38.5	15.4	9.2	3.1
	高麗川(n=199)	5.0	19.6	38.2	17.1	17.1	3.0
	高萩(n=193)	4.7	21.2	36.3	16.1	19.7	2.1
	高根(n=49)	6.1	22.4	36.7	14.3	20.4	0.0
	高萩北(n=68)	2.9	22.1	38.2	16.2	20.6	0.0
	武蔵台・横手台(n=115)	4.3	28.7	33.9	14.8	18.3	0.0

⑦住民が気軽に集える場所がある

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、年齢別では、2割台の年代と4割を超えている年代があり、差が大きくなっています。

居住地区別では、2割台の地区があるのに対して、5割近くの地区もあり、差が大きくなっています。

		そう思う	まあそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性(n=291)	7.6	24.4	30.9	20.6	14.8	1.7
	女性(n=364)	9.9	23.1	29.9	18.7	15.9	2.5
年齢	10歳代(n=10)	0.0	50.0	20.0	20.0	10.0	0.0
	20歳代(n=35)	5.7	17.1	40.0	14.3	22.9	0.0
	30歳代(n=56)	5.4	19.6	35.7	23.2	14.3	1.8
	40歳代(n=98)	6.1	31.6	29.6	17.3	15.3	0.0
	50歳代(n=87)	8.0	13.8	35.6	21.8	19.5	1.1
	60歳代(n=187)	7.0	25.1	27.8	21.4	14.4	4.3
	70歳代(n=154)	16.9	26.6	26.0	14.9	13.0	2.6
	80歳代(n=52)	9.6	21.2	36.5	13.5	13.5	5.8
	90歳代以上(n=5)	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	高麗(n=65)	9.2	38.5	27.7	15.4	7.7	1.5
居住地区	高麗川(n=199)	8.0	26.6	29.1	16.6	16.1	3.5
	高萩(n=193)	11.9	20.2	31.1	19.7	14.0	3.1
	高根(n=49)	14.3	24.5	24.5	14.3	20.4	2.0
	高萩北(n=68)	7.4	25.0	27.9	25.0	14.7	0.0
	武蔵台・横手台(n=115)	7.0	20.0	36.5	21.7	13.0	1.7

⑧周辺施設が高齢者や障がい者の利用に配慮されている

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、年齢別では、30歳代までは2割以上となっていて、40歳代以上の年代よりもやや高くなっています。

		そう思う	まあそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性(n=291)	2.1	14.4	37.5	26.8	16.8	2.4
	女性(n=364)	3.6	14.3	33.8	25.5	19.2	3.6
年齢	10歳代(n=10)	0.0	20.0	50.0	10.0	20.0	0.0
	20歳代(n=35)	5.7	22.9	42.9	11.4	14.3	2.9
	30歳代(n=56)	3.6	19.6	35.7	23.2	17.9	0.0
	40歳代(n=98)	1.0	13.3	42.9	29.6	13.3	0.0
	50歳代(n=87)	1.1	10.3	33.3	27.6	25.3	2.3
	60歳代(n=187)	3.7	12.8	31.6	27.8	18.2	5.9
	70歳代(n=154)	2.6	18.2	31.2	24.7	19.5	3.9
	80歳代(n=52)	1.9	17.3	36.5	26.9	13.5	3.8
	90歳代以上(n=5)	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	高麗(n=65)	1.5	16.9	40.0	21.5	15.4	4.6
居住地区	高麗川(n=199)	3.5	19.1	31.7	26.1	16.6	3.0
	高萩(n=193)	2.1	9.8	38.9	28.0	17.1	4.1
	高根(n=49)	0.0	16.3	34.7	28.6	18.4	2.0
	高萩北(n=68)	4.4	11.8	36.8	22.1	25.0	0.0
	武蔵台・横手台(n=115)	3.5	17.4	31.3	28.7	15.7	3.5

⑨防災・防犯・交通など安全対策が充実している

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、年齢別では、2割以下の年代と3割を超えている年代があり、差が大きくなっています。

居住地区別では、2割台の地区があるのに対して、3割を超える地区もあり、やや差が大きくなっています。

		そう思う	まあそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性(n=291)	4.5	21.0	37.8	24.7	10.3	1.7
	女性(n=364)	3.8	22.5	34.6	23.6	13.7	1.6
年齢	10歳代(n=10)	10.0	10.0	40.0	30.0	10.0	0.0
	20歳代(n=35)	2.9	31.4	31.4	20.0	14.3	0.0
	30歳代(n=56)	1.8	17.9	42.9	25.0	12.5	0.0
	40歳代(n=98)	4.1	23.5	30.6	31.6	10.2	0.0
	50歳代(n=87)	2.3	19.5	34.5	25.3	17.2	1.1
	60歳代(n=187)	4.8	19.8	40.6	20.9	10.7	3.2
	70歳代(n=154)	5.2	25.3	33.1	21.4	12.3	2.6
	80歳代(n=52)	1.9	28.8	36.5	17.3	11.5	3.8
	90歳代以上(n=5)	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	高麗(n=65)	6.2	30.8	35.4	13.8	12.3	1.5
居住地区	高麗川(n=199)	5.5	21.1	32.7	26.6	12.6	1.5
	高萩(n=193)	2.6	18.7	37.3	26.4	12.4	2.6
	高根(n=49)	12.2	24.5	36.7	16.3	10.2	0.0
	高萩北(n=68)	0.0	22.1	36.8	25.0	14.7	1.5
	武蔵台・横手台(n=115)	3.5	24.3	39.1	22.6	7.8	2.6

⑩食料品の買い物で不便や苦労がある

「そう思う」と「まあそう思う」の合計は、年齢別では、おおむね年代とともに高くなる傾向がみられます。

居住地区別では、2割前後の地区があるのに対して、7割を超える地区もあり、差が大きくなっています。

		そう思う	まあそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	分からな い	無回答
性別	男性(n=291)	18.2	21.3	27.5	29.6	2.1	1.4
	女性(n=364)	23.1	22.5	22.0	30.8	0.5	1.1
年齢	10歳代(n=10)	0.0	20.0	10.0	60.0	10.0	0.0
	20歳代(n=35)	14.3	22.9	25.7	31.4	5.7	0.0
	30歳代(n=56)	16.1	17.9	39.3	26.8	0.0	0.0
	40歳代(n=98)	20.4	15.3	21.4	40.8	1.0	1.0
	50歳代(n=87)	17.2	19.5	20.7	40.2	1.1	1.1
	60歳代(n=187)	19.8	24.1	28.3	25.7	0.5	1.6
	70歳代(n=154)	26.0	29.2	18.2	25.3	0.0	1.3
	80歳代(n=52)	25.0	26.9	28.8	13.5	3.8	1.9
	90歳代以上(n=5)	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	高麗(n=65)	23.1	23.1	27.7	23.1	1.5	1.5
居住地区	高麗川(n=199)	10.1	13.1	34.2	41.2	0.0	1.5
	高萩(n=193)	19.2	28.5	21.8	27.5	1.6	1.6
	高根(n=49)	34.7	30.6	18.4	12.2	4.1	0.0
	高萩北(n=68)	7.4	11.8	27.9	47.1	4.4	1.5
	武蔵台・横手台(n=115)	43.5	32.2	13.9	9.6	0.0	0.9

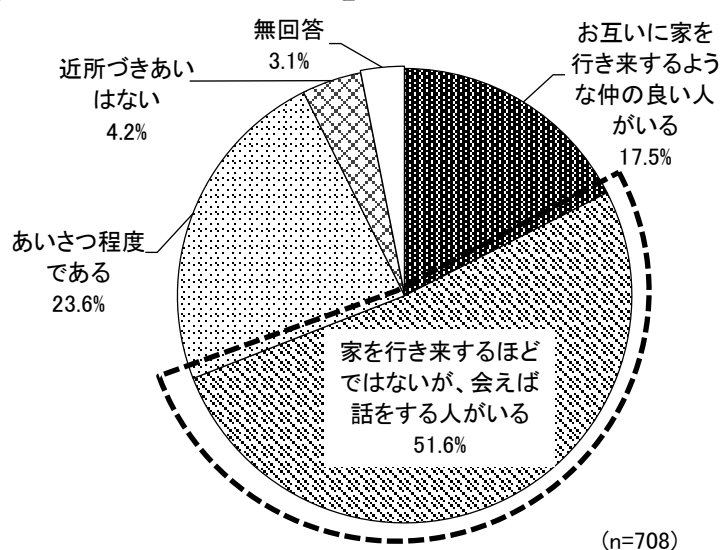
問5 どのような近所づきあいをしていますか。(○は1つ)

～「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」が半数～

どのような近所づきあいをしているかは、「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」が51.6%と最も高く、次いで「あいさつ程度である」が23.6%、「お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる」が17.5%、「近所づきあいはない」が4.2%となっています。

属性別でみると、性別では「お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる」は男性が10.3%、女性が22.3%と、女性の方が12.0ポイント上回っています。年齢別では「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」は、80歳代が67.3%と最も高くなっており、おおむね年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。

【どのような近所づきあいをしているか】



		お互いに 家を行き 来するよ うな仲の 良い人が いる	家を行き 来するほ どではな いが、会 えば話を する人が いる	あいさつ 程度であ る	近所づき あいはい はない	無回答
性別	男性(n=291)	10.3	49.1	30.6	6.9	3.1
	女性(n=364)	22.3	53.8	19.0	2.7	2.2
年齢	10歳代(n=10)	20.0	30.0	40.0	0.0	10.0
	20歳代(n=35)	0.0	34.3	45.7	20.0	0.0
	30歳代(n=56)	16.1	37.5	35.7	8.9	1.8
	40歳代(n=98)	13.3	45.9	31.6	7.1	2.0
	50歳代(n=87)	11.5	56.3	29.9	1.1	1.1
	60歳代(n=187)	16.0	57.2	21.9	2.7	2.1
	70歳代(n=154)	29.2	53.2	11.0	2.6	3.9
	80歳代(n=52)	17.3	67.3	9.6	1.9	3.8
	90歳代以上(n=5)	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0
居住地	高麗(n=65)	21.5	58.5	13.8	4.6	1.5
	高麗川(n=199)	17.1	53.8	22.6	4.5	2.0
	高萩(n=193)	17.6	50.8	23.8	3.6	4.1
	高根(n=49)	20.4	55.1	18.4	6.1	0.0
	高萩北(n=68)	23.5	50.0	17.6	7.4	1.5
	武蔵台・横手台(n=115)	12.2	47.8	36.5	0.9	2.6

【「3. あいさつ程度である」「4. 近所づきあいはない」と答えた方】

付問1 あまり近所づきあいをしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

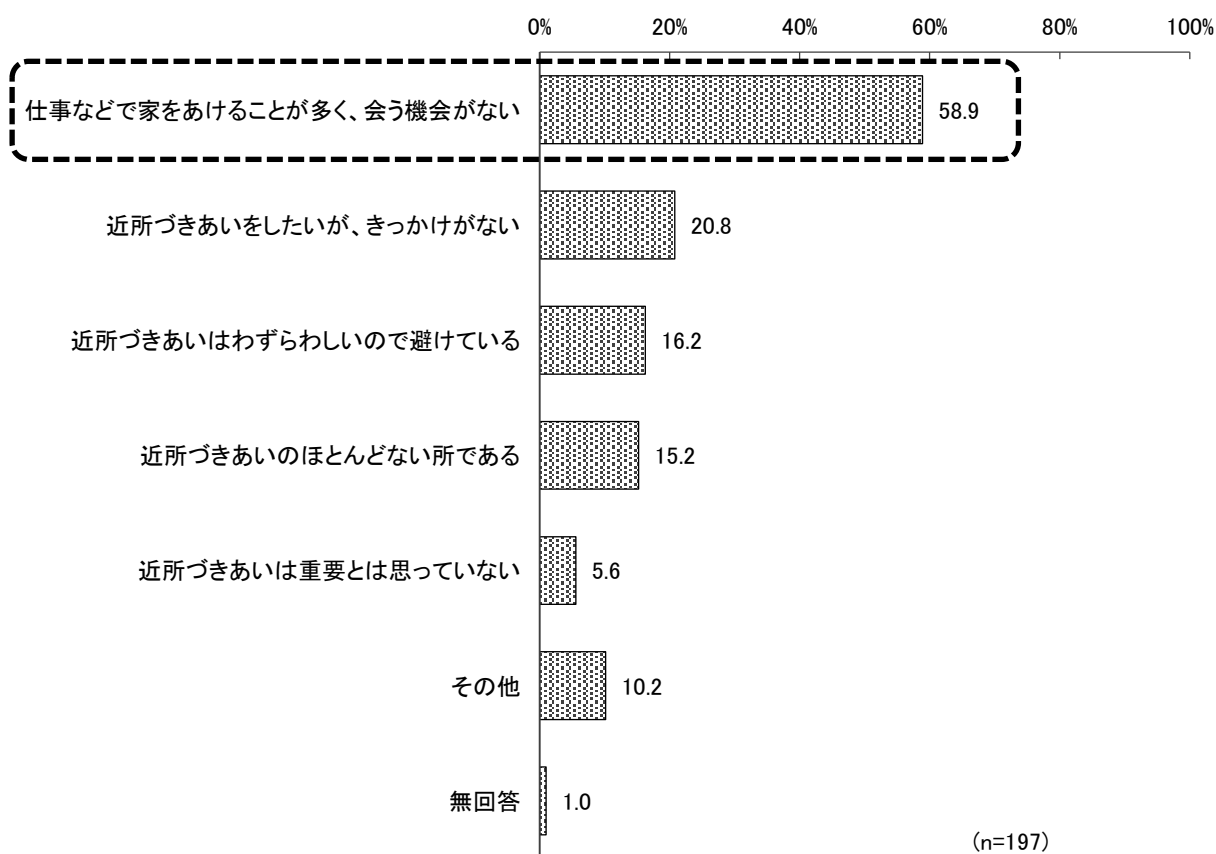
～「仕事などで家をあけることが多く、会う機会がない」が6割弱～

近所づきあいをしていない理由は、「仕事などで家をあけることが多く、会う機会がない」が58.9%と最も高く、次いで「近所づきあいをしたいが、きっかけがない」が20.8%、「近所づきあいはわずらわしいので避けている」が16.2%、「近所づきあいのほとんどない所である」が15.2%、「近所づきあいは重要とは思っていない」が5.6%となっています。

【その他】

対人恐怖/けがや病気のため外出できない など

【近所づきあいをしていない理由】



問6 自分の地域で行われている行事や活動などに参加していますか。(○はいくつでも)
 ～「清掃・美化活動」が半数、「お祭り、盆踊りなど」が3割超、

「活動はしていない」も2割超～

地域の行事や活動などに参加しているかは、「清掃・美化活動」が51.7%と最も高く、次いで「お祭り、盆踊りなど」が36.3%、「体育祭」が22.7%、「防犯・防災活動」が16.9%、「その他の自治会活動」が13.7%、「趣味などの生涯学習活動」が10.7%となっています。一方、「活動はしていない」は27.1%となっています。

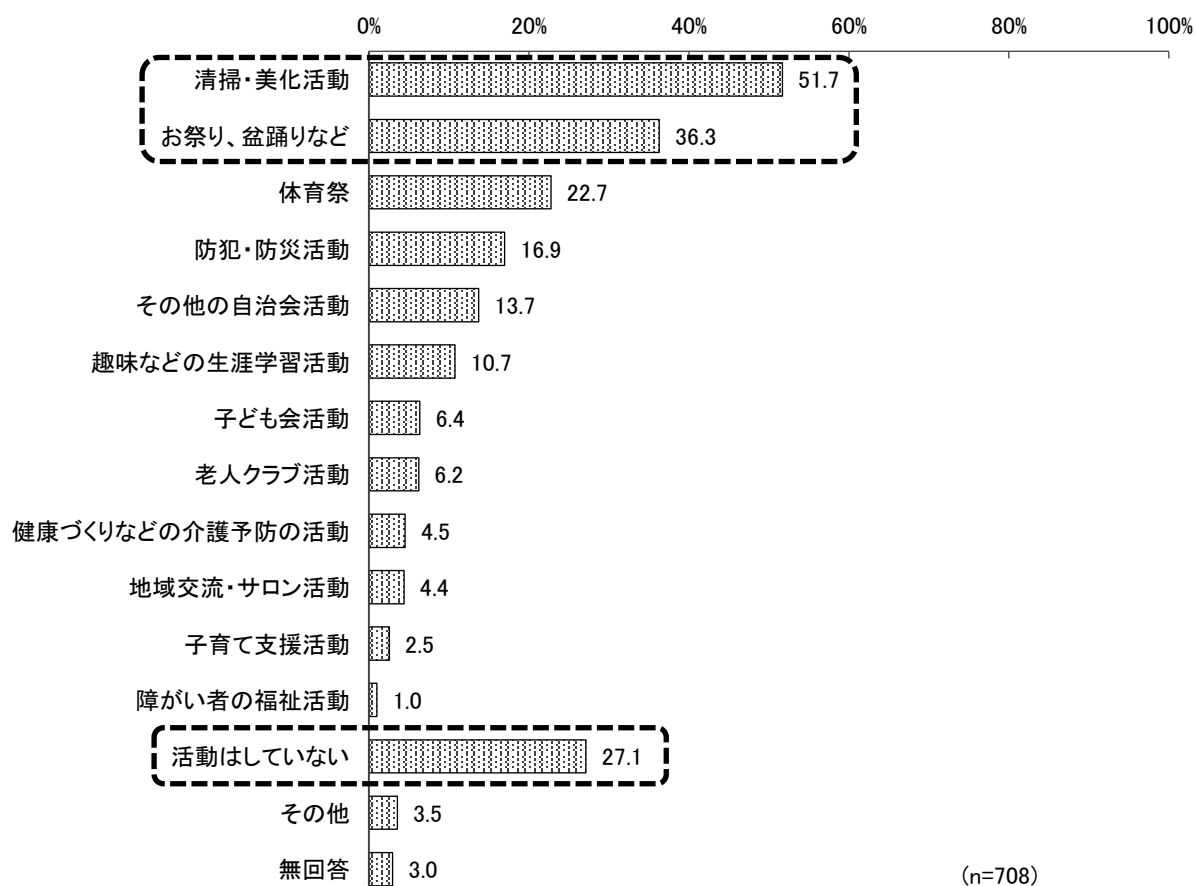
属性別でみると、年齢別では、「お祭り、盆踊りなど」のように、各年代とも全般的に高くなっているものがある一方で、「防犯・防災活動」は40歳代から70歳代にかけて高く、「子ども会活動」は30歳代と40歳代で高くなっているなど、偏りのみられるものもあります。また、10歳代と20歳代は、「お祭り、盆踊りなど」を除くと、1割以下のものがほとんどで、「活動はしていない」がともに6割以上と、他の年代よりも高くなっています。

属性別で「清掃・美化活動」の割合をみると、性別では男性が49.1%、女性が53.8%と、男女ともに最も高い割合となっており、年齢別では50歳代が64.4%と最も高く、次いで60歳代が63.6%となっています。

【その他】

スポーツ少年団/公民館の文化祭/市体育協会 での活動を通じて

【地域の行事や活動などに参加しているか】



		清掃・美化活動	お祭り、盆踊りなど	体育祭	防犯・防災活動	その他の自治会活動	趣味などの生涯学習活動	子ども会活動
性別	男性(n=291)	49.1	36.4	22.0	15.5	17.5	6.5	4.1
	女性(n=364)	53.8	34.6	22.5	17.9	9.6	13.2	8.8
年齢	10歳代(n=10)	10.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	20歳代(n=35)	2.9	31.4	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
	30歳代(n=56)	26.8	41.1	16.1	12.5	3.6	3.6	16.1
	40歳代(n=98)	55.1	45.9	28.6	17.3	9.2	3.1	21.4
	50歳代(n=87)	64.4	42.5	32.2	20.7	18.4	8.0	9.2
	60歳代(n=187)	63.6	36.4	25.1	23.5	20.3	14.4	2.1
	70歳代(n=154)	57.1	29.2	18.2	17.5	13.6	18.8	0.0
	80歳代(n=52)	34.6	25.0	21.2	5.8	7.7	9.6	1.9
	90歳代以上(n=5)	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	46.2	40.0	24.6	24.6	13.8	12.3	3.1
	高麗川(n=199)	53.3	41.2	31.7	18.6	16.6	10.1	9.5
	高萩(n=193)	49.7	35.2	24.4	19.7	11.9	8.3	7.8
	高根(n=49)	38.8	20.4	10.2	10.2	10.2	10.2	0.0
	高萩北(n=68)	57.4	39.7	22.1	13.2	16.2	14.7	11.8
	武蔵台・横手台(n=115)	61.7	33.9	11.3	13.0	12.2	14.8	0.9

		老人クラブ活動	健康づくりなどの介護予防の活動	地域交流・サロン活動	子育て支援活動	障がい者の福祉活動	活動はしていない	その他	無回答
性別	男性(n=291)	5.2	2.7	3.1	0.0	1.0	32.0	2.7	2.4
	女性(n=364)	6.9	6.0	5.5	4.7	1.1	23.9	4.7	3.6
年齢	10歳代(n=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	20歳代(n=35)	0.0	0.0	2.9	5.7	0.0	62.9	2.9	5.7
	30歳代(n=56)	1.8	0.0	0.0	3.6	0.0	37.5	3.6	3.6
	40歳代(n=98)	1.0	1.0	1.0	6.1	0.0	23.5	3.1	5.1
	50歳代(n=87)	1.1	2.3	2.3	2.3	2.3	18.4	2.3	1.1
	60歳代(n=187)	4.3	3.2	4.3	2.7	1.1	20.3	3.7	1.6
	70歳代(n=154)	13.6	13.0	9.7	0.6	1.3	22.7	3.9	3.9
	80歳代(n=52)	19.2	5.8	7.7	0.0	1.9	44.2	5.8	3.8
	90歳代以上(n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	9.2	3.1	6.2	1.5	1.5	26.2	4.6	1.5
	高麗川(n=199)	5.5	2.5	4.0	1.5	1.0	20.6	2.5	2.5
	高萩(n=193)	8.8	5.2	4.1	2.6	1.6	27.5	3.6	4.7
	高根(n=49)	4.1	4.1	6.1	0.0	2.0	44.9	6.1	2.0
	高萩北(n=68)	11.8	10.3	7.4	8.8	0.0	26.5	2.9	2.9
	武蔵台・横手台(n=115)	0.0	5.2	2.6	2.6	0.0	27.0	4.3	0.9

問7 地域活動や行事が活発に行われるには、何が大切だと思いますか。(〇は3つまで)
 ～「住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る」が6割～

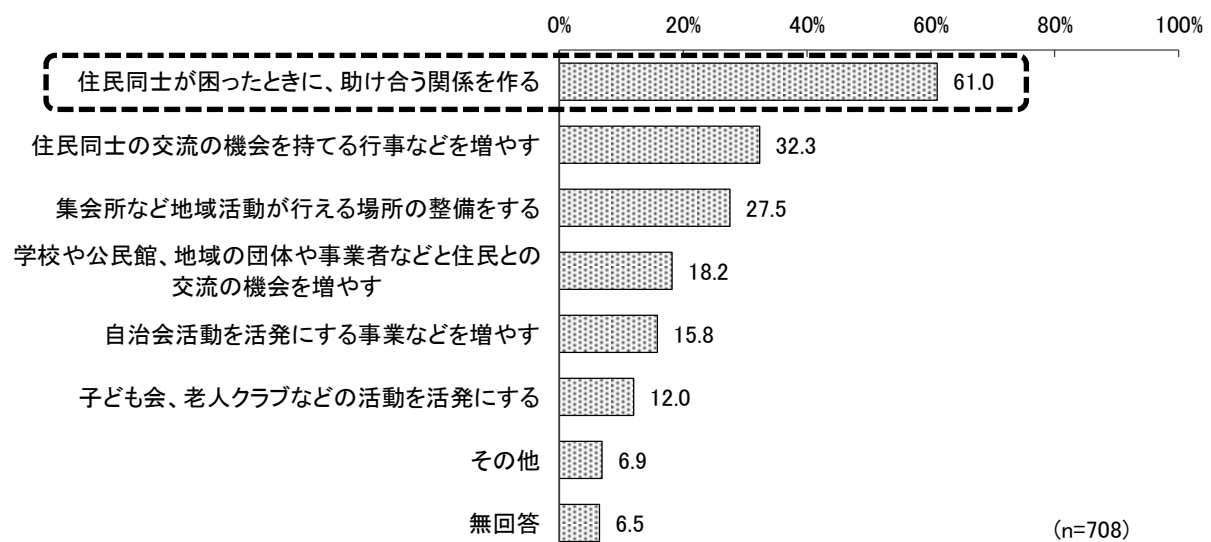
地域活動や行事を活発にするために大切だと思うことは、「住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る」が61.0%と最も高く、次いで「住民同士の交流の機会を持てる行事などを増やす」が32.3%、「集会所など地域活動が行える場所の整備をする」が27.5%となっています。

属性別にみると、年齢別では、「住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る」は各年代ともに高くなっています。「自治会活動を活発にする事業などを増やす」は60歳代から80歳代で2割前後となっていますが、30歳代と40歳代では1割以下となっていて、差が大きくなっています。また、「住民同士の交流の機会を持てる行事などを増やす」は20歳代で4割を超えており、他の年代よりも高くなっています。

【その他】

異世代の人(子どもと高齢者など)、若い人が参加できる活動/負担が増えるので、活発に行事をするだけが良い交流とは思わない など

【地域活動や行事を活発にするために大切だと思うこと】



	住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る	住民同士の交流の機会を持てる行事などを増やす	集会所など地域活動が行える場所の整備をする	学校や公民館、地域の団体や事業者などと住民との交流の機会を増やす	自治会活動を活発にする事業などを増やす	子ども会、老人クラブなどの活動を活発にする	その他	無回答
性別								
男性(n=291)	57.7	33.0	27.8	16.8	18.6	12.4	6.5	3.8
女性(n=364)	62.9	32.7	28.0	19.0	13.5	11.5	6.9	8.0
年齢								
10歳代(n=10)	60.0	30.0	30.0	20.0	0.0	30.0	0.0	0.0
20歳代(n=35)	60.0	42.9	28.6	11.4	14.3	8.6	11.4	2.9
30歳代(n=56)	50.0	32.1	25.0	17.9	8.9	10.7	8.9	7.1
40歳代(n=98)	55.1	29.6	30.6	26.5	9.2	9.2	7.1	4.1
50歳代(n=87)	58.6	27.6	32.2	12.6	12.6	12.6	5.7	6.9
60歳代(n=187)	63.6	34.8	26.2	26.2	21.4	10.2	5.3	4.8
70歳代(n=154)	69.5	35.1	27.3	11.0	18.2	13.0	4.5	9.1
80歳代(n=52)	51.9	25.0	23.1	7.7	17.3	15.4	11.5	13.5
90歳代以上(n=5)	60.0	20.0	20.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0
居住地								
高麗川(n=65)	76.9	35.4	33.8	16.9	23.1	7.7	6.2	3.1
高萩(n=199)	59.8	36.2	28.6	16.6	14.1	14.6	4.5	5.5
高萩北(n=49)	59.1	29.0	28.0	18.1	17.1	13.5	5.7	9.3
高萩南(n=68)	67.3	30.6	22.4	28.6	16.3	6.1	4.1	0.0
武蔵台・横手台(n=115)	55.9	29.4	23.5	20.6	13.2	13.2	8.8	8.8
武蔵台・横手台(n=115)	58.3	32.2	27.0	15.7	13.9	9.6	12.2	5.2

生活する上での課題や福祉サービスについて

問8 健康や福祉に関する情報で役に立っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

～「日高市の広報紙・ホームページ」が6割超、「テレビ、新聞、書籍からの情報」も半数～

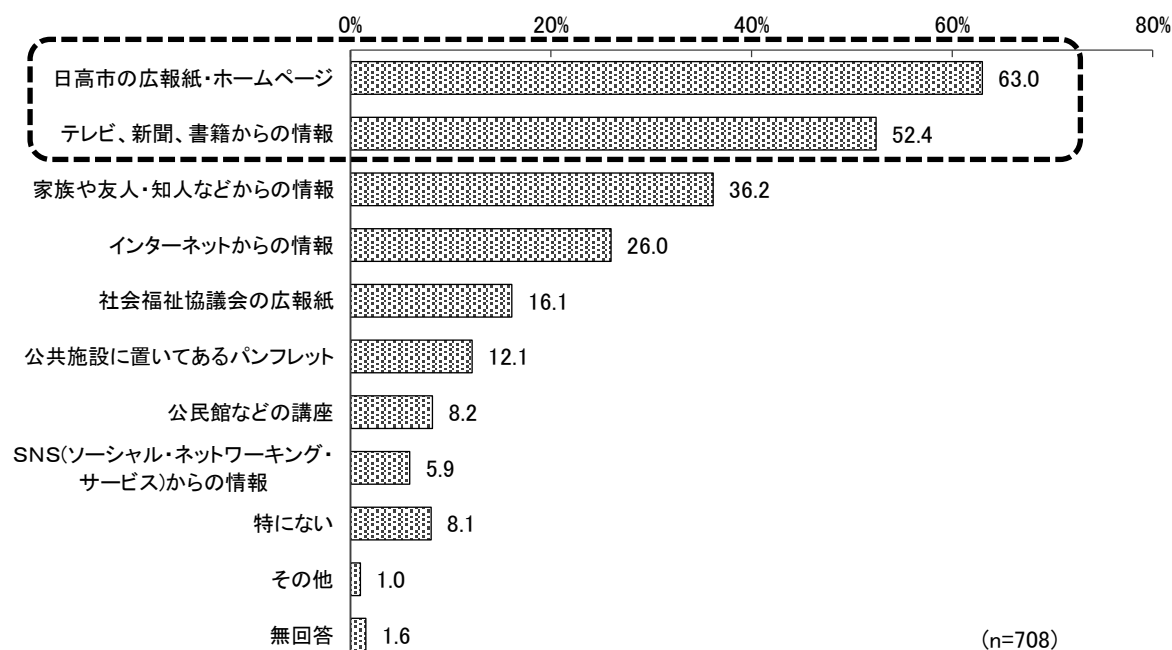
健康や福祉に関する情報で役に立っているものは、「日高市の広報紙・ホームページ」が63.0%と最も高く、次いで「テレビ、新聞、書籍からの情報」が52.4%、「家族や友人・知人などからの情報」が36.2%、「インターネットからの情報」が26.0%となっています。

属性別で「日高市の広報紙・ホームページ」の割合をみると、性別では男性が60.8%、女性が64.8%と、女性が4.0ポイント上回っています。年齢別では60歳代が76.5%と最も高く、10歳代が30.0%と最も低くなっています。また、年齢別で「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）からの情報」をみると、20歳代が25.7%、30歳代が26.8%と他の年代よりも高くなっています。

【その他】

他市のホームページ/ダイレクトメール/ラジオ/大学の講義 など

【健康や福祉に関する情報で役に立っているもの】



	日高市の 広報紙・ ホーム ページ	テレビ、 新聞、書 籍からの 情報	家族や友 人・知人 などから の情報	インター ネットか らの情報	社会福祉 協議会の 広報紙	公共施設 に置いて あるパン フレット	公民館な どの講座	SNS (ソーシャ ル・ネット ワーキン グ・サー ビス)から の情報	特になし	その他	無回答
性別											
男性(n=291)	60.8	50.5	29.6	24.7	15.8	11.0	3.8	6.5	11.3	0.0	1.0
女性(n=364)	64.8	53.6	41.8	26.9	15.4	12.1	11.0	5.5	5.5	1.6	1.9
年齢											
10歳代(n=10)	30.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	10.0	0.0
20歳代(n=35)	34.3	28.6	20.0	51.4	2.9	11.4	0.0	25.7	22.9	5.7	2.9
30歳代(n=56)	51.8	37.5	25.0	51.8	5.4	12.5	1.8	26.8	7.1	3.6	3.6
40歳代(n=98)	59.2	46.9	34.7	49.0	9.2	9.2	5.1	6.1	7.1	0.0	1.0
50歳代(n=87)	56.3	47.1	34.5	32.2	16.1	9.2	5.7	5.7	6.9	0.0	0.0
60歳代(n=187)	76.5	60.4	40.1	22.5	16.6	15.5	11.8	1.1	4.8	0.5	1.6
70歳代(n=154)	66.2	57.1	39.6	7.1	26.0	12.3	10.4	1.3	7.1	0.0	1.9
80歳代(n=52)	59.6	65.4	40.4	1.9	25.0	9.6	9.6	0.0	9.6	0.0	1.9
90歳代以上(n=5)	60.0	60.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
居住地											
高麗川(n=65)	58.5	64.6	53.8	26.2	16.9	10.8	10.8	6.2	4.6	1.5	0.0
高麗川(n=199)	65.3	54.3	36.7	28.6	14.1	11.1	9.0	5.5	6.0	1.5	1.5
高萩(n=193)	56.0	51.3	31.6	23.8	14.0	9.8	8.3	3.6	8.8	0.5	2.6
高萩(n=49)	71.4	40.8	36.7	14.3	18.4	20.4	2.0	6.1	14.3	0.0	2.0
高萩北(n=68)	66.2	48.5	41.2	23.5	22.1	8.8	7.4	8.8	10.3	0.0	1.5
武蔵台・横手台(n=115)	68.7	53.0	32.2	30.4	19.1	15.7	9.6	7.8	8.7	0.9	0.0

問9 日頃どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

～「健康に関すること」が6割弱、「老後の暮らしに関すること」も半数～

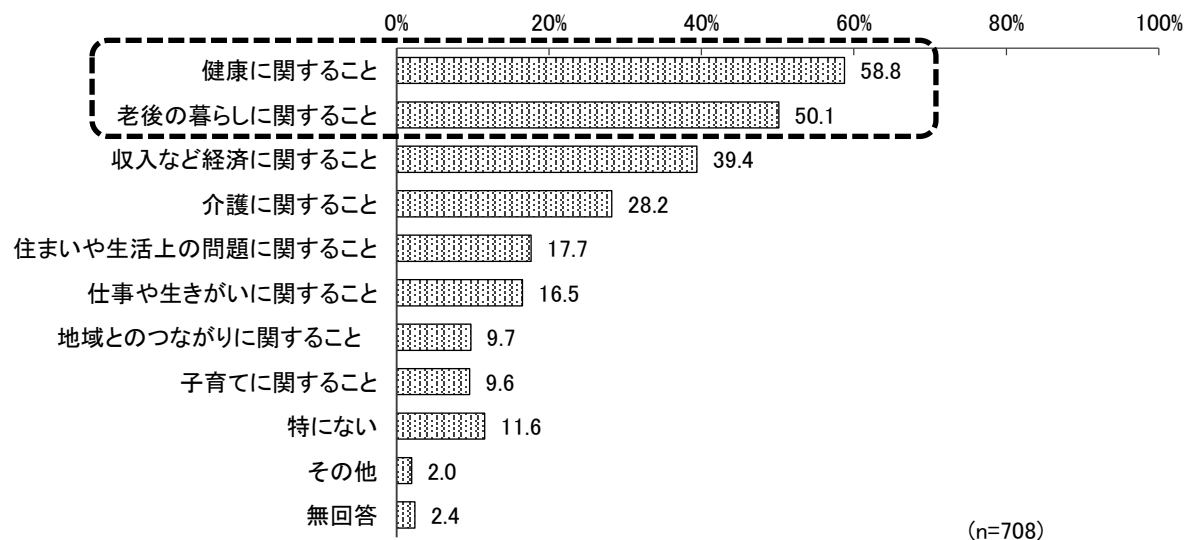
どのようなことに悩みや不安を感じるかは、「健康に関すること」が58.8%と最も高く、次いで「老後の暮らしに関すること」が50.1%、「収入など経済に関すること」が39.4%、「介護に関すること」が28.2%となっています。

属性別にみると、性別では、「健康に関すること」は男性が57.4%、女性が57.1%と大きな差はみられませんが、「仕事や生きがいに関すること」では男性が20.3%、女性が12.9%と男性が7.4ポイント上回っており、「子育てに関すること」では男性が7.6%、女性が11.5%と女性が3.9ポイント上回っています。また、年齢別では、「健康に関すること」は年齢が上がるにつれて割合も高くなる傾向がみられます。居住地区別では、「子育てに関すること」は「高萩北」が23.5%と他の地区よりも高くなっています。

【その他】

仕事と家庭の両立/自分自身のこと/持ち物の処分/店が1軒もないので、日常の買物 など

【どのようなことに悩みや不安を感じるか】



		健康に関すること	老後の暮らしに関すること	収入など経済に関すること	介護に関すること	住まいや生活上の問題に関すること	仕事や生きがいに関すること	地域とのつながりに関すること	子育てに関すること	特にない	その他	無回答
性別	男性(n=291)	57.4	49.1	39.2	26.8	18.2	20.3	9.3	7.6	13.7	1.0	2.1
	女性(n=364)	57.1	49.7	38.2	28.8	17.9	12.9	9.6	11.5	10.7	3.0	2.7
年齢	10歳代(n=10)	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	10.0	0.0	50.0	10.0	0.0
	20歳代(n=35)	22.9	14.3	54.3	8.6	17.1	34.3	0.0	14.3	20.0	8.6	5.7
	30歳代(n=56)	32.1	17.9	46.4	10.7	21.4	35.7	12.5	37.5	10.7	3.6	3.6
	40歳代(n=98)	43.9	31.6	52.0	17.3	22.4	22.4	9.2	27.6	11.2	3.1	2.0
	50歳代(n=87)	50.6	59.8	42.5	33.3	18.4	19.5	11.5	12.6	10.3	1.1	2.3
	60歳代(n=187)	71.7	63.1	37.4	26.7	20.3	14.4	10.7	0.5	10.2	0.5	1.6
	70歳代(n=154)	68.2	61.0	31.8	37.7	14.3	5.8	10.4	0.0	12.3	0.6	1.9
	80歳代(n=52)	76.9	50.0	19.2	40.4	11.5	7.7	7.7	0.0	5.8	1.9	5.8
	90歳代以上(n=5)	80.0	80.0	40.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	67.7	56.9	40.0	29.2	13.8	15.4	9.2	4.6	13.8	3.1	1.5
	高麗川(n=199)	61.8	46.7	40.7	29.6	14.6	16.6	9.5	8.5	13.1	1.0	2.0
	高萩(n=193)	54.4	54.9	39.4	32.1	15.0	16.6	8.8	7.8	7.8	3.1	3.6
	高根(n=49)	61.2	55.1	46.9	22.4	22.4	14.3	10.2	6.1	10.2	0.0	2.0
	高萩北(n=68)	58.8	41.2	35.3	17.6	23.5	16.2	11.8	23.5	11.8	2.9	4.4
	武蔵台・横手台(n=115)	56.5	49.6	35.7	30.4	24.3	16.5	10.4	9.6	13.9	1.7	0.0

問 10 悩みや不安などがあるとき、どこ（だれ）に相談をしますか。（○はいくつでも）
 ～「家族・親戚」が8割弱、「友人・知人」も半数弱～

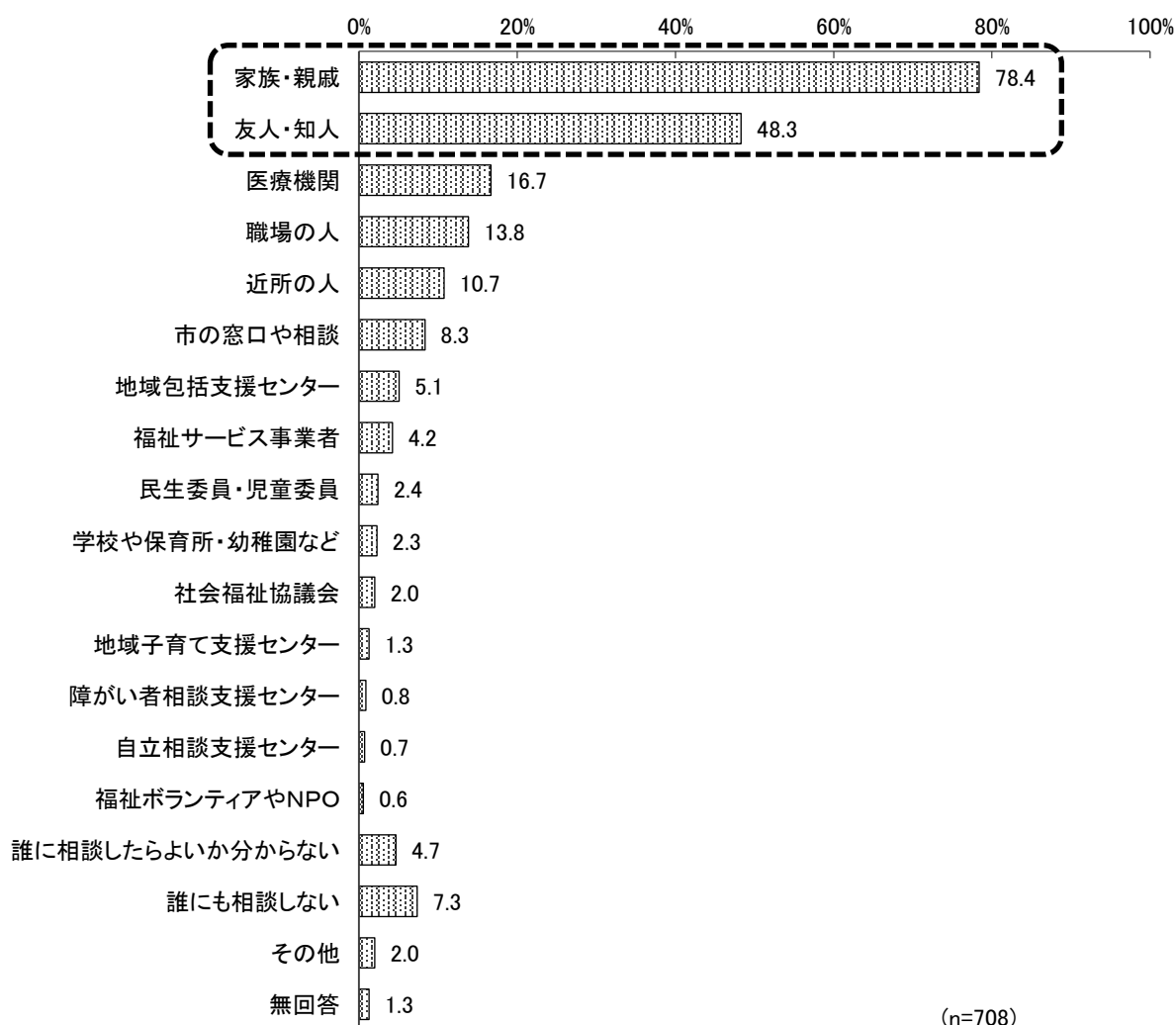
悩みや不安なことの相談先は、「家族・親戚」が 78.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が 48.3%、「医療機関」が 16.7%、「職場の人」が 13.8%、「近所の人」が 10.7%となっています。

属性別にみると、性別では、「友人・知人」は男性が 39.2%、女性が 55.8%と、女性が 16.6 ポイント上回っています。年齢別では、「家族・親戚」は年齢が上がるにつれて割合も高くなる傾向がみられ、逆に、「友人・知人」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向がみられます。居住地区別では、「友人・知人」は地区によって、20 ポイント以上の差があり、ばらつきが大きくなっています。

【その他】

自治会/高根児童室/専門相談員/デイサービス/悩みや不安はない など

【悩みや不安なことの相談先】



		家族・親戚	友人・知人	医療機関	職場の人	近所の人	市の窓口 や相談	地域包括 支援セン ター	福祉サー ビス事業 者	民生委 員・児童 委員	学校や保 育所・幼 稚園など
性別	男性(n=291)	73.9	39.2	17.9	12.0	9.3	10.7	5.8	4.1	2.1	0.7
	女性(n=364)	82.1	55.8	15.9	15.1	12.9	5.2	4.4	4.1	2.5	3.8
年齢	10歳代(n=10)	60.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	20歳代(n=35)	71.4	57.1	11.4	22.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7
	30歳代(n=56)	78.6	53.6	8.9	26.8	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	8.9
	40歳代(n=98)	77.6	64.3	7.1	28.6	11.2	7.1	1.0	3.1	0.0	8.2
	50歳代(n=87)	79.3	51.7	9.2	20.7	12.6	5.7	3.4	6.9	0.0	0.0
	60歳代(n=187)	80.7	46.0	19.8	10.2	9.1	11.2	4.8	3.2	2.1	0.0
	70歳代(n=154)	74.7	40.9	26.0	3.2	14.9	10.4	11.0	5.2	6.5	0.0
	80歳代(n=52)	82.7	26.9	26.9	0.0	11.5	3.8	7.7	11.5	3.8	0.0
	90歳代以上(n=5)	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
居住 地区	高麗(n=65)	78.5	52.3	18.5	12.3	12.3	9.2	4.6	6.2	1.5	6.2
	高麗川(n=199)	81.4	56.8	14.1	16.1	11.6	6.0	3.5	5.5	1.0	1.5
	高萩(n=193)	73.6	40.9	15.5	8.8	11.4	9.3	5.7	4.7	4.7	2.1
	高根(n=49)	77.6	40.8	14.3	10.2	4.1	10.2	2.0	4.1	2.0	0.0
	高萩北(n=68)	80.9	61.8	23.5	16.2	19.1	5.9	8.8	1.5	4.4	7.4
	武蔵台・横手台(n=115)	82.6	40.0	20.0	18.3	6.1	12.2	6.1	2.6	0.0	0.0

		社会福祉 協議会	地域子育 て支援セ ンター	障がい者 相談支援 センター	自立相談 支援セン ター	福祉ボラ ンティア やNPO	誰に相談 したらよ いか分か らない	誰にも相 談しない	その他	無回答
性別	男性(n=291)	3.1	0.7	1.4	0.3	0.7	4.1	10.7	2.1	0.7
	女性(n=364)	0.5	1.6	0.5	1.1	0.3	4.9	4.4	1.9	1.6
年齢	10歳代(n=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	20歳代(n=35)	2.9	5.7	2.9	5.7	0.0	0.0	8.6	2.9	2.9
	30歳代(n=56)	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	1.8	8.9	1.8	1.8
	40歳代(n=98)	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	3.1	9.2	1.0	1.0
	50歳代(n=87)	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	8.0	2.3	0.0
	60歳代(n=187)	2.1	0.0	1.1	1.1	0.5	4.8	7.0	2.7	1.1
	70歳代(n=154)	3.9	0.0	0.0	0.0	1.3	5.8	6.5	1.9	1.9
	80歳代(n=52)	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0	9.6	5.8	0.0	1.9
	90歳代以上(n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
居住 地区	高麗(n=65)	0.0	1.5	1.5	1.5	0.0	6.2	10.8	0.0	0.0
	高麗川(n=199)	3.0	0.5	1.0	0.5	0.5	5.0	5.5	2.0	1.0
	高萩(n=193)	1.0	2.1	0.5	0.0	0.5	5.7	8.3	1.0	2.6
	高根(n=49)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	6.1	4.1	4.1	0.0
	高萩北(n=68)	2.9	2.9	1.5	1.5	0.0	0.0	7.4	1.5	1.5
	武蔵台・横手台(n=115)	3.5	0.9	0.9	1.7	0.9	3.5	6.1	4.3	0.0

問 11 日常生活を送る上で手助けしてほしい（行ってほしい）と思うことがありますか。（〇はいくつでも）

～「気軽にに行ける自由な居場所づくり」が2割弱、「特にない」が半数～

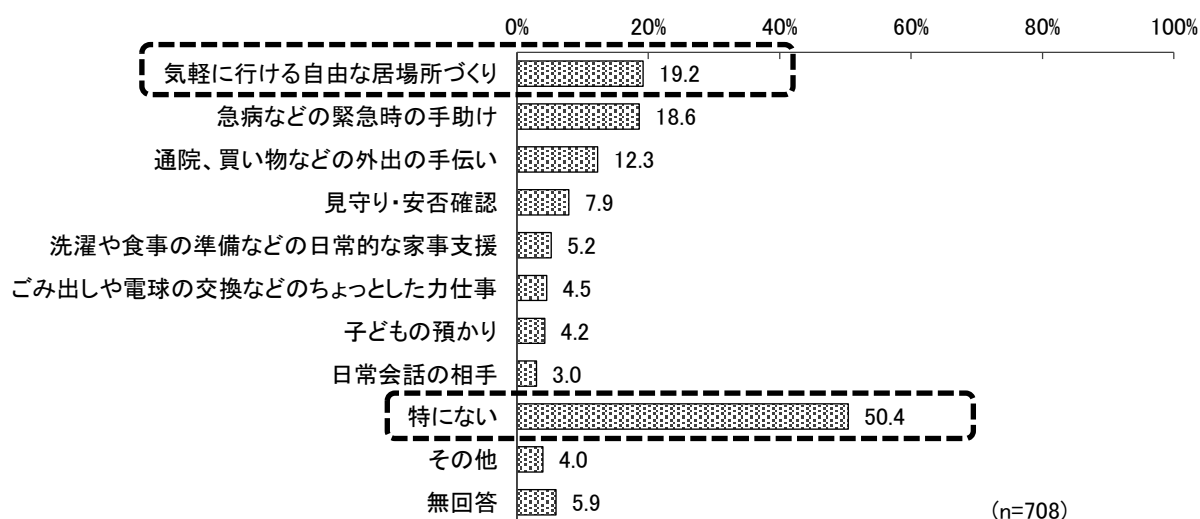
日常生活を送る上で必要な手助けは、「特にない」（50.4%）を除くと、「気軽にに行ける自由な居場所づくり」が19.2%と最も高く、次いで「急病などの緊急時の手助け」が18.6%、「通院・買い物などの外出の手伝い」が12.3%となっています。

「特にない」を除いた必要な手助けを属性別でみると、「気軽にに行ける自由な居場所づくり」の割合は、男性が18.6%、女性が19.8%とそれぞれ最も高くなっています。年齢別では、「急病などの緊急時の手助け」「通院・買い物などの外出の手伝い」の割合は、いずれも80歳代が最も高く、次いで70歳代となっています。また、「気軽にに行ける自由な居場所づくり」は10歳代から30歳代で高く、「子どもの預かり」は30歳代で高くなっています。

【その他】

草むしり/介護 など

【日常生活を送る上で必要な手助け】



		気軽に 行ける自由 な居場所 づくり	急病など の緊急時 の手助け	通院、買 い物など の外出の 手伝い	見守り・ 安否確認	洗濯や食 事の準備 などの日 常的な家 事支援	ごみ出し や電球の 交換など のちょっ とした力 仕事	子どもの 預かり	日常会話 の相手	特にない	その他	無回答
性別	男性(n=291)	18.6	15.1	9.3	7.6	3.8	4.1	2.7	3.1	54.3	3.8	4.5
	女性(n=364)	19.8	19.5	14.3	8.5	6.3	4.9	5.5	2.2	48.1	4.4	7.1
年齢	10歳代(n=10)	60.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0
	20歳代(n=35)	28.6	2.9	5.7	8.6	0.0	0.0	5.7	2.9	48.6	0.0	5.7
	30歳代(n=56)	26.8	14.3	3.6	8.9	10.7	5.4	26.8	1.8	39.3	1.8	3.6
	40歳代(n=98)	17.3	19.4	5.1	8.2	2.0	0.0	7.1	1.0	56.1	5.1	4.1
	50歳代(n=87)	11.5	13.8	11.5	9.2	6.9	3.4	4.6	2.3	62.1	6.9	3.4
	60歳代(n=187)	15.0	15.0	9.1	5.9	3.2	4.3	0.5	2.7	61.5	1.6	6.4
	70歳代(n=154)	21.4	23.4	19.5	7.8	6.5	7.1	0.0	3.2	45.5	3.9	6.5
	80歳代(n=52)	17.3	30.8	26.9	9.6	7.7	9.6	0.0	7.7	26.9	5.8	13.5
	90歳代以上(n=5)	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0
居住 地区	高麗(n=65)	12.3	23.1	15.4	10.8	7.7	6.2	0.0	3.1	55.4	3.1	3.1
	高麗川(n=199)	22.1	18.1	11.1	8.0	2.5	4.5	5.0	2.0	53.3	1.5	5.5
	高萩(n=193)	18.1	19.2	11.4	9.3	7.3	4.1	6.2	3.6	42.5	7.3	8.8
	高根(n=49)	24.5	18.4	14.3	8.2	4.1	6.1	2.0	6.1	51.0	0.0	4.1
	高萩北(n=68)	19.1	17.6	7.4	4.4	1.5	1.5	4.4	1.5	54.4	5.9	4.4
	武蔵台・横手台(n=115)	16.5	15.7	14.8	4.3	5.2	5.2	3.5	2.6	54.8	2.6	4.3

問 12 高齢者や障がいのある人、子育てをしている人などが必要な支援を受けることができないためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

～「気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所」が4割超～

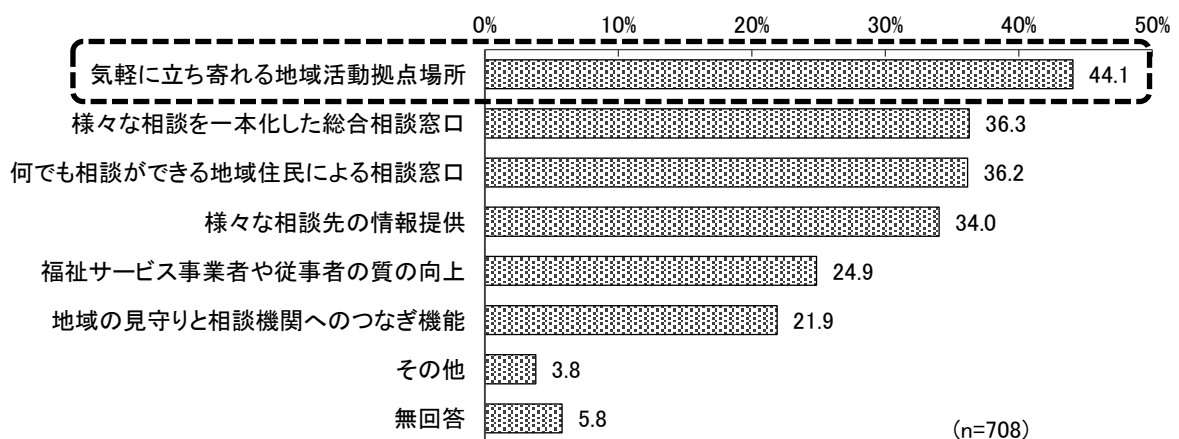
高齢者や障がい者、子育てをしている人が支援を受けるために必要なことは、「気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所」が44.1%と最も高く、次いで「様々な相談を一本化した総合相談窓口」が36.3%、「何でも相談ができる地域住民による相談窓口」が36.2%、「様々な相談先の情報提供」が34.0%となっています。

属性別で「気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所」の割合をみると、性別では男性が43.0%、女性が45.9%と大きな差はみられません。しかし、「様々な相談先の情報提供」では男性が29.9%、女性が38.5%と女性が8.6ポイント上回っており、「福祉サービス事業者や従事者の質の向上」においても男性が22.3%、女性が27.7%と女性が5.4ポイント上回っています。一方、「様々な相談を一本化した総合相談窓口」では男性が38.5%、女性が33.5%と男性が5.0ポイント上回っています。年齢別では、「様々な相談を一本化した総合相談窓口」は40歳代から70歳代にかけて高く、10歳代や20歳代とは差が大きくなっています。

【その他】

介護や保育関連の優遇等/地域サポーター など

【高齢者や障がい者、子育てをしている人が支援を受けるために必要なこと】



	気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所	様々な相談を一本化した総合相談窓口	何でも相談ができる地域住民による相談窓口	様々な相談先の情報提供	福祉サービス事業者や従事者の質の向上	地域の見守りと相談機関へのつなぎ機能	その他	無回答
性別								
男性(n=291)	43.0	38.5	36.1	29.9	22.3	21.0	4.5	4.5
女性(n=364)	45.9	33.5	34.9	38.5	27.7	23.6	3.6	7.1
年齢								
10歳代(n=10)	40.0	20.0	50.0	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0
20歳代(n=35)	42.9	11.4	42.9	28.6	22.9	14.3	14.3	5.7
30歳代(n=56)	50.0	32.1	33.9	32.1	16.1	21.4	7.1	1.8
40歳代(n=98)	39.8	38.8	31.6	33.7	27.6	26.5	5.1	2.0
50歳代(n=87)	51.7	47.1	32.2	39.1	39.1	23.0	3.4	2.3
60歳代(n=187)	46.0	34.8	38.0	37.4	26.7	22.5	3.2	3.7
70歳代(n=154)	42.9	40.3	33.1	32.5	20.8	22.7	0.6	9.7
80歳代(n=52)	34.6	23.1	48.1	26.9	13.5	13.5	0.0	21.2
90歳代以上(n=5)	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0
居住地								
高麗(n=65)	50.8	33.8	44.6	44.6	27.7	24.6	3.1	1.5
高麗川(n=199)	48.7	31.7	38.7	32.2	24.1	20.1	3.0	5.0
高萩(n=193)	44.6	33.7	30.1	31.6	22.8	19.2	2.6	8.8
高根(n=49)	42.9	44.9	30.6	36.7	26.5	20.4	0.0	4.1
高萩北(n=68)	41.2	42.6	36.8	33.8	23.5	25.0	2.9	5.9
武蔵台・横手台(n=115)	33.0	41.7	37.4	33.9	25.2	26.1	9.6	5.2

地域福祉を進めるための取り組みについて

問 13 あなたと福祉との関わりは、次のどれに当てはまりますか。(〇はいくつでも)

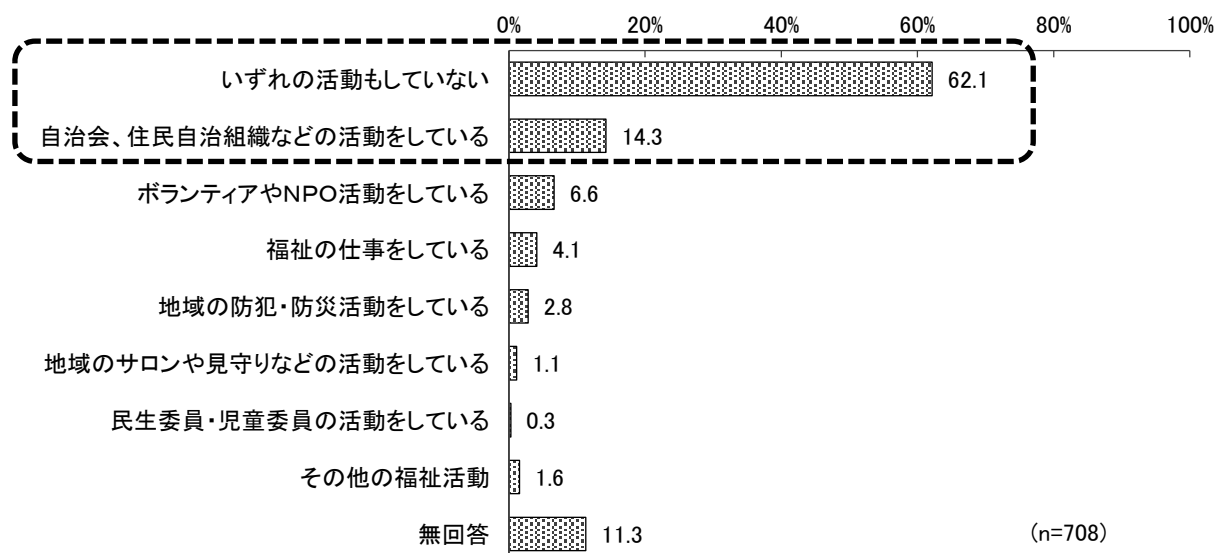
～「いずれの活動もしていない」が6割、

「自治会、住民自治組織などの活動をしている」は1割超～

福祉との関わり方は、「いずれの活動もしていない」が 62.1%と最も高く、次いで「自治会、住民自治組織などの活動をしている」が 14.3%、「ボランティアやNPO活動をしている」が 6.6%となっています。

属性別にみると、性別では、「自治会、住民自治組織などの活動をしている」は男性が18.9%、女性は9.3%で、男性が女性を9.6ポイント上回っています。年齢別では、「いずれの活動もしていない」は10歳代から40歳代で7割以上となっていて、50歳代以上よりも高くなっています。

【福祉との関わり方について】



		いずれの活動もしていない	自治会、住民自治組織などの活動をしている	ボランティアやNPO活動をしている	福祉の仕事をしている	地域の防犯・防災活動をしている	地域のサロンや見守りなどの活動をしている	民生委員・児童委員の活動をしている	その他の福祉活動	無回答
性別	男性(n=291)	64.3	18.9	4.8	2.7	4.1	1.0	0.3	2.1	6.9
	女性(n=364)	63.2	9.3	8.5	5.2	1.4	1.1	0.3	1.1	13.2
年齢	10歳代(n=10)	70.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	20歳代(n=35)	85.7	0.0	5.7	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
	30歳代(n=56)	76.8	12.5	5.4	7.1	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8
	40歳代(n=98)	71.4	14.3	8.2	5.1	3.1	0.0	1.0	0.0	2.0
	50歳代(n=87)	57.5	20.7	6.9	5.7	2.3	1.1	0.0	1.1	5.7
	60歳代(n=187)	62.6	15.0	5.9	4.3	3.7	1.6	0.5	2.7	9.6
	70歳代(n=154)	50.0	13.6	7.8	1.9	3.9	1.3	0.0	2.6	22.7
	80歳代(n=52)	55.8	13.5	1.9	0.0	1.9	3.8	0.0	0.0	25.0
	90歳代以上(n=5)	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
居住地	高麗(n=65)	63.1	13.8	6.2	4.6	6.2	0.0	0.0	1.5	7.7
	高麗川(n=199)	62.3	18.6	5.0	4.0	3.0	0.5	0.0	1.0	10.1
	高萩(n=193)	55.4	12.4	7.8	4.1	4.7	2.1	0.5	2.1	16.1
	高根(n=49)	65.3	14.3	4.1	4.1	2.0	0.0	0.0	4.1	12.2
	高萩北(n=68)	67.6	13.2	8.8	2.9	0.0	1.5	1.5	1.5	7.4
	武蔵台・横手台(n=115)	66.1	11.3	8.7	5.2	0.0	1.7	0.0	0.9	8.7

【「2. 民生委員・児童委員の活動をしている」～「7. その他の福祉活動」を選んだ方】

付問1 活動するきっかけはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

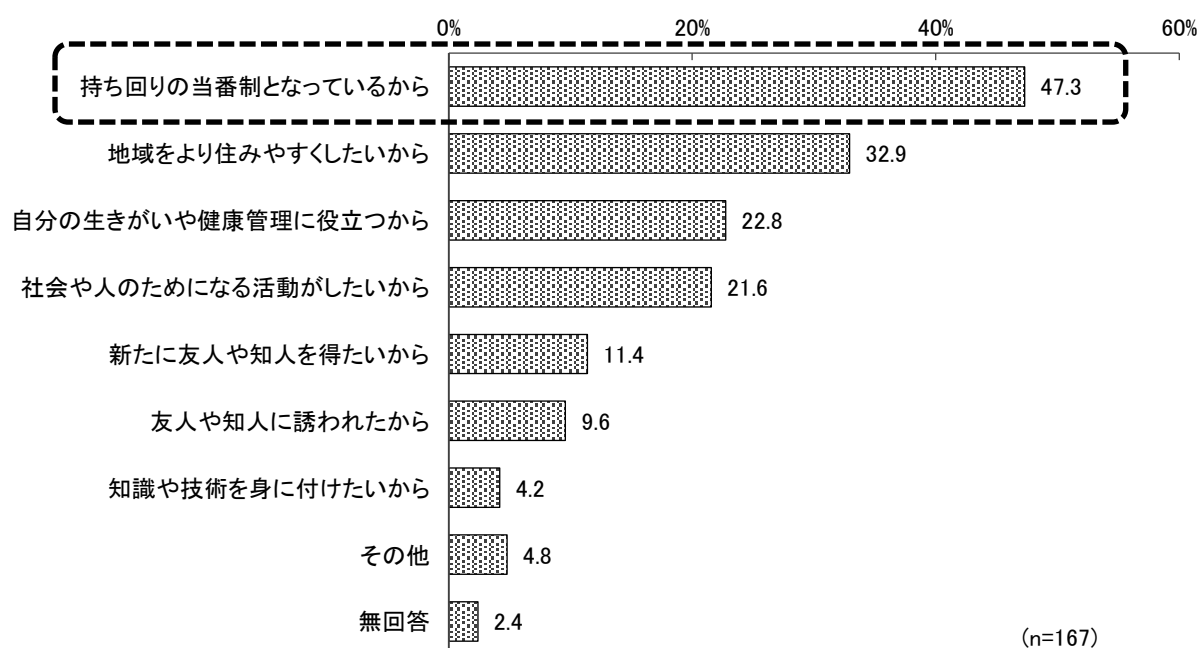
～「持ち回りの当番制となっているから」が4割超～

福祉活動をする理由は、「持ち回りの当番制となっているから」が 47.3%と最も高く、次いで「地域をより住みやすくしたいから」が 32.9%、「自分の生きがいや健康管理に役立つから」が 22.8%、「社会や人のためになる活動がしたいから」が 21.6%となっています。

【その他】

頼まれて/自分の意思で/アルバイトで など

【福祉活動をする理由】



【「8. いずれの活動もしていない」を選んだ方】

付問2 地域で活動していない主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

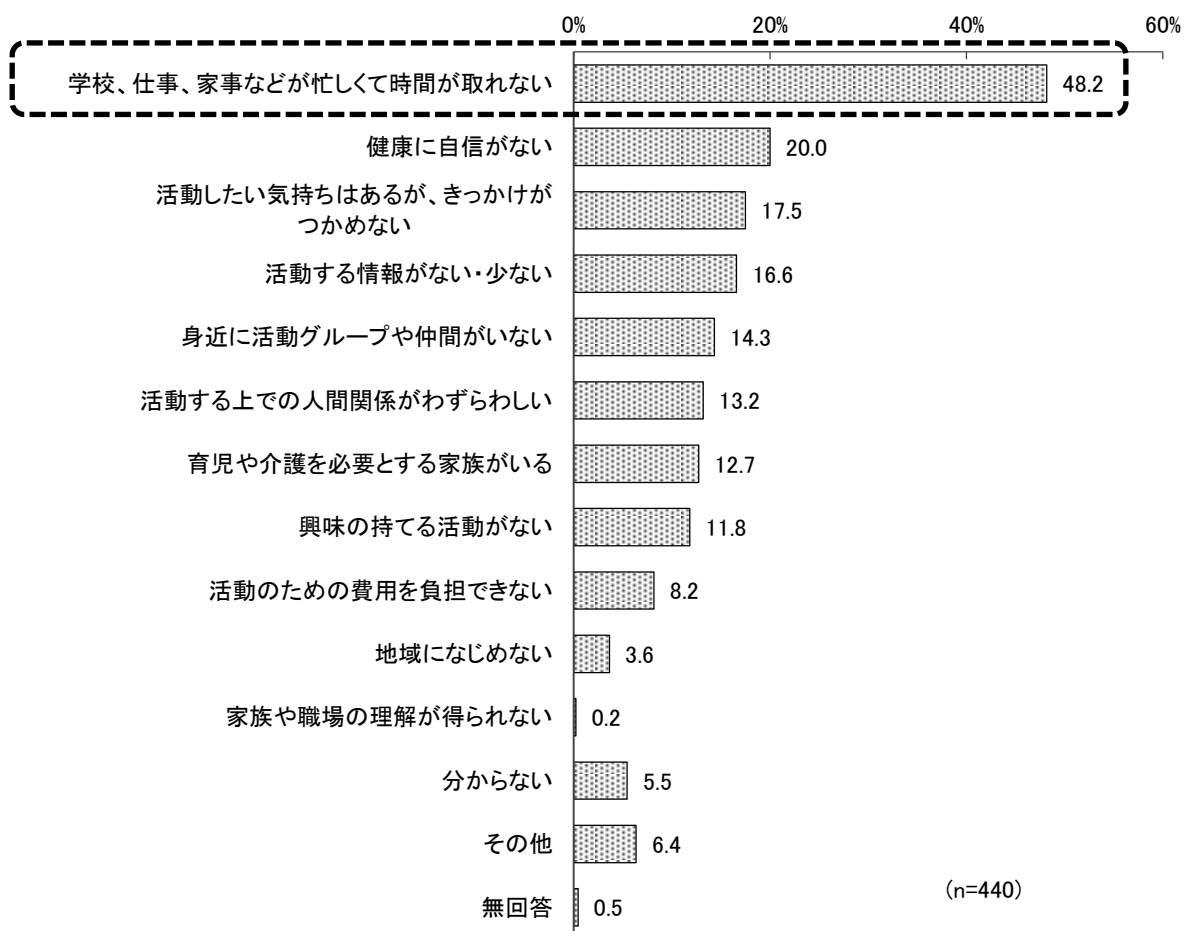
～「学校、仕事、家事などが忙しくて時間が取れない」が半数弱～

福祉活動をしていない理由は、「学校、仕事、家事などが忙しくて時間が取れない」が48.2%と最も高く、次いで「健康に自信がない」が20.0%、「活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない」が17.5%、「活動する情報がない・少ない」が16.6%、「身近に活動グループや仲間がいない」が14.3%、「活動する上での人間関係がわずらわしい」が13.2%、「育児や介護を必要とする家族がいる」が12.7%、「興味の持てる活動がない」が11.8%となっています。

【その他】

面倒くさい/金銭や時間の余裕がない/高齢のため など

【福祉活動をしていない理由】



問 14 身近な地域で住民が助けあい支えあうために、どのようなことが大切だと思いますか。

(○は5つまで)

～「困ったときの相談先や福祉サービスなどの情報提供」が6割超～

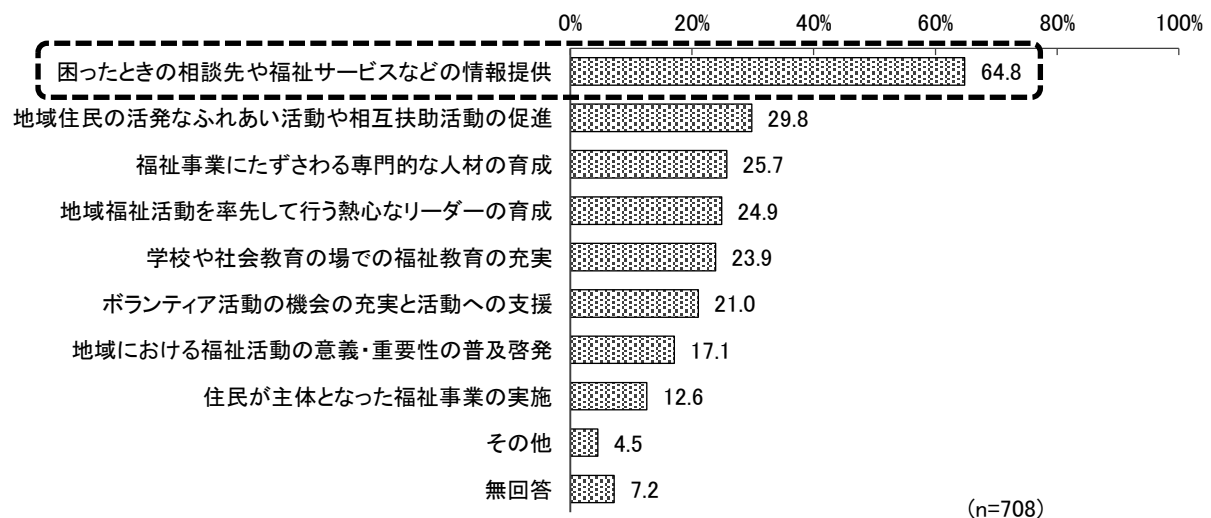
地域住民の助けあいや支えあいのために大切なことは、「困ったときの相談先や福祉サービスなどの情報提供」が64.8%と最も高く、次いで「地域住民の活発なふれあい活動や相互扶助活動の促進」が29.8%、「福祉事業にたずさわる専門的な人材の育成」が25.7%、「地域福祉活動を率先して行う熱心なリーダーの育成」が24.9%、「学校や社会教育の場での福祉教育の充実」が23.9%、「ボランティア活動の機会の充実と活動への支援」が21.0%となっています。

属性別で「困ったときの相談先や福祉サービスなどの情報提供」の割合をみると、性別では男性が59.8%、女性が68.4%と女性が8.6ポイント上回っていますが、ともに最も高く、年齢別、居住地区別でもすべてで最も高くなっています。また、年齢別では「学校や社会教育の場での福祉教育の充実」が10歳代、20歳代で高くなっています。居住地区別では、「地域住民の活発なふれあい活動や相互扶助活動の促進」は「高根」が40.8%と他の地区よりも高くなっています。

【その他】

近所付き合い/人が集まる場所の整備/住民同士がコミュニケーションをとれる場所 など

【地域住民の助けあいや支えあいのために大切なこと】



	困ったときの相談先や福祉サービスなどの情報提供	地域住民の活発なふれあい活動や相互扶助活動の促進	福祉事業にたずさわる専門的な人材の育成	地域福祉活動を率先して行う熱心なリーダーの育成	学校や社会教育の場での福祉教育の充実	ボランティア活動の機会の充実と活動への支援	地域における福祉活動の意義・重要性の普及啓発	住民が主体となった福祉事業の実施	その他	無回答
性別										
男性(n=291)	59.8	33.0	25.1	23.7	22.3	16.8	15.1	13.1	4.5	6.2
女性(n=364)	68.4	26.9	26.1	24.7	26.1	24.7	17.6	10.4	4.7	8.2
年齢										
10歳代(n=10)	60.0	20.0	20.0	10.0	60.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0
20歳代(n=35)	51.4	22.9	28.6	14.3	45.7	22.9	5.7	5.7	11.4	0.0
30歳代(n=56)	51.8	23.2	17.9	12.5	28.6	14.3	7.1	12.5	8.9	3.6
40歳代(n=98)	55.1	21.4	37.8	26.5	35.7	22.4	15.3	4.1	6.1	6.1
50歳代(n=87)	66.7	28.7	26.4	23.0	28.7	24.1	14.9	12.6	5.7	4.6
60歳代(n=187)	72.7	34.8	21.9	25.7	20.3	24.1	25.7	14.4	1.6	4.8
70歳代(n=154)	70.1	32.5	25.3	29.9	16.2	20.1	18.2	18.2	3.9	11.0
80歳代(n=52)	67.3	26.9	25.0	28.8	11.5	15.4	9.6	11.5	3.8	21.2
90歳代以上(n=5)	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区										
高麗(n=65)	70.8	27.7	23.1	26.2	24.6	16.9	16.9	18.5	3.1	4.6
高麗川(n=199)	62.8	30.7	26.1	17.6	26.1	23.6	17.6	12.1	7.0	5.0
高萩(n=193)	62.7	27.5	24.4	29.0	20.7	20.7	17.1	15.0	4.1	11.4
高根(n=49)	59.2	40.8	22.4	34.7	28.6	10.2	18.4	14.3	2.0	2.0
高萩北(n=68)	73.5	30.9	29.4	25.0	36.8	17.6	16.2	4.4	4.4	4.4
武蔵台・横手台(n=115)	63.5	29.6	28.7	26.1	16.5	23.5	15.7	9.6	3.5	9.6

問 15 あなたが手助けできると思う地域での支えあい活動は何ですか。(〇はいくつでも)
 ～「見守り・安否確認」が3割超～、「特にない」は2割超

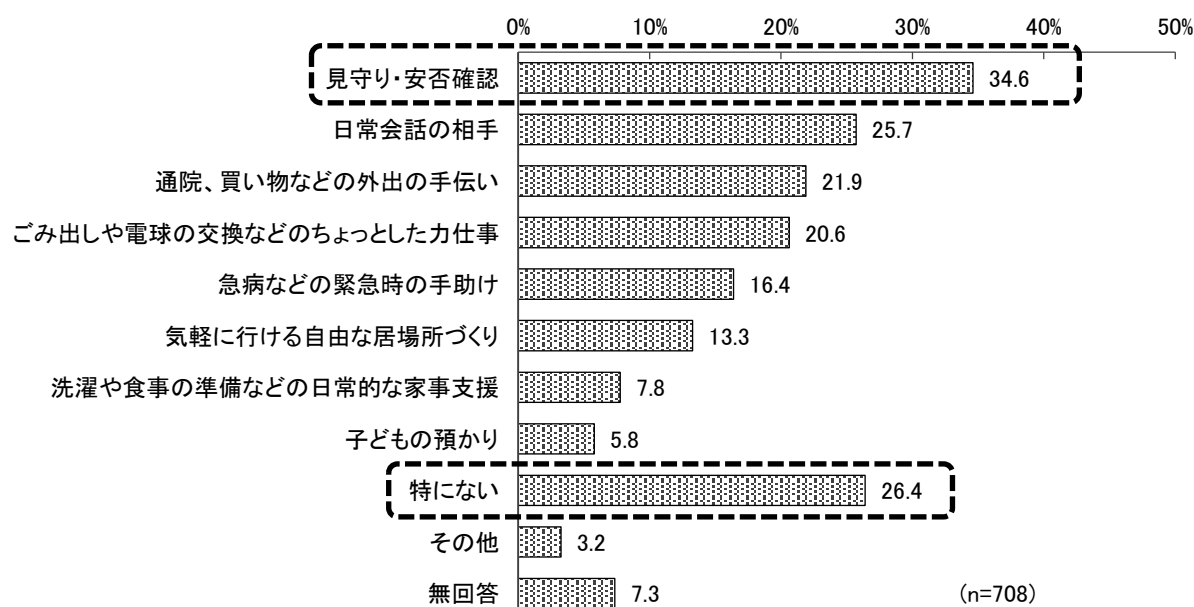
手助けできると思う地域での支えあい活動は、「特にない」(26.4%)を除くと、「見守り・安否確認」が34.6%と最も高く、次いで「日常会話の相手」が25.7%、「通院・買い物などの外出の手伝い」が21.9%、「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」が20.6%となっています。

属性別で「見守り・安否確認」の割合をみると、性別では大きな差がみられず、年齢別では、60歳代が48.7%と最も高くなっており、次いで40歳代が40.8%となっています。また、性別では、「日常会話の相手」は女性が男性を、「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」や「特にない」は男性が女性を、それぞれ10ポイント以上上回っています。

【その他】

施設訪問/音楽療法

【手助けできると思う地域での支えあい活動】



	見守り・ 安否確認	日常会話 の相手	通院、買 い物など の外出の 手伝い	ごみ出し や電球の 交換など のちょっ とした力 仕事	急病など の緊急時 の手助け	気軽に行 ける自由 な居場所 づくり	洗濯や食 事の準備 などの日 常的な家 事支援	子どもの 預かり	特にない	その他	無回答
性別											
男性(n=291)	35.1	17.5	21.0	30.6	18.9	10.7	3.4	2.1	32.6	2.4	4.1
女性(n=364)	34.6	31.6	22.3	12.9	15.4	14.0	10.4	9.3	22.0	3.6	9.6
年齢											
10歳代(n=10)	30.0	60.0	20.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0
20歳代(n=35)	17.1	14.3	17.1	17.1	8.6	8.6	8.6	2.9	37.1	2.9	2.9
30歳代(n=56)	32.1	23.2	10.7	25.0	16.1	14.3	5.4	8.9	25.0	3.6	1.8
40歳代(n=98)	40.8	26.5	23.5	20.4	13.3	8.2	6.1	6.1	21.4	3.1	8.2
50歳代(n=87)	34.5	26.4	29.9	21.8	11.5	9.2	12.6	13.8	32.2	1.1	3.4
60歳代(n=187)	48.7	25.7	28.9	24.1	20.9	12.8	8.0	4.3	21.9	3.7	4.3
70歳代(n=154)	27.3	26.6	17.5	19.5	19.5	20.8	8.4	3.2	26.6	2.6	13.0
80歳代(n=52)	11.5	30.8	9.6	3.8	13.5	13.5	1.9	5.8	34.6	3.8	17.3
90歳代以上(n=5)	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0
居住地											
高麗(n=65)	38.5	33.8	24.6	29.2	18.5	13.8	7.7	6.2	20.0	1.5	7.7
高麗川(n=199)	38.2	27.1	25.6	22.1	15.6	17.6	10.6	7.0	25.1	1.0	4.5
高萩(n=193)	29.5	23.3	17.1	17.6	15.0	11.4	5.7	5.2	25.4	3.6	10.9
高根(n=49)	30.6	22.4	22.4	26.5	22.4	12.2	6.1	4.1	28.6	4.1	6.1
高萩北(n=68)	41.2	35.3	25.0	10.3	20.6	10.3	8.8	8.8	26.5	4.4	2.9
武蔵台・横手台(n=115)	32.2	17.4	20.0	23.5	15.7	12.2	6.1	2.6	32.2	4.3	9.6

問 16 地域での支えあい活動をより活発にしていく上で必要な条件はどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

～「自宅に近い場所で活動できること」、「好きなときに活動できること」、

「活動時間がそれほど長くないこと」が半数超

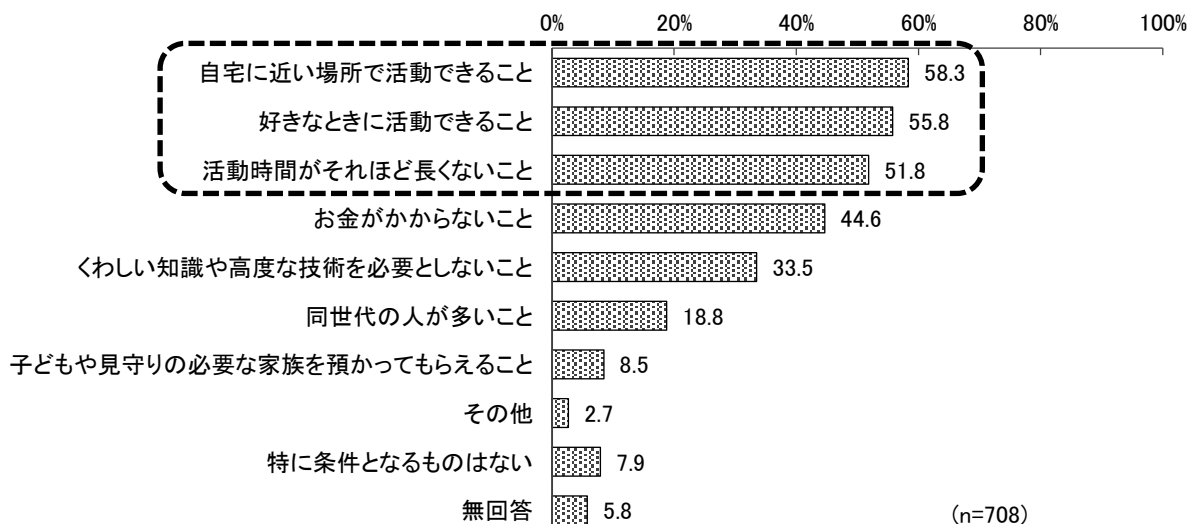
地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件は、「自宅に近い場所で活動できること」が 58.3%と最も高く、次いで「好きなときに活動できること」が 55.8%、「活動時間がそれほど長くないこと」が 51.8%、「お金がかからないこと」が 44.6%となっています。

属性別で「自宅に近い場所で活動できること」の割合をみると、性別では男性が 54.3%、女性が 60.4%と女性が 6.1 ポイント上回っています。年齢別では 60 歳代が 67.4%と最も高く、次いで 10 歳代が 60.0%となっています。また、「活動時間がそれほど長くないこと」は女性が男性を 13.0 ポイント上回っています。年齢別では、「同世代の人が多くいること」が 10 歳代から 30 歳代で他の年代よりも 10 ポイント以上高くなっています。

【その他】

年齢に関係なく参加できること など

【地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件】



		自宅に近い 場所で 活動でき ること	好きなと きに活動 できるこ と	活動時間 がそれほ ど長くな いこと	お金がか からない こと	くわしい 知識や高 度な技術 を必要と しないこ と	同世代の 人が多く いること	子どもや 見守りの 必要な家 族を預か ってもら えること	その他	特に条件 となるも のはない	無回答
性別	男性(n=291)	54.3	53.6	44.7	43.6	32.6	18.2	5.2	3.1	8.9	3.8
	女性(n=364)	60.4	56.6	57.7	46.4	35.2	19.5	11.5	2.5	6.3	7.1
年齢	10歳代(n=10)	60.0	80.0	50.0	70.0	20.0	50.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=35)	45.7	65.7	31.4	48.6	40.0	31.4	20.0	2.9	8.6	0.0
	30歳代(n=56)	46.4	64.3	57.1	39.3	26.8	32.1	21.4	1.8	3.6	1.8
	40歳代(n=98)	57.1	56.1	53.1	56.1	29.6	17.3	15.3	3.1	5.1	5.1
	50歳代(n=87)	58.6	64.4	56.3	48.3	29.9	18.4	9.2	3.4	6.9	2.3
	60歳代(n=187)	67.4	56.7	58.3	44.9	40.6	12.3	4.3	1.6	7.0	4.3
	70歳代(n=154)	55.8	50.0	50.0	40.3	32.5	19.5	1.9	3.2	9.7	8.4
	80歳代(n=52)	53.8	44.2	34.6	30.8	25.0	21.2	9.6	3.8	17.3	17.3
	90歳代以上(n=5)	40.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
居住 地区	高麗(n=65)	64.6	61.5	58.5	46.2	38.5	18.5	10.8	3.1	6.2	4.6
	高麗川(n=199)	58.3	57.3	47.7	44.2	30.2	21.6	6.0	2.0	7.0	4.0
	高萩(n=193)	57.0	51.8	48.7	45.1	31.1	17.1	9.8	2.1	9.3	7.8
	高根(n=49)	61.2	53.1	55.1	49.0	32.7	18.4	4.1	0.0	10.2	2.0
	高萩北(n=68)	58.8	63.2	63.2	50.0	42.6	22.1	19.1	1.5	4.4	4.4
	武蔵台・横手台(n=115)	57.4	53.9	53.9	40.0	33.9	13.9	4.3	5.2	9.6	7.0

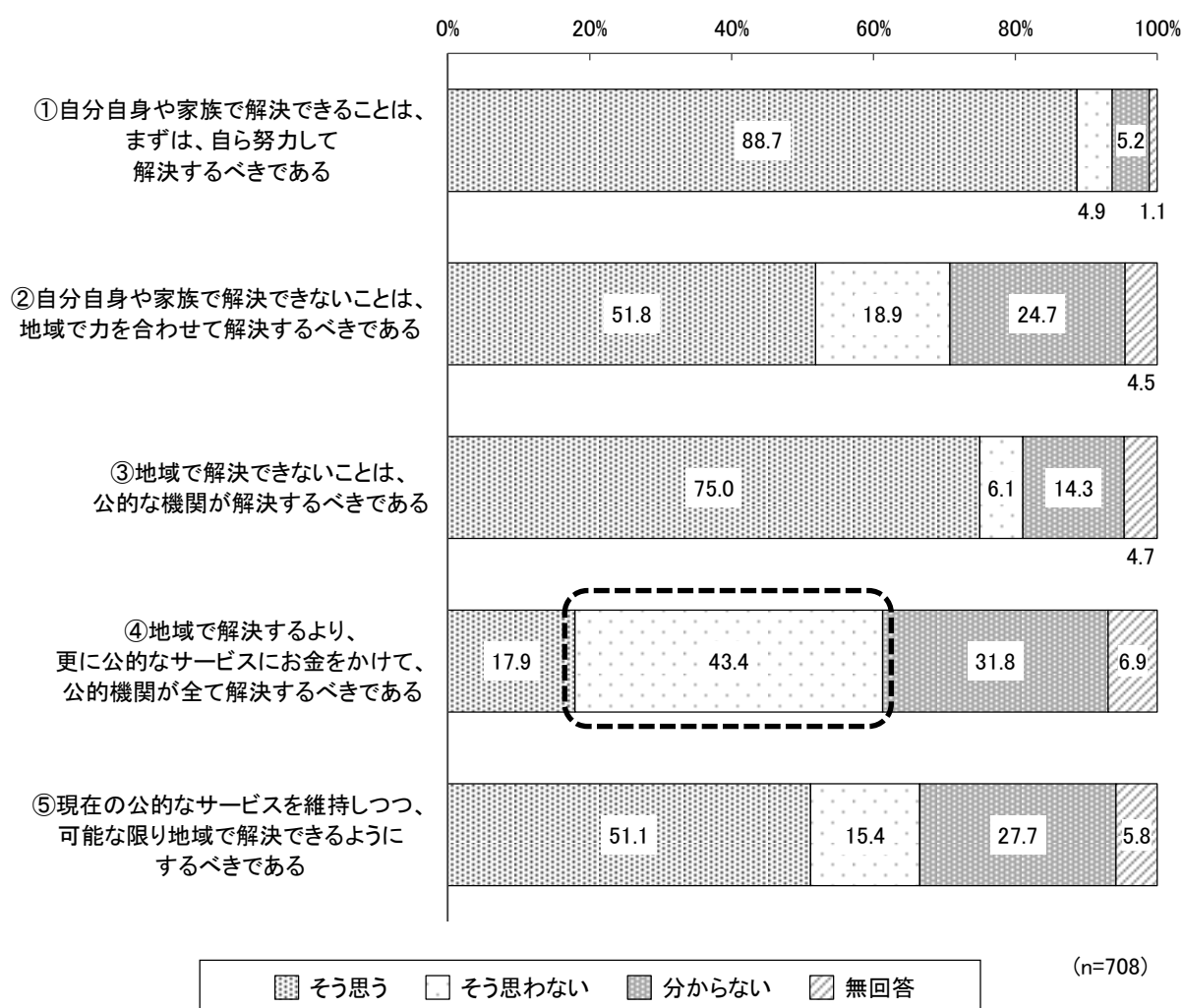
問 17 あなたの身の回りで起こる福祉の問題に対して、あなたはどのように思いますか。（それぞれ当てはまるものに○）

～「④地域で解決するより、更に公的なサービスにお金をかけて、

公的機関が全て解決するべきである」は「そう思わない」が4割超

身の回りで起こる福祉の課題についてどのように思うかは、「④地域で解決するより、更に公的なサービスにお金をかけて、公的機関が全て解決するべきである」については「そう思わない」が「そう思う」を上回っています。その他の設問では「そう思う」が「そう思わない」を上回っていますが、「②自分自身や家族で解決できないことは、地域で力を合わせて解決するべきである」「⑤現在の公的なサービスを維持しつつ、可能な限り地域で解決できるようにするべきである」については「わからない」の割合がやや高くなっています。

【身の回りで起こる福祉の課題についてどのように思うか】



①自分自身や家族で解決できることは、まずは、自ら努力して解決するべきである

		そう思う	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性(n=291)	87.3	7.2	5.2	0.3
	女性(n=364)	89.6	3.3	5.8	1.4
年齢	10歳代(n=10)	80.0	0.0	20.0	0.0
	20歳代(n=35)	80.0	5.7	14.3	0.0
	30歳代(n=56)	85.7	10.7	3.6	0.0
	40歳代(n=98)	83.7	7.1	9.2	0.0
	50歳代(n=87)	83.9	8.0	8.0	0.0
	60歳代(n=187)	94.1	2.7	2.1	1.1
	70歳代(n=154)	90.9	3.2	3.9	1.9
	80歳代(n=52)	90.4	3.8	1.9	3.8
	90歳代以上(n=5)	100.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	86.2	9.2	4.6	0.0
	高麗川(n=199)	91.0	5.5	3.0	0.5
	高萩(n=193)	86.5	4.7	5.7	3.1
	高根(n=49)	79.6	8.2	12.2	0.0
	高萩北(n=68)	92.6	4.4	2.9	0.0
	武蔵台・横手台(n=115)	90.4	1.7	7.0	0.9

②自分自身や家族で解決できないことは、地域で力を合わせて解決するべきである

		そう思う	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性(n=291)	49.5	21.3	25.4	3.8
	女性(n=364)	52.5	17.6	25.3	4.7
年齢	10歳代(n=10)	60.0	10.0	30.0	0.0
	20歳代(n=35)	42.9	25.7	31.4	0.0
	30歳代(n=56)	60.7	16.1	21.4	1.8
	40歳代(n=98)	57.1	19.4	23.5	0.0
	50歳代(n=87)	49.4	18.4	31.0	1.1
	60歳代(n=187)	54.5	20.3	21.9	3.2
	70歳代(n=154)	49.4	14.9	26.6	9.1
	80歳代(n=52)	40.4	23.1	21.2	15.4
	90歳代以上(n=5)	20.0	40.0	20.0	20.0
居住地区	高麗(n=65)	60.0	15.4	23.1	1.5
	高麗川(n=199)	50.3	20.1	25.1	4.5
	高萩(n=193)	50.3	17.1	25.9	6.7
	高根(n=49)	46.9	22.4	28.6	2.0
	高萩北(n=68)	60.3	20.6	14.7	4.4
	武蔵台・横手台(n=115)	49.6	20.0	27.0	3.5

③地域で解決できないことは、公的な機関が解決するべきである

		そう思う	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性(n=291)	74.2	9.3	12.4	4.1
	女性(n=364)	75.5	3.6	15.7	5.2
年齢	10歳代(n=10)	90.0	0.0	10.0	0.0
	20歳代(n=35)	60.0	11.4	28.6	0.0
	30歳代(n=56)	82.1	10.7	5.4	1.8
	40歳代(n=98)	78.6	6.1	15.3	0.0
	50歳代(n=87)	74.7	3.4	19.5	2.3
	60歳代(n=187)	79.1	5.9	11.2	3.7
	70歳代(n=154)	72.1	4.5	14.3	9.1
	80歳代(n=52)	63.5	7.7	13.5	15.4
	90歳代以上(n=5)	60.0	20.0	20.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	87.7	0.0	12.3	0.0
	高麗川(n=199)	77.9	6.0	11.1	5.0
	高萩(n=193)	69.9	6.2	16.6	7.3
	高根(n=49)	67.3	8.2	20.4	4.1
	高萩北(n=68)	75.0	4.4	16.2	4.4
	武蔵台・横手台(n=115)	73.0	9.6	13.9	3.5

- ④地域で解決するより、更に公的なサービスにお金をかけて、公的機関が全て解決するべきである

		そう思う	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性(n=291)	18.2	47.1	29.6	5.2
	女性(n=364)	18.1	39.3	34.6	8.0
年齢	10歳代(n=10)	0.0	40.0	60.0	0.0
	20歳代(n=35)	17.1	37.1	45.7	0.0
	30歳代(n=56)	28.6	41.1	28.6	1.8
	40歳代(n=98)	27.6	43.9	27.6	1.0
	50歳代(n=87)	20.7	39.1	36.8	3.4
	60歳代(n=187)	16.0	49.7	27.3	7.0
	70歳代(n=154)	11.7	42.9	34.4	11.0
	80歳代(n=52)	11.5	44.2	25.0	19.2
	90歳代以上(n=5)	20.0	20.0	40.0	20.0
居住地区	高麗(n=65)	21.5	44.6	32.3	1.5
	高麗川(n=199)	17.1	47.2	28.1	7.5
	高萩(n=193)	17.1	39.9	32.1	10.9
	高根(n=49)	12.2	51.0	32.7	4.1
	高萩北(n=68)	23.5	38.2	35.3	2.9
	武蔵台・横手台(n=115)	15.7	43.5	35.7	5.2

- ⑤現在の公的なサービスを維持しつつ、可能な限り地域で解決できるようにするべきである

		そう思う	そう思わない	分からない	無回答
性別	男性(n=291)	51.9	16.2	26.5	5.5
	女性(n=364)	49.5	14.6	29.9	6.0
年齢	10歳代(n=10)	70.0	10.0	20.0	0.0
	20歳代(n=35)	42.9	17.1	40.0	0.0
	30歳代(n=56)	51.8	21.4	25.0	1.8
	40歳代(n=98)	53.1	21.4	25.5	0.0
	50歳代(n=87)	49.4	13.8	34.5	2.3
	60歳代(n=187)	48.1	18.2	27.8	5.9
	70歳代(n=154)	55.2	7.8	26.6	10.4
	80歳代(n=52)	51.9	7.7	23.1	17.3
	90歳代以上(n=5)	60.0	20.0	20.0	0.0
居住地区	高麗(n=65)	56.9	12.3	29.2	1.5
	高麗川(n=199)	54.3	16.6	22.1	7.0
	高萩(n=193)	46.1	16.1	30.1	7.8
	高根(n=49)	53.1	14.3	26.5	6.1
	高萩北(n=68)	52.9	13.2	30.9	2.9
	武蔵台・横手台(n=115)	47.8	16.5	31.3	4.3

問 11「日常生活を送る上で必要な手助け」と問 15「手助けできると思う地域での支えあい活動」のクロス集計

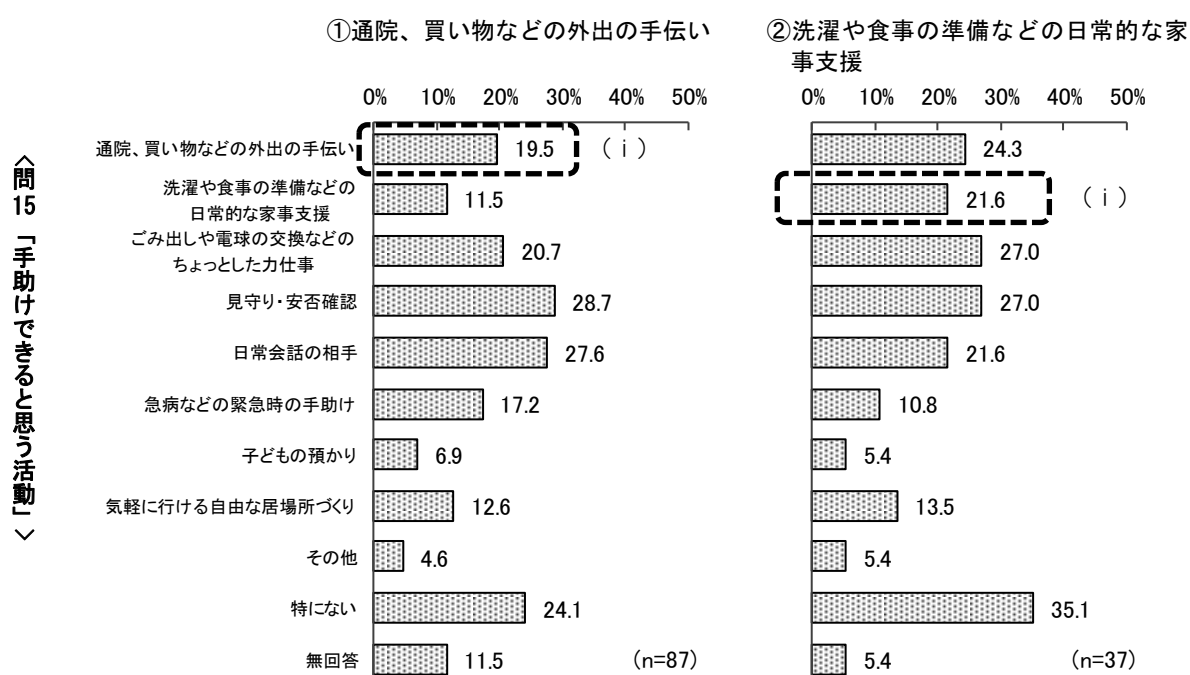
～「必要な手助け」を逆に「手助けできると思う活動」として挙げている傾向がある～

手助けできると思う地域での支えあい活動について、日常生活を送る上で必要な手助け別にみると、「見守り・安否確認」や「日常会話の相手」が必要な手助け全般で高くなっています。また、「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」を必要としている人は「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」が高く、「見守り・安否確認」を必要としている人は「見守り・安否確認」を手助けできる割合が高いなど、必要としている手助けを逆に手助けできる活動として挙げている傾向がみられます。(i)

「子どもの預かり」を必要としている人は、全般的に手助けできる活動の割合が低いものの、「見守り・安否確認」や「子どもの預かり」は他の手助けを必要としている人に比べて、割合が高くなっています。(ii)

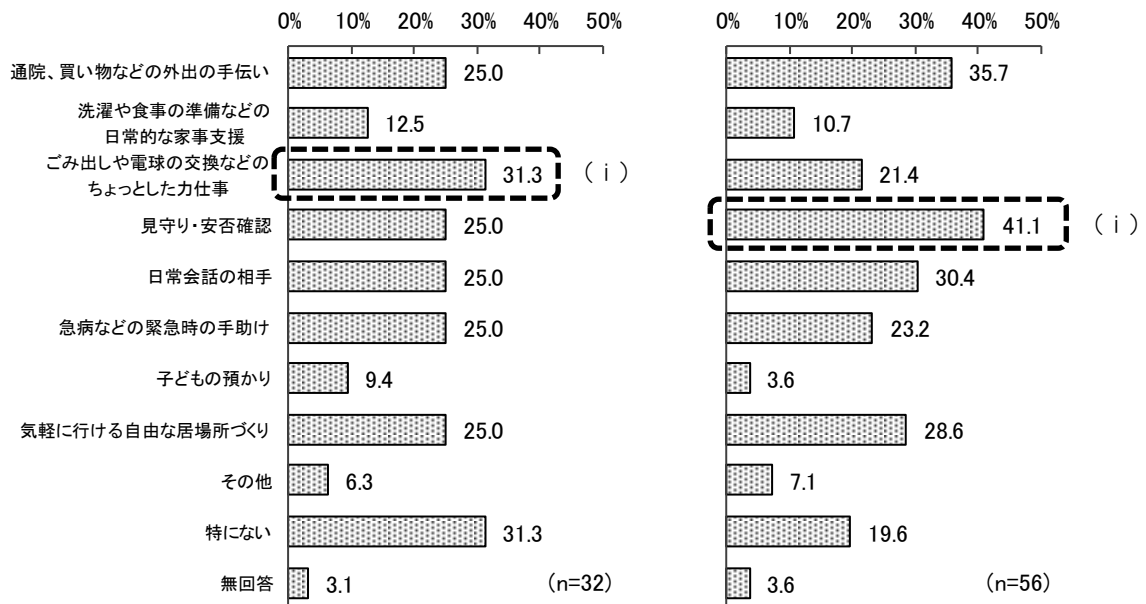
「日常会話の相手」を必要としている人は、手助けできる活動が全般的に高くなっており、「通院、買い物などの外出の手伝い」「洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援」「ごみ出しや電球の交換などちょっとした力仕事」は他の必要な手助けと比較して、割合が高くなっています。(iii)

＜問 11「必要な手助け」＞



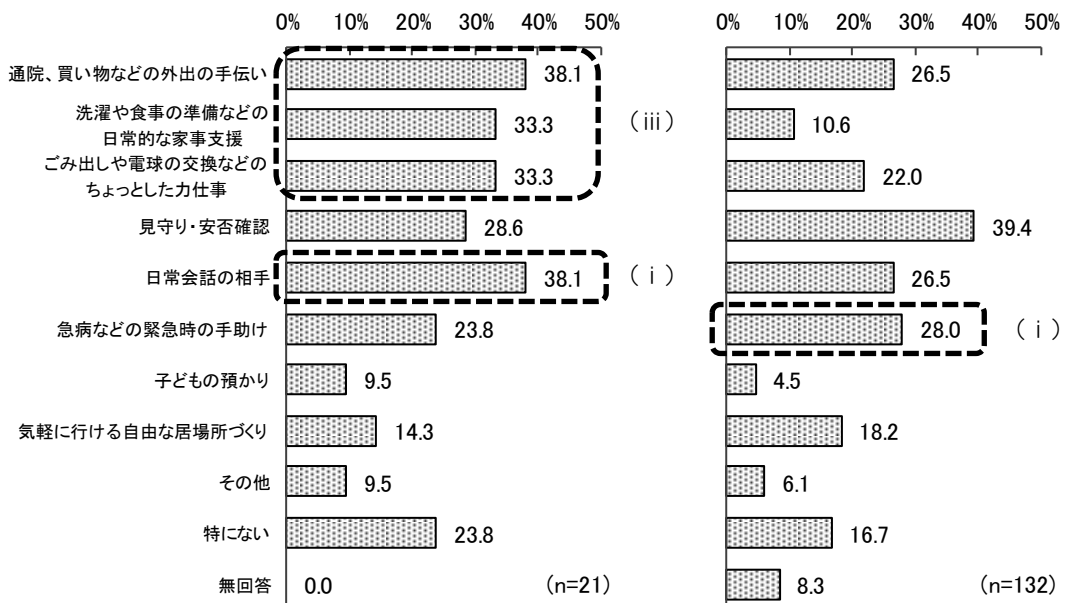
＜問 11「必要な手助け」＞

③ごみ出しや電球の交換などのちょっと ④見守り・安否確認
とした力仕事



⑤日常会話の相手

⑥急病などの緊急時の手助け

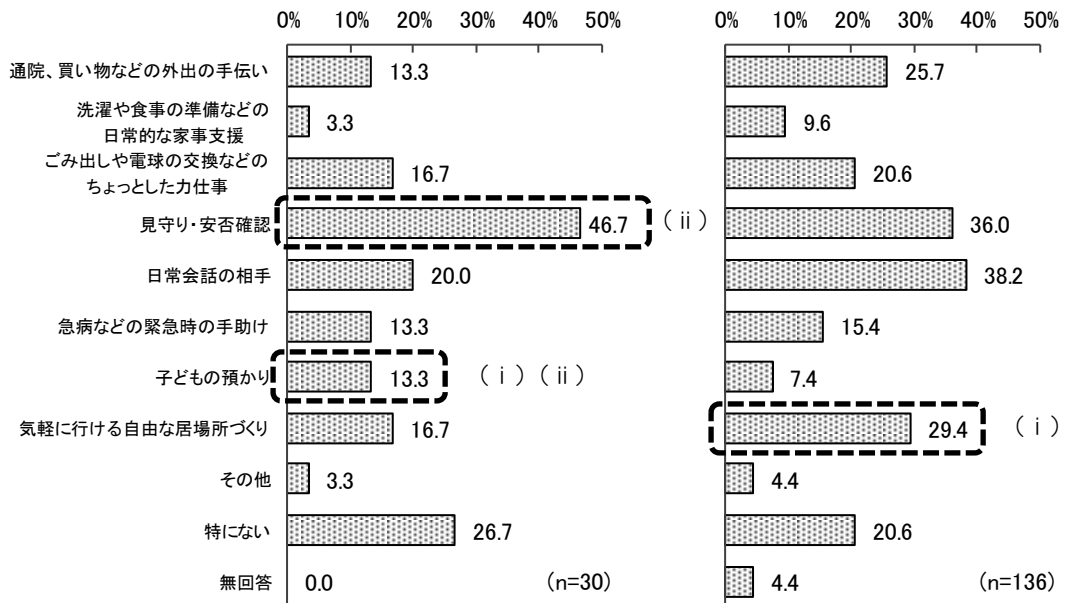


＜問 15「手助けできると思う活動」＞

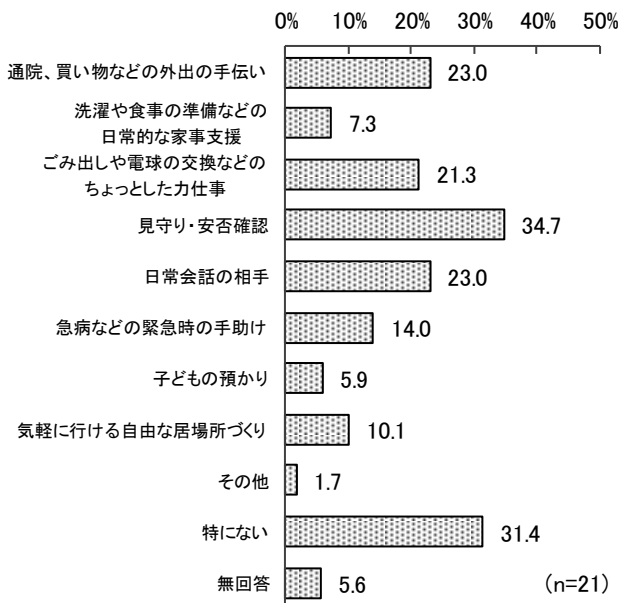
＜問 11「必要な手助け」＞

⑦子どもの預かり

⑧気軽に行ける自由な居場所づくり



⑨特にない



＜問 15「手助けできると思う活動」＞

問 13 付問 2「福祉活動をししない理由」と問 16「地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件」のクロス集計

～活動しやすくなるような「条件」を整えると、

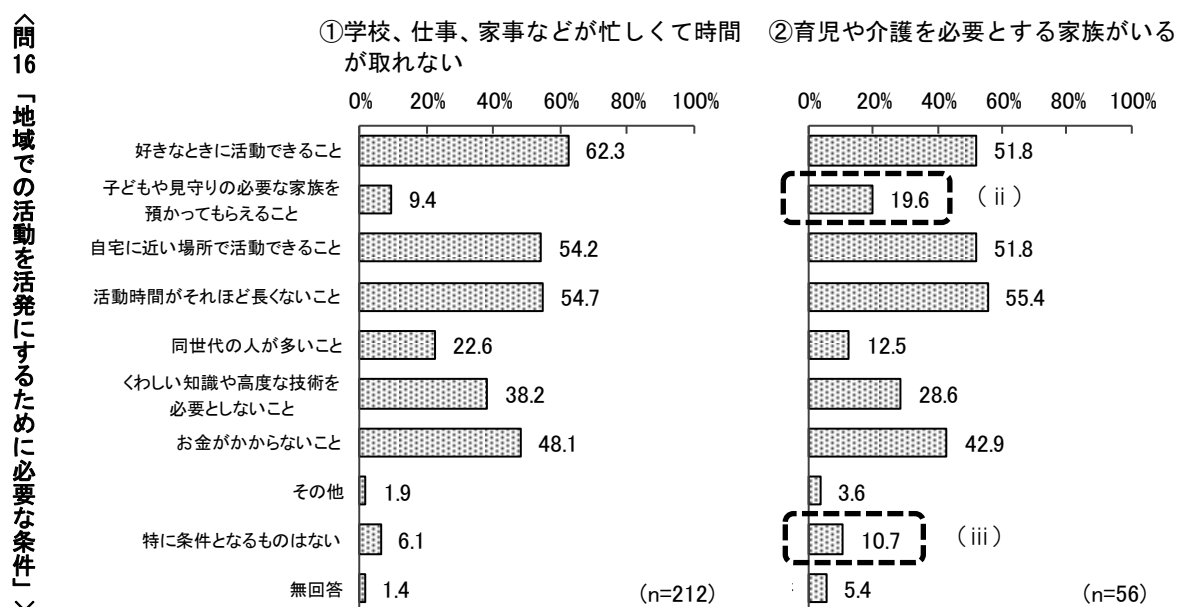
参加しやすくなると考えられる「理由」もある～

地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件について、福祉活動をししない理由別にみると、全般的に「好きなときに活動できること」「自宅に近い場所で活動できること」「活動時間がそれほど長くないこと」が各理由で高くなっていて、特に「④活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない」「⑤身近に活動グループや仲間がいない」「⑥活動する情報が無い・少ない」で高くなっています。(i)

「子どもや見守りの必要な家族を預かってもらえること」は「②育児や介護を必要とする家族がいる」で高くなっています。(ii)

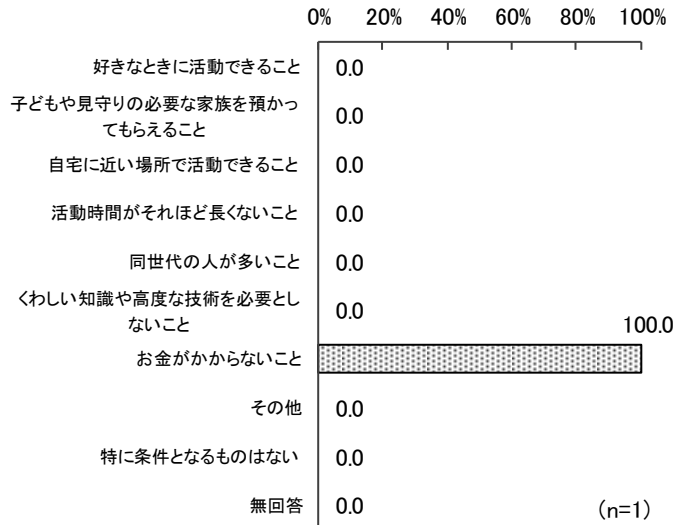
「②育児や介護を必要とする家族がいる」「⑦健康に自信がない」「⑩活動する上での人間関係がわずらわしい」「⑪地域になじめない」といった理由では全般的に各条件とも割合が低くなっていて、このうち「②育児や介護を必要とする家族がいる」「⑦健康に自信がない」「⑩活動する上での人間関係がわずらわしい」では「特に条件となるものはない」の割合が比較的高くなっています。(iii)

＜問 13 付問 2「福祉活動をししない理由」＞

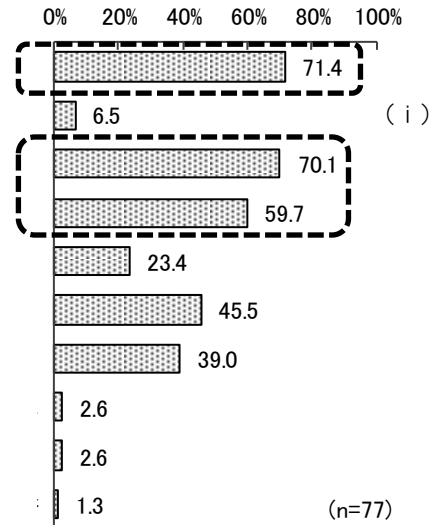


＜問 13 付問 2「福祉活動をしない理由」＞

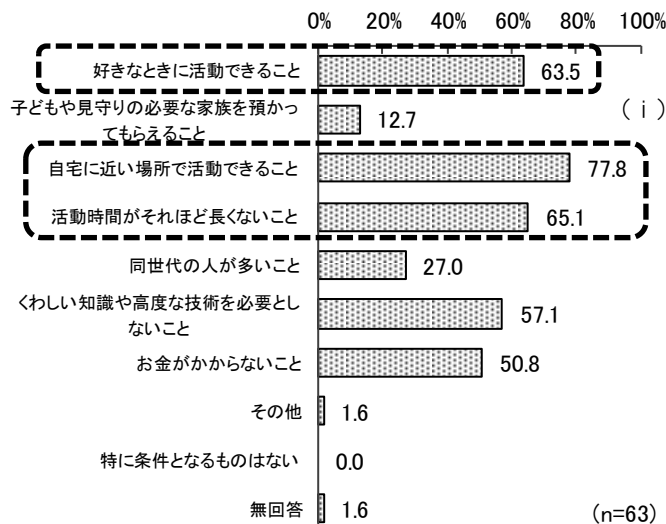
③家族や職場の理解が得られない



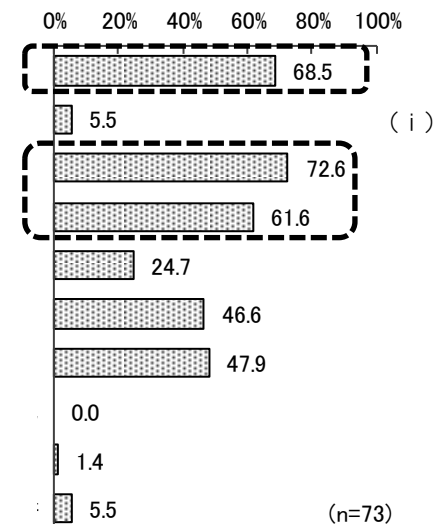
④活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない



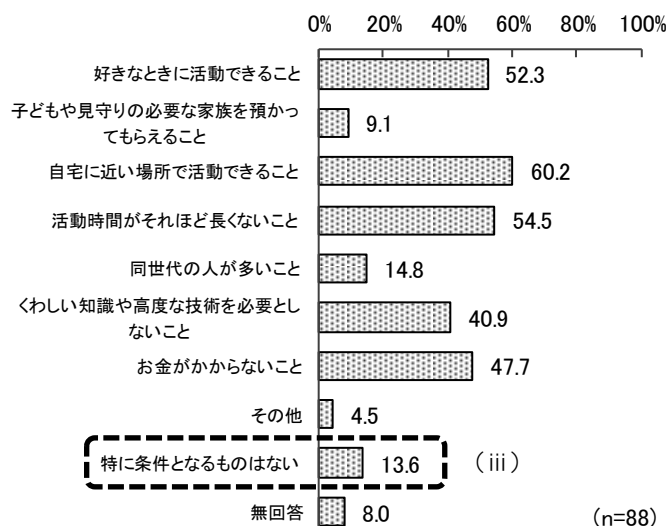
⑤身近に活動グループや仲間がいない



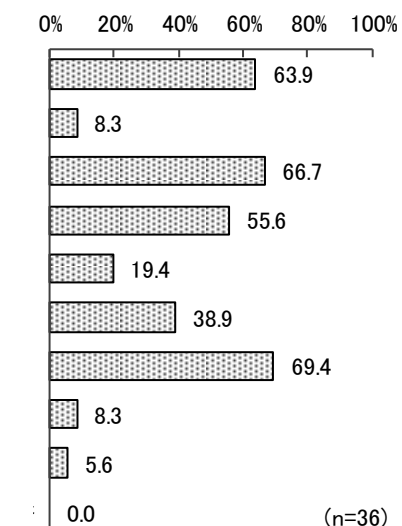
⑥活動する情報がない・少ない



⑦健康に自信がない



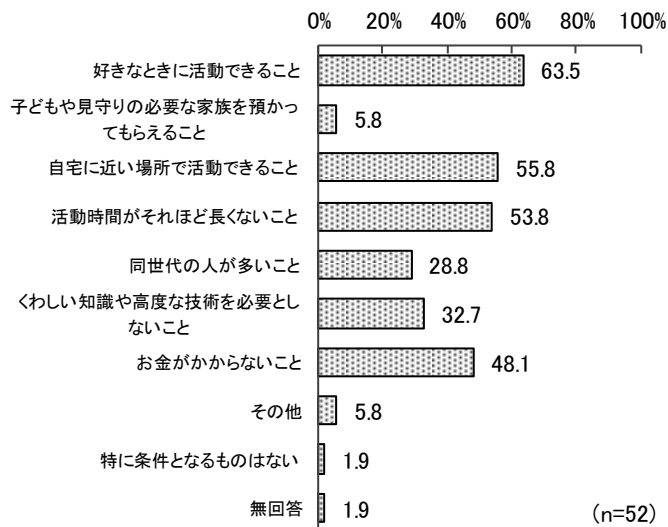
⑧活動のための費用を負担できない



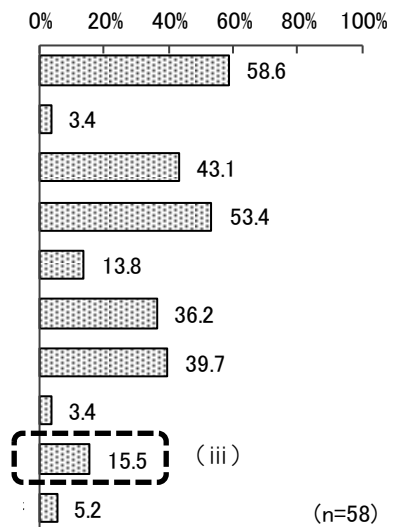
＜問 16 「地域での活動を活発にするために必要な条件」＞

＜問 13 付問 2「福祉活動をしない理由」＞

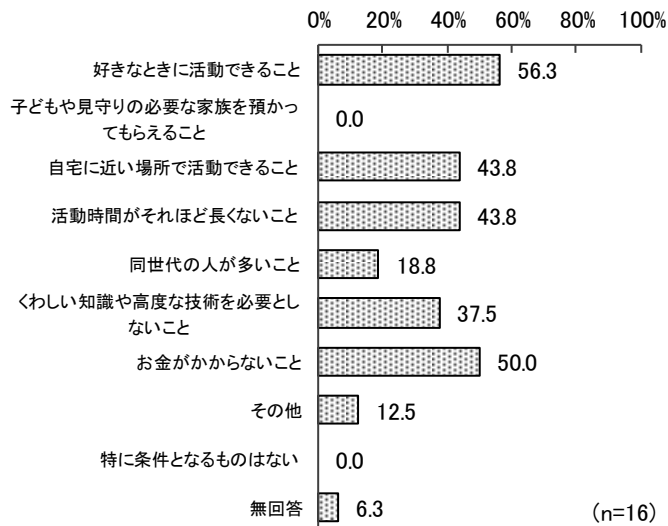
⑨興味の持てる活動がない



⑩活動する上での人間関係がわずらわしい



⑪地域になじめない



＜問 16「地域での活動を活発にするために必要な条件」＞

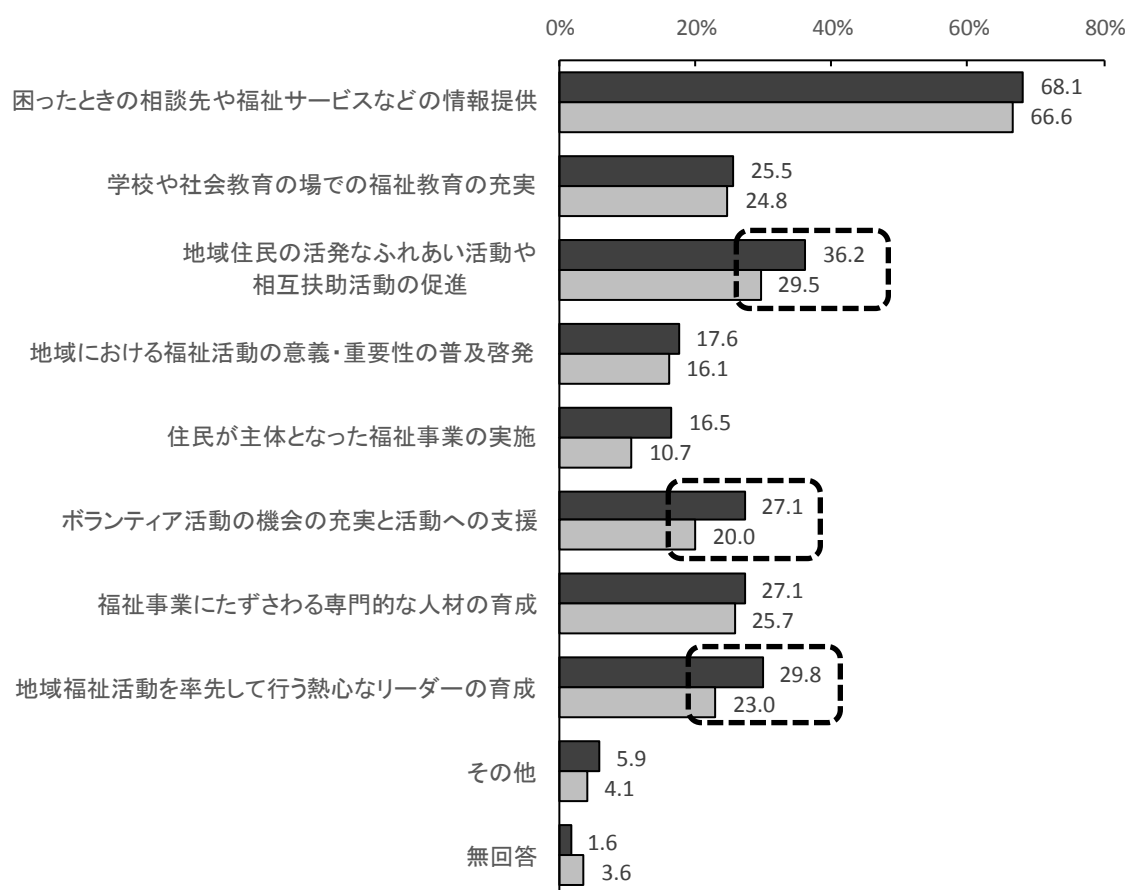
問 13「福祉との関わり方」と問 14「地域住民の助けあいや支えあいのために大切なこと」と
のクロス集計

～地域での住民主体の活動に関して、意識の差がみられる～

地域住民の助けあいや支えあいのために大切なことについて、福祉との関わり方別にみると、どちらも「困ったときの相談先や福祉サービスなどの情報提供」が最も高く、次いで「地域住民の活発なふれあい活動や相互扶助活動の促進」となっています。

また、「福祉の仕事や活動をしている」が「福祉の仕事や活動をしていない」を上回っているものについては、「ボランティア活動の機会の充実と活動への支援」が 7.1 ポイント、「地域福祉活動を率先して行う熱心なリーダーの育成」が 6.8 ポイント、「地域住民の活発なふれあい活動や相互扶助活動の促進」が 6.7 ポイントとなっており、他に比べて差が大きくなっています。逆に、「福祉の仕事や活動をしていない」が上回っているものはありませんでした。

全般的に「福祉の仕事や活動をしている」人の方が「地域住民の助けあいや支えあいのために大切なこと」に関する意識が高く、特に地域での住民主体の活動に関して、差がみられます。



■ 福祉の仕事や活動をしている (n=188) □ 福祉の仕事や活動をしていない (n=440)

「福祉の仕事や活動をしていない」：問 13「いずれの活動もしていない」

「福祉の仕事や活動をしている」：問 13「いずれの活動もしていない」以外

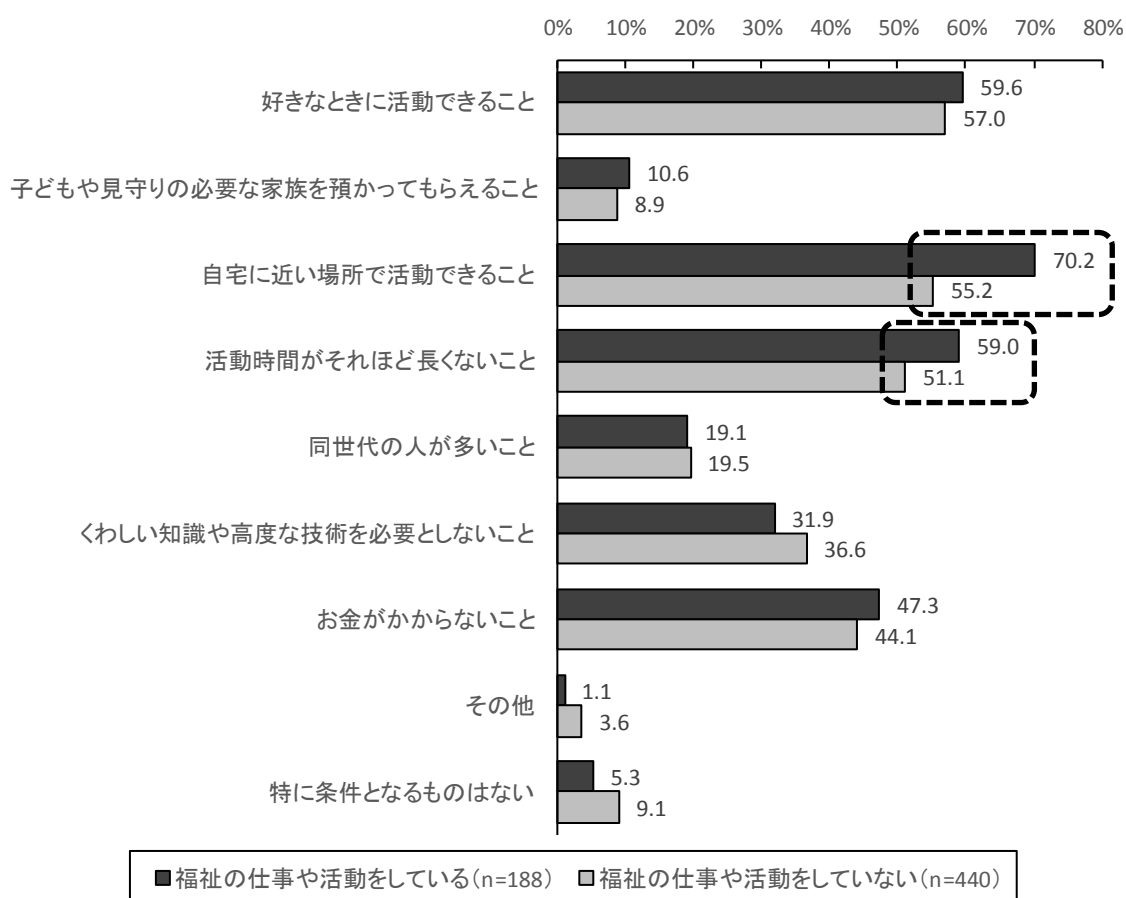
問 13「福祉との関わり方」と問 16「地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件」
とのクロス集計

～「福祉の仕事や活動をしている」人の方が活動場所や活動時間の条件を重視している～

地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件について、福祉との関わり方別にみると、「福祉の仕事や活動をしている」では「自宅に近い場所で活動できること」が最も高く、次いで「好きなときに活動できること」、「活動時間がそれほど長くないこと」となっています。「福祉の仕事や活動をしていない」では、「好きなときに活動できること」が最も高く、順位は異なりますが上位3項目は同様となっています。

また、「福祉の仕事や活動をしている」が「福祉の仕事や活動をしていない」を上回っているものについては、「自宅に近い場所で活動できること」が15.0ポイント、「活動時間がそれほど長くないこと」が7.9ポイント、となっており、逆に、「福祉の仕事や活動をしていない」が上回っているものについては、「くわしい知識や高度な技術を必要としないこと」が4.7ポイント上回っており、他に比べて差が大きくなっています。

全般的に活動場所や活動時間についての条件を重視していて、特に「福祉の仕事や活動をしている」人の方が割合が高くなっています。



「福祉の仕事や活動をしていない」：問 13「いずれの活動もしていない」

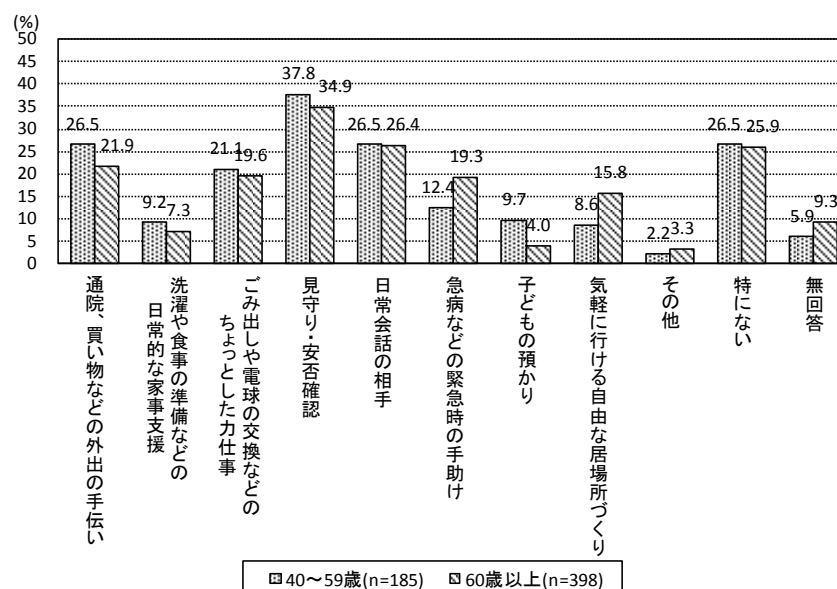
「福祉の仕事や活動をしている」：問 13「いずれの活動もしていない」以外

■参考 手助けできると思う地域での支えあい活動について（全国結果との比較）

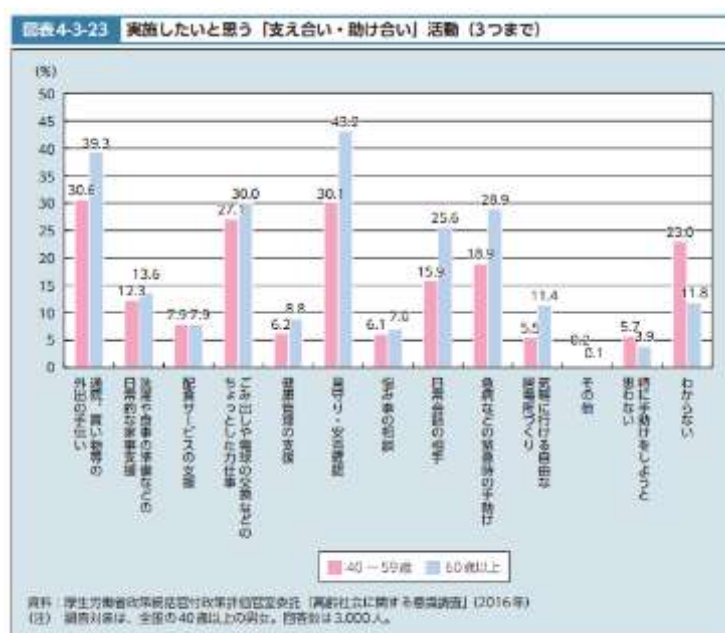
手助けできると思う地域での支えあい活動について、全国の結果と比較してみると、全般的に全国よりも低くなっている傾向があります。また、全国では 60 歳以上が 40～59 歳をほとんどの活動で上回っているものの、本市では 40～59 歳が上回っているものが多くなっています。

本市では、「見守り・安否確認」が最も高くなっているものの、「通院、買い物などの外出の手伝い」や「ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事」と同様に全国よりも低くなっています（「見守り・安否確認」の 40～59 歳を除く）。逆に、「日常会話の相手」や「気軽にに行ける自由な場所づくり」は全国を上回っています。

〔日高市〕



〔全国〕

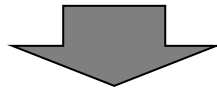


資料：平成 28 年版厚生労働白書（厚生労働省）

(3) 総 括

お住まいの地域について（問2～問7）

- ・「自分の地域」と感じる範囲は、「自宅周辺の近隣」から「自治会・町内会の範囲」で6割を超えています。
- ・自分の地域の住みやすさは「住みやすい」と「まあ住みやすい」の合計が6割を超えています。
- ・地域や周辺の環境については、「あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ」は「そう思う」と「まあそう思う」の合計が7割以上となっていますが、他は半数以下となっていて、特に、「周辺施設が高齢者や障がい者の利用に配慮されている」は、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計が最も高くなっています。
- ・近所づきあいは、「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」が約5割となっています。
- ・あまり近所づきあいをしていない理由は、「仕事などで家をあけることが多く、会う機会がない」が約6割となっています。
- ・地域の行事や活動などへの参加は、「清掃・美化活動」が約5割となっていて、「活動はしていない」も2割以上います。
- ・地域活動や行事を活発にするために大切だと思うことは、「住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る」が6割以上となっています。



＜結果から見える今後の展開＞

自分の地域とを感じる範囲については、自治会・町内会の範囲くらいまでの方が多く、比較的住みやすいと感じているようです。ただ、周辺施設が高齢者や障がい者の利用に配慮されていないと感じている方が多く、住民同士が困ったときに助け合う関係を作ることが地域活動や行事を活発にするために大切だと考えながらも、あまり近所づきあいをしていなかったり、地域の行事や活動などへ参加をしていない方もみられます。

今後は、住民に身近な施設についても多くの方に使いやすいようにしたり、地域活動に積極的にかかわっていきける環境づくりを進めていく必要があります。

生活する上での課題や福祉サービスについて（問 8 ～問 12）

- ・健康や福祉に関する情報で役に立っているものは、「日高市の広報紙・ホームページ」が6割以上となっていて、「テレビ、新聞、書籍からの情報」も5割を超えています。
- ・どのようなことに悩みや不安を感じるかは、「健康に関すること」と「老後の暮らしに関すること」が5割を超えています。
- ・悩みや不安なことの相談先は、「家族・親戚」が7割以上となっていて、それに次ぐ「友人・知人」を大きく上回っています。
- ・日常生活を送る上で必要な手助けは、「特にない」が5割を超えていますが、「気軽に行ける自由な居場所づくり」や「急病などの緊急時の手助け」が2割近くになっています。
- ・高齢者や障がい者、子育てをしている人が支援を受けるために必要なことは、「気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所」が4割以上となっています。



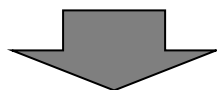
＜結果から見える今後の展開＞

多くの人が健康や老後の暮らしなどに悩みや不安を感じており、そうした悩みや不安は家族・親戚や友人・知人など身近な人に相談したり、市の広報紙やホームページ、マスメディアを通じて情報を得るなどしています。また、日常生活において必要な手助けは特にないとする方が多いものの、気軽に行ける自由な居場所づくりや急病などの緊急時の手助けを必要としている方もいます。

今後は、身近に相談できる場や気軽に行ける居場所づくりなど、悩みや不安、必要な手助け等をうまく汲み取り、今後の施策につなげていく必要があります。

地域福祉を進めるための取り組みについて（問 13～問 17）

- ・福祉との関わり方は、「いずれの活動もしていない」が約6割となっていて、福祉活動をしていない理由は、「学校、仕事、家事などが忙しくて時間が取れない」が5割近くになっています。
- ・福祉活動をする理由は「持ち回りの当番制となっているから」が4割以上となっています。
- ・地域住民の助けあいや支えあいのために大切なことは、「困ったときの相談先や福祉サービスなどの情報提供」が6割以上になっています。
- ・手助けできると思う地域での支えあい活動は、「見守り・安否確認」が3割以上となっています。
- ・地域での支えあい活動を活発にするために必要な条件は、「自宅に近い場所で活動できること」や「好きなときに活動できること」、「活動時間がそれほど長くないこと」が5割を超えています。
- ・身の回りで起こる福祉の課題についてどのように思うかは、「④地域で解決するより、更に公的なサービスにお金をかけて、公的機関が全て解決するべきである」については「そう思わない」が「そう思う」を上回っています。



＜結果から見える今後の展開＞

福祉活動については、忙しい等の理由により活動していない方が多く、活動をしている方でも持ち回りの当番制など、積極的ではない理由も多くなっています。ただ、地域住民の助けあいや支えあいのために大切なこととして、困ったときの相談先や福祉サービスなどの情報提供を多くの方が挙げており、手助けできると思う地域での支えあい活動も様々な活動が挙げられています。

今後は、地域住民の方が参加しやすいよう、できるだけ負担を減らしながら、地域での支えあい活動をどのように行っていくか、地域とともに検討していく必要があります。

**（４）新たな地域福祉計画の策定に向けた
アンケート調査票**

新たな地域福祉計画の策定に向けたアンケート調査

ご協力のお願い

日頃より健康づくりと福祉の推進について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、日高市では、「誰もが住み慣れた地域で安心して 自立した生活が送れるようにする」を基本理念とした第2次日高市地域福祉計画を平成26年3月に策定し、計画的な地域福祉施策の展開に努めておりますが、この計画の期間が平成30年度をもって終了いたします。

このため、次期計画の策定に当たり、市内在住の方を対象に地域を取り巻く環境や地域福祉に対する意見をお伺いし、計画立案に役立てたいと考え、アンケート調査をお願いすることといたしました。ご多用中のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、皆さまからのご回答内容は統計的に処理し、計画策定の基礎資料としてのみ使用いたします。個々にご記入いただいた調査票を公表するなど、個人が特定されるようなことは決してありません。

平成29年9月 日高市長 谷ヶ崎 照雄

地域福祉とは？

「地域福祉」とは、障がいの有無や性別、年齢、国籍、生活状況などの異なる様々な人たちが抱える生活上の課題を、自分たちが住んでいる地域という場所を中心に考え、地域全体で取り組み、誰もが住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進める活動のことです。

《はじめにお読みください》

1. この調査票は、市内にお住まいの18歳以上の方のうち無作為に抽出して選んだ1,500名の方を対象としてお配りしています。調査票には現在（平成29年9月）の状況をあて名のご本人がご回答ください。ご本人がご記入できない場合は、ご家族の方がご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
2. 質問によって選んでいただく数を（○は1つ）、（○はいくつでも）などと指定していますので、質問の内容をお読みいただきお答えください。また、「その他」とお答えの方は、その内容を（ ）内に詳しくご記入ください。
3. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ9月19日(火)までに無記名でご投函ください。（切手は不要です。）
4. この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

《お問い合わせ先》 日高市 福祉子ども部 福祉政策課 福祉政策担当

電話：042-989-2111（代表） FAX：042-985-4444

あなたとご家族についておたずねします。

問1 あなたとご家族についてお答えください。(それぞれ当てはまるものに○)

(1) 性別	1 男性	2 女性
(2) 年齢	1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代	4 40歳代 5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代 8 80歳代 9 90歳代以上
(3) 職業	1 会社員など 2 自営業・自由業 3 農林水産業 4 パート・アルバイト	5 家事専業 6 学生 7 無職（年金生活者など） 8 その他（ ）
(4) 世帯の状況	1 ひとり暮らし 2 夫婦のみ 3 二世帯（親と子）	4 三世帯（親と子と孫） 5 その他（ ）
(5) 同居家族の状況 (ご自身も含み、 <u>当てはまるもの全てに○</u>)	1 就学前の児童 2 小学生 3 中学生 4 高校生 5 65歳以上の方 6 75歳以上の方 7 介護が必要な方	8 障がいのある方 9 妊娠中の方 10 ひとり親家庭の方 11 閉じこもりや引きこもりの方 12 生活に困窮している方 13 地域で見守りや支援が必要な方 14 その他（ ）
(6) 居住地区	1 高麗 2 高麗川	3 高萩 4 高根 5 高萩北 6 武蔵台・横手台
(7) 住居形態	1 一戸建て・長屋建て 2 集合住宅（マンションなど）	3 その他（ ）
(8) 居住年数	1 4年以下 2 5年～9年	3 10年～19年 4 20年～29年 5 30年～39年 6 40年以上

お住まいの地域についておたずねします。

問2 あなたにとって「自分の地域」と感じるのはどれくらいの範囲ですか。(○は1つ)

1 自宅周辺の近隣	3 学区の範囲	5 その他
2 自治会・町内会の範囲	4 日高市全域	()

問3 自分の地域の住みやすさについて総合的にどう感じますか。(○は1つ)

1 住みやすい	3 どちらともいえない	5 住みにくい
2 まあ住みやすい	4 やや住みにくい	

問4 自分の地域や周辺の環境についてどう思いますか。(それぞれ当てはまるものに○)

	そう思う	まあそう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分からない
①あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ	1	2	3	4	5
②子どもから高齢者まで住民による交流が活発だ	1	2	3	4	5
③手助けや見守りが必要な人が多い	1	2	3	4	5
④手助けや見守りが必要な人への関心が強い	1	2	3	4	5
⑤困ったときにはみんなで助けあう雰囲気がある	1	2	3	4	5
⑥地域における支え合い活動が展開されている	1	2	3	4	5
⑦住民が気軽に集える場所がある	1	2	3	4	5
⑧周辺施設が高齢者や障がい者の利用に配慮されている	1	2	3	4	5
⑨防災・防犯・交通など安全対策が充実している	1	2	3	4	5
⑩食料品の買い物で不便や苦労がある	1	2	3	4	5

問5 どのような近所づきあいをしていますか。(○は1つ)

- 1 お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる

2 家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる

3 あいさつ程度である

4 近所づきあいはない
- 下の付問1へ

付問1 あまり近所づきあいをしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 仕事などで家をあけることが多く、会う機会がない

2 近所づきあいはわずらわしいので避けている

3 近所づきあいをしたいが、きっかけがない

4 近所づきあいは重要とは思っていない

5 近所づきあいのほとんどない所である

6 その他 ()

問6 自分の地域で行われている行事や活動などに参加していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 お祭り、盆踊りなど | 8 健康づくりなどの介護予防の活動 |
| 2 体育祭 | 9 老人クラブ活動 |
| 3 清掃・美化活動 | 10 障がい者の福祉活動 |
| 4 防犯・防災活動 | 11 趣味などの生涯学習活動 |
| 5 子ども会活動 | 12 その他の自治会活動 |
| 6 子育て支援活動 | 13 その他 () |
| 7 地域交流・サロン活動 | 14 活動はしていない |

問7 地域活動や行事が活発に行われるには、何が大切だと思いますか。(〇は3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1 住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る |
| 2 住民同士の交流の機会を持てる行事などを増やす |
| 3 自治会活動を活発にする事業などを増やす |
| 4 子ども会、老人クラブなどの活動を活発にする |
| 5 集会所など地域活動が行える場所の整備をする |
| 6 学校や公民館、地域の団体や事業者などと住民との交流の機会を増やす |
| 7 その他 () |

生活する上での課題や福祉サービスについておたずねします。

問8 健康や福祉に関する情報で役に立っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1 日高市の広報紙・ホームページ | 6 テレビ、新聞、書籍からの情報 |
| 2 社会福祉協議会の広報紙 | 7 インターネットからの情報 |
| 3 公共施設に置いてあるパンフレット | 8 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)からの情報 |
| 4 家族や友人・知人などからの情報 | 9 その他 () |
| 5 公民館などの講座 | 10 特にない |

問9 日頃どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 健康に関すること | 6 介護に関すること |
| 2 収入など経済に関すること | 7 老後の暮らしに関すること |
| 3 仕事や生きがいに関すること | 8 地域とのつながりに関すること |
| 4 住まいや生活上の問題に関すること | 9 その他 () |
| 5 子育てに関すること | 10 特にない |

問10 悩みや不安などがあるとき、どこ（だれ）に相談をしますか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 家族・親戚 | 10 地域子育て支援センター |
| 2 近所の人 | 11 地域包括支援センター |
| 3 友人・知人 | 12 障がい者相談支援センター |
| 4 職場の人 | 13 自立相談支援センター |
| 5 民生委員・児童委員 | 14 社会福祉協議会 |
| 6 学校や保育所・幼稚園など | 15 福祉ボランティアやNPO |
| 7 医療機関 | 16 誰に相談したらよいか分からない |
| 8 福祉サービス事業者 | 17 その他（ ） |
| 9 市の窓口や相談 | 18 誰にも相談しない |

問11 日常生活を送る上で手助けしてほしい（行ってほしい）と思うことがありますか。（○はいくつでも）

- | |
|--------------------------|
| 1 通院、買い物などの外出の手伝い |
| 2 洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援 |
| 3 ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事 |
| 4 見守り・安否確認 |
| 5 日常会話の相手 |
| 6 急病などの緊急時の手助け |
| 7 子どもの預かり |
| 8 気軽に行ける自由な居場所づくり |
| 9 その他（ ） |
| 10 特にない |

問12 高齢者や障がいのある人、子育てをしている人などが必要な支援を受けることができるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- | |
|------------------------|
| 1 気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所 |
| 2 何でも相談ができる地域住民による相談窓口 |
| 3 様々な相談先の情報提供 |
| 4 地域の見守りと相談機関へのつなぎ機能 |
| 5 様々な相談を一本化した総合相談窓口 |
| 6 福祉サービス事業者や従事者の質の向上 |
| 7 その他（ ） |

地域福祉を進めるための取り組みについておたずねします。

問13 あなたと福祉との関わりは、次のどれに当てはまりますか。(〇はいくつでも)

- 1 福祉の仕事をしている
- 2 民生委員・児童委員の活動をしている
- 3 自治会、住民自治組織などの活動をしている
- 4 ボランティアやNPO活動をしている
- 5 地域のサロンや見守りなどの活動をしている
- 6 地域の防犯・防災活動をしている
- 7 その他の福祉活動（ ）

→下の付問1へ

- 8 いずれの活動もしていない

→下の付問2へ

付問1 活動するきっかけはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 地域をより住みやすくしたいから | 5 自分の生きがいや健康管理に役立つから |
| 2 社会や人のためになる活動がしたいから | 6 持ち回りの当番制となっているから |
| 3 知識や技術を身に付けたいから | 7 友人や知人に誘われたから |
| 4 新たに友人や知人を得たいから | 8 その他（ ） |

→付問2 地域で活動していない主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

- 1 学校、仕事、家事などが忙しくて時間が取れない
- 2 育児や介護を必要とする家族がいる
- 3 家族や職場の理解が得られない
- 4 活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない
- 5 身近に活動グループや仲間がいない
- 6 活動する情報がない・少ない
- 7 健康に自信がない
- 8 活動のための費用を負担できない
- 9 興味の持てる活動がない
- 10 活動する上での人間関係がわずらわしい
- 11 地域になじめない
- 12 その他（ ）
- 13 分からない

問 14 身近な地域で住民が助けあい支えあうために、どのようなことが大切だと思いますか。(○は5つまで)

- 1 困ったときの相談先や福祉サービスなどの情報提供
- 2 学校や社会教育の場での福祉教育の充実
- 3 地域住民の活発なふれあい活動や相互扶助活動の促進
- 4 地域における福祉活動の意義・重要性の普及啓発
- 5 住民が主体となった福祉事業の実施
- 6 ボランティア活動の機会の充実と活動への支援
- 7 福祉事業にたずさわる専門的な人材の育成
- 8 地域福祉活動を率先して行う熱心なリーダーの育成
- 9 その他 ()

問15 あなたが手助けできると思う地域での支えあい活動は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 通院、買い物などの外出の手伝い
- 2 洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援
- 3 ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事
- 4 見守り・安否確認
- 5 日常会話の相手
- 6 急病などの緊急時の手助け
- 7 子どもの預かり
- 8 気軽に行ける自由な居場所づくり
- 9 その他 ()
- 10 特にない

問16 地域での支えあい活動をより活発にしていく上で必要な条件はどのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1 好きなときに活動できること | 6 くわしい知識や高度な技術を必要としないこと |
| 2 子どもや見守りの必要な家族を預かってもらえること | 7 お金がかからないこと |
| 3 自宅に近い場所で活動できること | 8 その他 () |
| 4 活動時間がそれほど長くないこと | 9 特に条件となるものはない |
| 5 同世代の人が多いこと | |

問17 あなたの身の回りで起こる福祉の問題に対して、あなたはどのように思いますか。
(それぞれ当てはまるものに○)

	そう 思う	そう 思わない	分 から ない
①自分自身や家族で解決できることは、まずは、自ら努力して解決すべきである	1	2	3
②自分自身や家族で解決できないことは、地域で力を合わせて解決すべきである	1	2	3
③地域で解決できないことは、公的な機関が解決すべきである	1	2	3
④地域で解決するより、更に公的なサービスにお金をかけて、公的機関が全て解決すべきである	1	2	3
⑤現在の公的なサービスを維持しつつ、可能な限り地域で解決できるようにするべきである	1	2	3

◆最後に、地域福祉に関してご意見がありましたら、自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。
お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
9月19日(火)までに投函してください。

2.地域福祉に関する 市民ワークショップ報告書

(1) ワークショップ実施概要

目 的

日高市では、地域を取り巻く現状や課題、解決に向けての取組などを話し合い、住民主体の地域福祉を進めるため、「地域福祉に関する市民ワークショップ」を開催し、第3次日高市地域福祉計画の策定に役立てるもの。

○募集と応募状況

無作為抽出した18歳以上の2,000名に案内を発送し、20代から60代の21名の応募があった。

【第1回】

- 日 時 : 平成29年9月19日(火)
19:00~21:00(18:30~受付)
- 参加者数 : 17名
- 課題と進行 : (現状の理解)
ワークショップの目的と手順の説明、現状の説明など

【第2回】

- 日 時 : 平成29年10月10日(火)
19:00~21:00(18:30~受付)
- 参加者数 : 12名
- 課題と進行 : (良いところと悪いところの整理)
地域福祉の現状に対する意見と、そこから見える課題を抽出する。

【第3回】

- 日 時 : 平成29年11月16日(木)
19:00~21:00(18:30~受付)
- 参加者数 : 13名
- 課題と進行 : (改善案)
前回の現状と課題に対し、解決に向けた提案などをまとめる。

【第4回】

- 日 時 : 平成29年12月14日(木)
19:00~21:00(18:30~受付)
- 参加者数 : 12名
- 課題と進行 : (どんな福祉のまちにしたいか)
現状の問題やその解決策から、具体的な取組などをまとめる。

【第5回】

- 日 時 : 平成30年1月18日(木)
19:00~21:00(18:30~受付)
- 参加者数 : 16名(市民13名、事務局3名)
- 課題と進行 : (地域福祉の目指す姿)
前回までにまとめた取組などから理念や方向性をまとめる。

(2) ワークショップ実施結果

第1回-意見交換の要約

(現状の理解)

ワークショップの目的と手順の説明、現状の説明など

■ A班の意見交換

近所で協力して雪かきした
同じ班の人は分かる
子どものつながりで知り合いになる
世代間交流できている（コミュニケーションも）
地域の人との交流がない
古い人のグループができている
新しい人入りにくい（地区・体育祭）
自治会以外にも防災会がある
自治会あってもつながりがない
自治会に加入してない



■ B班の意見交換

「困っている」という発信ができない
災害時の助け合いどこまで関わり
団地からまちができているのに駅前ばかり整備している
認知症の方との関わり方
災害時に助け合いができた
駅を使うより車で移動
ひとり親家庭生活困窮
移送問題
団地の整備を
子ども食堂あればいいけど負担が
歩いて移動する間にベンチ



■ C班の意見交換

街灯が少ない

不足する社会資源

水道代が高い！水圧が高い？

自動車交通面での不安がある

Onlineで互助ができる仕組みは？

交通機関が不便→高齢者増加への対応は？

ネットワーカーのつながりが続かない

あいさつができない←→親同士のつながりが減少

交通信号がない（不足している）安全意識

都心<八王子<日高安心感はあるが

日中子どもたちはどのように遊んでいますか？

学校までの途上でも事故の不安、道幅が狭い（主幹道）

安心して外で遊べる環境か？大人の目が届かないところがある

地域のコミュニケーションが良好だと防犯面でも安心

習い事があるし親同士の情報交換の中で遊ぶことを調整している

今の子どもたちはゲームで遊んでいることが多い・・・

ケアマネジャーが少ない気がする→サービスの調整が必要

眼科耳鼻科が少ないか産婦人科も

ポッポ道の不審者、何か問題があるか？

子育てに経済的なインセンティブがあるともっと子育てしやすい

転居してきたばかりで家の中で遊んでいることが多い（兄弟）



第2回-意見交換の要約

(良いところと悪いところの整理)

地域福祉の現状に対する意見と、そこから見える課題を抽出する。

第1回目：A班の発表より

■ 意見のまとめ

「いざという時のために地域で備えておこう」というテーマについて主に話し合いをした。

中でも「外出」に関しての意見が多く、公共交通機関の便が悪い、巡回バスが少ない、日用品や食品を購入できる場所が近くにないことが悪い点として挙げられた。その改善案として移動販売などの案が出た。

地域の外出に関する話とは異なるが、良い点として、防災訓練を地区でやっている、駅の改装やエレベーター設置等の対応が障がい者にとっては良かったと思う。

「つながり」というテーマに関しては、ボランティア活動が話題となった。ボランティア活動の参加者は興味のある方が参加すると思われるので、学校の授業でボランティア活動を取り上げるなどすると良いと思った。

サロンは大切だが認知度が低いので高めていき、地域の助け合いがあまりないのでそこを良くしていくと良いと思う。

福祉に関しては必要な人に情報が届いていない。既存の広報などは掲載箇所が分かりづらかったり、そもそも情報が少なかったりする。各個人の家で無線を聞くことができるケーブルテレビ会社の防災お知らせサービスを利用すれば情報が届くので、参考になる。



第1回目：B班の発表より

■ 意見のまとめ

「情報」が重要であると意見が出た。情報は主に広報紙や回覧で得ているということが分かった。

自治会の班の中での情報共有があり、認知症の方がいたとするとその方の情報を班で共有できている。だが、家から出てこない方の情報は共有されないため、どのような対応をして良いのか分からない。

情報が入手しづらい理由としては、地域のサロン活動などに参加しないと入手できなかったり、また参加する人が限られている。夏祭りや体育祭などはとても情報を入力するためには有益である。

自治会館の老朽化や自治会への参加状況なども情報共有の課題となっている。



第1回目：C班の発表より

■ 意見のまとめ

日高市の特性について様々な意見が出た。自然が豊かで空気がいいとか、土地が広い、子どもたちが安心して遊べる、歴史や文化などである。

学校区ごとの特色がある。例えば高麗の方は学校の規模が小さかったり、昔ながらのお互い慣れ親しんでいる所があり、高麗川、高萩、高麗と学校区ごとに地域の特性が違っている。そういった地域特性の違いなども生かしながらまちのことを考えていったらどうか、という話も出た。

課題としては情報収集と相談場所について話が出た。ボランティアリーダー、ボランティア活動を進めたいという人をサポートするような仕組み、子育てネットワークなどの活動をしたいという人をネットワーキングしていくような場づくりなどの案が出た。

デジタルデバイドの解消も大切なのではないかな。インターネットやIT関連の機械を使える方と使えない方との格差を埋める。学習の機会を提供したりする。その結果、日高市は情報格差やIT格差の解消にまで取り組む自治体と認識され、他市との差別化にもなるのではないかな。



第2回目：A班の発表より

■ 意見のまとめ

自然など日高市の「地域の特性を生かす」ために様々な意見が出た。

土地MAPという形で、自然や、遊休地、魅力などを、地域のボランティアの方などに情報提供してもらい形にする。

その次の展開として、テレビなどのメディアを利用し外に発信していく。また日高市内だけではなく周辺のMAPを作成することで、病院など市内だけでは不十分と思われる施設が分かるようにする。

メディアに関しては地域情報専門チャンネルを作り、「このチャンネルを見れば間違いなく地元の情報を得られる」という環境を作り、そこに補助金なども出してもらえたら良いと思う。



第2回目：B班の発表より

■ 意見のまとめ

市民同士の交流が福祉には必要なのではないかという話になった。

世代間交流が、もうちょっと活発になると子どもたちとお年寄りの交流につながると良いのではないか。

日高の特徴として、昔から住んでいる人と、開発によって新しい世代が入ってきた地域がある。その世代や地域間でのつながりが薄い。自治会未加入世帯への対応の問題もある。

循環バスで小さいワゴン車タイプの巡回ができる車両があると良いのではないかと話が出た。



第3回-意見交換の要約

(改善案)

前回の現状と課題に対し、解決に向けた提案などをまとめる。

A班の発表より

■ 意見のまとめ

日高市の長所を伸ばすことについて主に話した。

高麗神社が有名なので、韓国の方を呼んで国際交流をすると良いのではないかな。その際に日高の歴史を良く知っている高齢者にボランティアガイドになっていただくことで、イベントを盛り上げられるのではないかな。

日高は歴史が有名。例えば高麗が挙げられる。高麗の歴史は地元の方は良くご存じだと思うが、日高市全体で知られているわけではない。そのため、日高市民が広くその歴史を知ることができる仕組みや場所があると良いのではないかなという意見があった。

大人が交流できるイベントや企画があると良いのではないかなという意見があった。だが、興味がない企画では交流の場に参加してもらえないので、楽しいから行こう、と思わせる内容を作ることがポイントだと思われる。

男性が集まる場所が地域に少ないので、どんな場であれば男性が集まるかの意見出しをした。公園で麻雀ができる場、釣りや囲碁、バードウォッチングができる場などがあると男性たちが集まってくると案が出た。

地域の助け合いの部分からネットワークについては、奥様世代のネットワークが強く情報が拡散する傾向がある。こういう方たちのネットワークを活用していくと、つながりや情報も広がっていくのではないかなという話になった。



B班の発表より

■ 意見のまとめ

広報紙の活用、ボランティア、サロン、大きく分けてこの3つの話題が中心になった。

アンケート結果では「情報は広報紙から受ける」という方が多かった。

そのため、広報紙にイベント情報を掲載し、更にそこに応募用紙をつけると更に参加が増えるのではないかという案が出た。

ボランティアに関しては参加のハードルを下げ、楽しさを感じられるようにすると良いという意見が出た。

例えば東京オリンピックを見据えて楽しめるボランティアのきっかけづくりや、隣の人のごみ捨てを手助けする程度の行為をボランティアと認識するようにすることで、ボランティアは気軽にできる活動という機運を高められるのではないか。

サロンについては様々なジャンルのサロンを作ることが良いという話になった。例えば大人数で賑やかなサロン、こぢんまりと行うサロン、趣味に特化したサロンなど。

一家庭に一サロンというレベルで様々なニーズに応えられるような展開ができると良いのではないか。



C班の発表より

■ 意見のまとめ

“つながり”をメインテーマに議論した。

様々なつながりに関しては非常に大切だというのが共通認識だった。例えばご近所、地域のつながりなど。

一方でつながりを築く難しさが浮き彫りになった。なぜなら今の時代はご近所や地域とのつながりがなくても便利に情報やサービスを受けたりできる時代だからである。

とはいえ、つながりの重要性を感じることもある。例えば、東日本の震災のときや大雪のときなどに感じるがあった。ご近所同士で声をかけ合ったりしたことで、災害時には安心感につながったという声があった。

つながりを作るためには半強制的な取組も大切だと思われる。自治会や子ども会というのは半強制的な側面があり、嫌がられる部分もある。しかし自治会や子ども会を通じて地域のことを知るきっかけにもなる。そのため半強制的な取組もつながりを作るためには悪いことばかりではないという考えもあった。

現在私たちが実施しているワークショップのような取組もつながり作りには有効だという意見があった。一つのテーマに対して参加者が意見交換をすることでお互いの考えを知り、つながりが生まれると思われる。



第4回-意見交換の要約

(どんな福祉のまちにしたいか)

現状の問題やその解決策から、具体的な取組などをまとめる。

A班の発表より（前半）

■ 意見のまとめ

日高市に詳しい方に依頼し、語り部を行っていただく。そして日高の歴史などを次の世代に継承していけるようにしたい。地元の小学校、中学校、高校と連携すると良いと思う。広報で「こういう人がいます」と、募集すれば集まってきて広がると思う。

大人が交流できるイベントや男性が参加できるイベントなどが改善案として出た。昼ではなく夜に集まることを考慮すると、バーベキューや日本酒の会なども良いのではないかと。そのようなものであれば男性も参加でき大人も集まるという意見があった。

自分たちができる会の集客としては、回覧の使用や口コミ、掲示板やスーパーなど目につく場所に掲示したい。また、目で見えるものだけではなく耳に聞こえる情報が入ってくると、自分が必要だと思ったものをキャッチしやすい。例えば防災無線が挙げられる。その他でも耳から情報を入手できるような方法があると良いと思う。

災害時、各班で集まってから避難場所へ行くという現状であるが、そこを自分たちで広げていきたい。そのためにまず「あいさつ運動」を実施し、市民が地域を回ってキャンペーンをすると良いのではないだろうか。今まで顔を知らなかった人とも顔なじみになれる。自分たちで始めるには、まず自分からあいさつを始めるというのが大事だという意見が出た。



A班の発表より（後半）

■ 意見のまとめ

男性はバーベキューなど火を使うことが好きなので、その特性を利用すれば地域参加につながると考えた。場所としては巾着田を利用し屋間にバーベキューをしてその流れでお酒を飲む。そのほかに焼き芋イベントなどの案も出た。そのような内容であれば男性も来るし子どもも来るのではないかと。

映画やドラマなどのロケ地をきっかけに日高に興味を促す案が出た。日高市内に映画のロケ地があるので、女子高生や主婦などから広げていくことで、日高の歴史などに興味を持っていただくきっかけに利用できると思う。

日高には年間を通じて様々な食べ物や行事がある。巾着田の曼珠沙華などは有名。そのような日高の有名なものを年間を通して体験できる計画を立てることが有効だと思う。更にコースマップを作成することで周囲の人に知らせることもできるようになると思う。



B班の発表より（前半）

■ 意見のまとめ

市民が自ら市をPRしていこうという話になった。例えばカフェ、サロン、店舗などで市民レポーターになってもらいマップにまとめてSNSで拡散をする。Instagramを導入し使い方に詳しい高校生にボランティアで指導をしてもらう。

多ジャンルのサロンがあると選択肢が増えて良いのではないか。そのためにはまず各自が現在存在しているサロンに参加していることで、不足しているサロンが見えてくるのではないか。

近所の人に声をかけてみる。すれ違ったときにあいさつをする。この行動こそが見守りにつながると思う。それを推進するために「声かけの日高市」のように市がキャッチコピーを作りあいさつ運動を市全体に広げていったらどうだろうか。市全体があいさつをする機運が高まることが大切だという意見が多く出た。



B班の発表より（後半）

■ 意見のまとめ

ワークショップで出た意見をまとめるためにキーワードを出すことを意識した。その中で「あいさつのまち、日高」そういう意見にまとまった。更にとにかくコミュニケーションを取る機会、取れる機会を増やしていこうという意見が出た。

キーワードとしては、「関わる」「触れる」「知る」「歩み寄る」「巻き込む」。地域の人を「気にする」「気にかける」。「支える側でもあり、支えられる側でもある」「分けない」。

これらのキーワードを元にコミュニケーションの機会を増やしていければ良いと思う。



C班の発表より（前半）

■ 意見のまとめ

男性を地域でデビューさせることについて意見出しをした。男性は地域の活動に参加しづらい、具体的な役割がないと外に出ない、という傾向があると思われる。そのような男性を参加させる具体例としてひまわり探検隊の大人版のメニュー化が挙げられた。ひまわり探検隊は小学生向けのプログラムで様々な体験メニューがあり、選択して体験できるというもの。メニュー化することで男性の参加促進につながると思う。

学校の先生が教えられないようなことを父親が子どもたちに教えるアイデアも出た。例えばプログラミングなど。

災害時の対策に関しては日頃の市民同士のつながりが必要。数年前の大雪の際には雪かきの呼びかけをしても不参加の方もいたので、つながりがあれば呼びかけもでき、災害時に良い連携ができると思う。行政には防災無線が聞こえづらい現状があるので、改善が必要なのではという提案もあった。



C班の発表より（後半）

■ 意見のまとめ

活動に参加しようとしても、既にコミュニティが出来上がっていて途中参加しづらいことがある。特に新たに日高に転居してきた方に居場所がない場合もある。そのため、参加の機会があっても溶け込めない場合もある。そのような話の流れから、そもそも地域とは楽しいところなのか？という意見交換にもなった。

新たに地域参加していただくためには古くからいる人が声を掛けたり、場を提供するなどをあきらめずに行う場や人が必要だと思う。

男性は特に地域社会で活動をしづらい傾向があるので、埼玉県で実施している「ひっぱりガール」のような存在が有効なのだと思う。

リターンを促進できると良いのではないかと。同窓会に関する情報提供、日高の求人情報、豊かな住環境などを発信することで、日高で育ち日高を巣立った方々が戻ってくることもつながるのではないだろうか。



第5回-意見交換の要約

(地域福祉の目指す姿)

前回までにまとめた取組などから理念や方向性をまとめる。

■「地域に暮らしているみんなが福祉のことを理解しよう」についての要点

1. 情報発信受信の強化
2. 情報ツールの格差是正
3. ケーブルテレビ情報の入口
4. 情報を育てる

大きなツールとして情報が重要だった。情報は発信と受信の両方が必要である。更に情報入手ツールのリテラシー格差があるため、情報の入手経路を作りこむなど、情報を育てるという考え方が大切だ。

■「地域に暮らしているみんなが福祉活動に取り組もう」についての要点

1. きっかけは身近な所
2. 自己紹介
3. 出会える機会
4. 気軽に
5. 間口が広い

地域福祉や活動に出会うきっかけが大切だと思う。出会いのきっかけは身近なところにあり、自己紹介が相手との距離を縮める。間口を広く、気軽に参加できる環境づくりが、意見を実現する要点になると思う。



■「地域の特性を生かしみんなのつながりを広げよう」についての要点

1. 男性の参加
2. 楽しい
3. 記憶に残る

つながりを広げるためには男性の参加率を高めることが鍵だと思われる。そのために、「楽しい」「記憶に残る」という結果が要点になると思われる。

■「利用する人を考えみんなで地域福祉サービスを高めよう」
「いざという時のために地域で備えておこう」についての要点

1. サービスを知る
2. お互い様
3. 感謝を伝える

地域で一緒になってサービスを高めることと有事に備えることに、共通項が多い。そのため「サービスを高める」と「備え」の二つのテーマに関してはワンセットで考えた。まずはサービス内容を知ること。そして「お互い様」の心を持ち、行政や市民からサービスや手助けなどを受けたときに「感謝」を伝えることが重要だと思った。



(3) 総 括

全5回を通した流れとして、現状の把握から課題を掘出し解決策を提示した上で、その根本にある要素となるキーワードを抽出した。

この結果を元に参加者の声を以下に総括する。

【地域に暮らしているみんなが福祉のことを理解しよう】

○意見を実現するための要点

1. 情報発信・受信の強化を図る。
2. 情報の格差を少なくする。
3. ケーブルテレビ等を利用し、視覚から情報を得られるようにする。
4. インスタグラムなどのSNSを情報伝達手段として拡充し、それらをPRして、利用促進を図る。

地域福祉を理解する上で、まずは情報の発信を今まで以上に行うとともに、受信側(市民等)も地域福祉に関心を持ち、情報にアクセスするなどの強化を図る取組を進めることが大切である。その際に、情報格差を可能な限り少なくできるような工夫をすることも大切である。一例としてはケーブルテレビやYouTubeなど動画による情報発信を行い、視覚から情報を得られる取組も必要だと考える。また、インスタグラムなどのSNSによる情報発信手段にも力を入れ、地域福祉に触れる機会や情報拡散も必要である。そのためには情報入手方法についてもPRを行い、受信側(市民等)の利用を増やす方策も講じることが大切である。

【地域に暮らしているみんなが福祉活動に取り組もう】

○意見を実現するための要点

1. 地域福祉活動のきっかけは身近なところにある。
2. 自己紹介(自分から歩み寄り)で相手との距離を縮める。
3. 出会える機会を増やす。
4. 気軽に始められる、参加できる機会を増やす。
5. 受け入れ側の間口を広くする意識が必要である。

地域福祉活動に取り組むにはまずは体験、経験してみることが大切である。その中で新しい出会いや発見があり資源の発掘につながる。そのためには身近にあって、気軽に参加できる環境づくりやイベント、ボランティアなどのきっかけとなる取組ができると良い。参加する側は自ら歩み寄り、相手との距離を縮める意識を持ち、受け入れ側は間口を広く敷居を低くする意識が大切である。

【地域の特性を生かしみんなのつながりを広げよう】

○意見を実現するための要点

1. 男性の参加を進める。
2. 楽しいと思える取組を行う。
3. 記憶に残る取組を行うことで次につながる。

つながりを広げるためには男性の参加率を高めることが鍵だと思われる。参加を促すよう男性が得意とする、また興味の湧くようなイベントの開催などが考えられる。そのために参加して楽しいと思える、みんなの記憶に残る取組にしていくことが重要である。

また、つながりを広げるきっかけとしてあいさつや声かけ活動を進め、地域のコミュニケーションを図れるようになると良い。

【利用する人を考えみんなで地域福祉サービスを高めよう】

【いざという時のために地域で備えておこう】

○意見を実現するための要点

1. どのような地域福祉サービスがあるかを知る。
2. お互い様の気持ちが大切である。
3. 感謝を伝える。

地域で一緒になってサービスを高めることと有事に備えることに、共通項が多い。そのため「サービスを高める」と「備え」の二つのテーマをワンセットとして考えた。

まずは地域福祉サービスを知ること。情報格差を少なくできるような工夫が必要である。提供する側も多くの手法や場面で情報を拡散していくことが必要である。

また、支える側、支えられる側の一方的な立場ではなく「持ちつ持たれつ」「お互い様」の関係や感謝の気持ちを地域に築いていくことが大切である。

いざという時のために普段から近所を把握しておくことが必要である。そのためにはあいさつや地域の祭り、イベントなど世代を超えたつながる取組を行い、関わりを作っておくことが大切である。

まとめ

平成 29 年 9 月から平成 30 年 1 月まで計 5 回開催した地域福祉に係る市民ワークショップでは現状の把握、課題の抽出、解決に向けた提案、具体的な取組、地域福祉の目指す姿、理念の提案についてワールドカフェ方式にて意見交換を行い、最終的に地域福祉の目指す姿についてまとめた。

地域福祉の目指す姿

地域福祉を理解するために発信側の情報伝達手段の拡充を図ること、受信側の利用を増やすための方策を講じることが大切であり、より多くの手段を用いた情報の発信・受信の強化を図っていく必要がある。

地域福祉活動のきっかけは身近なところにあり、気軽に始められることが大切で、そうした取組に参加できる機会を増やす必要がある。

きっかけからつながりを広げていくには、男性の参加率を高めることが鍵である。そのために楽しいと思える取組を行うことが大切である。また、あいさつや声がけの活動もつながりを広げるきっかけとなる。

つながりを広めた地域福祉サービスを高めていくためには、「お互い様」の関係や感謝の気持ちを地域に築くことが大切である。

また、地域での備えについては、日頃から近所を把握しておく必要があり、そのために世代を超えたつながりを作っておく必要がある。

最後に

地域福祉を推進するための要点となるキーワードは当初から参加者から出されており、ワークショップを進めるごとに更に共通理解を深め、具体的な取組についても多く提案された。市民が日頃から感じている課題を地域福祉計画の理念や目標、施策に反映し、より実効性のある計画としたい。

3.地域懇談会報告書

(1) 地域懇談会の概要

目 的

第3次日高市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に当たって、直接地域の方々から地域の課題やニーズについて、意見を伺うため、地域懇談会を開催した。

開催日程

学校区名	会場名	開催日	開催時間
武蔵台学校区	武蔵台公民館	1月16日(火)	19:00~21:00
高麗川学校区	高麗川公民館	1月17日(水)	
高麗学校区	高麗公民館	1月19日(金)	
高根学校区	高麗川南公民館	1月23日(火)	
高萩学校区	高萩公民館	1月24日(水)	
高萩北学校区	高萩北公民館	1月25日(木)	

対 象

- 地域住民の方で関心のある方
- 関係者(区長・自治会長、民生委員、地域ボランティア、当事者団体の方など)

方 法

- 市福祉政策課から地域福祉計画等に関する基本的な考え方について説明を実施した。
- その後、参加者を6~8人程度のグループに分けて、グループ検討を実施した。
討議のテーマ(前半:地域の課題について、後半:課題解決に向けた取組・提案)
- グループごとに検討、協議した内容を全体で報告し、共有した。

備 考

地域福祉計画、地域福祉活動計画の策定を一体的に進める観点から、日高市福祉政策課と日高市社会福祉協議会共催により実施した。

(2) 各学校区の内容

○武蔵台学校区

開催日		平成 30 年 1 月 16 日（火） 19:00～21:00	会場	武蔵台公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者 (17)	民生委員・児童委員 12 名 区・自治会 1 名 ボランティア・一般 4 名		
	事務局 (8)	市福祉政策課長ほか 3 名 市社会福祉協議会事務局長ほか 3 名		
意見の 要旨	【高齢者】			
	課題		取組や解決法	
	・ 独居の高齢者 ・ 独居の高齢者の認知症 ・ 夫婦で認知症 ・ 在宅介護 ・ 8050 問題 ・ 支援が必要な人からの発信がない ・ 災害時の高齢者・障がい者の避難		・ 歩いて行ける範囲に集まれる場所を作る ・ 包括支援センターと連携 ・ 男性の活躍の場を作る ・ 医療の充実 ・ 近所での声かけ ・ 行政で共助の仕組み作り	
	【地域】			
課題		取組や解決法		
・ ご近所の騒音トラブル ・ 枯葉の処理 ・ つながりが薄い ・ ゴミ屋敷 ・ 若い人が少ない ・ 若いボランティアが少ない ・ ショッピングセンターに人が集まらない ・ 空き家が増えている ・ 空き家の草木が伸び放題 ・ 空き駐車場が多い ・ 飯能市永田台との連携 ・ 横手台のグランド活用		・ 分譲住宅が建った時期ごとにグループができていて、助け合い活動が行われている ・ 世代間の交流ができるイベントの開催 ・ 空き家を高齢者の共同施設や仮住居として活用 ・ 空き家を活用して集まれる場所を作る ・ 空き家バンクシステムの整備 ・ 空き家をシェアハウスに		

	・住民の集まる場所が狭い ・福祉ネットの人材養成	・飯能市と連携して、重機の待機場として横手台のグラウンドを降雪時の対応に活用している
	【移動】	
	課題 ・交通が不便 ・坂が多くて自転車に乗れない ・買い物が不便 ・店がない ・高齢者には坂が大変	取組や解決法 ・健康のための運動など坂を逆に利用する ・買い物小路を作る ・デマンド交通の充実 ・シャトルバスの復活 ・電動車いすのレンタル
	【子ども】	
	課題 ・子どもの声がクレームになっている ・学校と住民の連携がない ・子どもの見守り	取組や解決法 ・見守りを公的な活動に ・子どもの遊べる場所を増やす
	【その他】	
	課題 ・劇場や映画館、入浴施設がない ・居酒屋がない ・経験豊かな人材が多いが地域で生かされていない	取組や解決法 ・地域の良い所を発信 ・SNSなどの発信力を高め、「住みたいまち」にして若い住民を増やす ・除雪ボランティア、夏祭り、ラジオ体操、自治会のサークル活動、月1 青空市が強み

○高麗川学校区

開催日		平成 30 年 1 月 17 日（水） 19:00～21:00		会場	高麗川公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者 （14）	民生委員・児童委員 7 名 区・自治会 7 名			
	事務局 （6）	市福祉政策課主査ほか 1 名 市社会福祉協議会事務局長ほか 3 名			
意見の 要旨	【高齢者】				
	課題 ・ 独居の高齢者世帯の増加 ・ 見守りが必要			取組や解決法	
	【地域】				
	課題 ・ 自治会へ加入しない人がいる ・ 行事への参加が少ない ・ 役員の担い手がいらない ・ 若い人がいない ・ 福祉や防災の担当者が欲しい ・ 空き家の増加 ・ 地域の活動に関心が薄い ・ まとまりのある所や行事をしない所など、それぞれ地域特性がある			取組や解決法 ・ 5 年先 10 年先を見通しての後継者作り ・ 行事に参加を促しつながりの醸成や人材を育成 ・ 行事の楽しさを根気強く進める ・ 区の強みを責任者が進める ・ 子どもが参加することで将来につながる ・ 行事で賞品を出す ・ 参加費を集めないで行事を開催 ・ 区のお金を使って楽しむ地域を参考にする	
	【個人情報】				
	課題 ・ 個人情報の壁 ・ 亡くなっても分からない ・ アパートにどんな人が住んでいるのか分からない ・ 支援が必要な人の情報がない			取組や解決法 ・ 転入者紹介のルール作り ・ 転居届の情報配付	

【移動】		
	課題 ・免許返納で、日常生活の移動ができない ・移動手段がない	取組や解決法 ・コミュニティバスの運行 ・おたすけ隊の利用
	【子ども】	
	課題 ・子どもが少ない ・子どもの声をうるさく感じる住民がいる ・子どもの見守る活動に休みが欲しい ・地域の行事に子どもの参加が少ない	取組や解決法 ・食べ物を作って、食べる行事やイベントを開催

○高麗学校区

開催日		平成 30 年 1 月 19 日（金） 19:00～21:00	会場	高麗公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者 (6)	民生委員・児童委員 5 名 ボランティア・一般 1 名		
	事務局 (6)	市福祉政策課主幹ほか 1 名 市社会福祉協議会事務局長ほか 3 名		
意見の 要旨	【高齢者】			
	課題 ・ 独居の認知症高齢者 ・ 独身の息子は無関心 ・ ごみ出し問題 ・ サービスの利用を拒否 ・ 行方不明者		取組や解決法 ・ 公民館や公会堂を活用してサロンを開催 ・ 地域で見守り活動ができている ・ 心配なことがあると民生委員に連絡が入る	
	【地域】			
	課題 ・ 自治会や老人会の担い手がいらない ・ 県道沿いの店が閉店し始めた ・ 空き家が増えている ・ 区同士の関係が薄い		取組や解決法 ・ 世代間交流の行事を計画する。 ・ 宴会・カラオケ会等コミュニケーションのための飲食や話す機会を作る	
	【子ども】			
	課題 ・ 部活動数が少ない ・ 元気な子どもの声が聞こえない ・ 学校の児童・生徒数が少ない ・ 自然はたくさんあるが、外で遊ばない ・ 活気がない		取組や解決法	
	【移動】			
	課題 ・ アクセスが悪い ・ 高齢者の交通手段を考える必要がある		取組や解決法	

	【その他】	
	課題 ・ 遠足の聖地は良いことだが、住民が小さくなっている ・ 道路環境が良くない ・ グリーンゾーンが右側・左側が一定しない ・ 歩道に樹木がはみ出している	取組や解決法

○高根学校区

開催日		平成 30 年 1 月 23 日（火） 19:00～21:00	会場	高麗川南公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者 (10)	民生委員・児童委員 7 名 区・自治会 3 名		
	事務局 (7)	市福祉政策課主幹ほか 1 名 市社会福祉協議会事務局長ほか 4 名		
意見の 要旨	【高齢者】			
	課題 ・ 独居の高齢者 ・ 独居の高齢者の認知症 ・ 夫婦で認知症 ・ 在宅介護 ・ 自分のことは自分でやるという人が増えている ・ 老人会の会員は多いが活動しているのは一部の人 ・ 個人情報の壁		取組や解決法 ・ ひだまりサロンが大変役に立っている ・ 中鹿山におしゃべりできる場があると良い	
	【地域】			
	課題 ・ 自治会の協力が無い ・ 近隣同士とのあいさつができない ・ 自治会への加入が減っている ・ 地域の人たちと話し合う機会が減っている ・ 同じ地区でも知らない人が多い ・ 自然災害 ・ ゴミ問題 ・ 空き家の増加 ・ 迷惑駐車 ・ 庭木など環境整備ができていない ・ 40 代の夫婦は共稼ぎが多く行事に参加できない ・ ボランティアの高齢化		取組や解決法 ・ 各地区で工夫して懇親会を開催 ・ 東急祭が続いている ・ 自主防災組織ができている ・ 若い世代に行事に参加してもらう	

	・ 地域の高齢化	
	【子ども】	
	課題 ・ 子どもの交流が少ない ・ 道路で遊んでいる ・ 学校行事などへ親の協力が少ない	取組や解決法 ・ もちつきがあつて子どもが集まる ・ 子ども向けに夕涼み会、クリスマス会を開催 ・ 新１年生にお祝いをする ・ 学校応援隊として、シニア世代が活躍

○高萩学校区

開催日		平成 30 年 1 月 24 日（水） 19:00～21:00	会場	高萩公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者 (13)	民生委員・児童委員 6 名 区・自治会 4 名 ボランティア・一般 3 名		
	事務局 (7)	市福祉政策課主幹ほか 1 名 市社会福祉協議会事務局長ほか 4 名		
意見の 要旨	【高齢者】			
	課題		取組や解決法	
	・ デイサービスを利用しているがお金がかかりすぎる ・ おたすけ隊の協力者が高齢化で縮小の心配があり、おたすけ隊がピンチ ・ 高齢者の独居 ・ 補聴器をなかなか利用しない ・ 高齢者宅の雪かき		・ 区長・民生委員OBから、高齢者の見守り活動を目的としたゆうゆうクラブが数年前に発足 ・ サロンのように高齢者の居場所を作る ・ 学校区ではなく複数区で担うおたすけ隊の仕組みが必要 ・ 高齢者の見守り活動	
	【移動】			
	課題		取組や解決法	
	・ 病院への送迎が問題になっている ・ タクシー券について ・ 買い物や通院など、日常生活のための交通が不便		・ 近隣の住民で、買い物の手伝い ・ コミュニティバスの運行	
【地域活動の参加】				
課題		取組や解決法		
・ 半強制的に役員をしているなど役員のなり手がいない ・ 自治会への未加入者が多い ・ 子ども会の活動ができない ・ 子ども会へは加入するが、自治会へは未加入		・ サークル活動 ・ 若い人がいるスポーツに参加する ・ 口コミで広げていく ・ 自主防災組織を強制的に立ち上げ、任期無期限とし、宣伝する ・ サロンの開催		

	・ くりくり元気体操への参加者に男性が少ない ・ 自主防災組織がなく若い人の協力が難しい ・ 若い人と高齢者とのコミュニケーションが取れていなかったり接点がない ・ アパートの住民が多くなり、地区との関わりが少ない	・ 自治会への加入促進を不動産・市・区の三者で協定している
	【地域】	
	課題 ・ 子どもたちの通学路が狭い ・ 子どもの見守り組織が不十分 ・ 空き家の増加 ・ 樹木が伸び放題 ・ ゴミ屋敷 ・ 野良猫 ・ 生活困窮者	取組や解決法 ・ 空き家をオレンジカフェなどで利用し、隣組などによる管理 ・ ゴミ屋敷を地域の協力で片づけた ・ たすけあい日高で空き家調査
	【結婚】	
	課題 ・ 結婚相手が見つからない	取組や解決法 ・ 市でお見合い大作戦を実施する
	【仕事】	
	課題 ・ 障がい者の就労先を増やすべき	取組や解決法 ・ もっと門戸を広げる

○高萩北学校区

開催日		平成 30 年 1 月 25 日（木） 19:00～21:00		会場	高萩北公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者 (12)	民生委員・児童委員 区・自治会 ボランティア・一般	9 名 2 名 1 名		
	事務局 (7)	市福祉政策課主幹ほか 2 名 市社会福祉協議会事務局長ほか職員 3 名			
意見の 要旨	【高齢者】				
	課題			取組や解決法	
	・介護の問題 ・介護施設や介護スタッフ不足 ・認知症の人との関わり方が分からない ・孤独死			・高齢者が気軽に集まれる場所を作る ・高齢者が楽しめる活動を広げ宣伝する ・魅力ある公民館活動に高齢者を集める	
	【地域】				
	課題			取組や解決法	
・市の規模が小さすぎる ・行事への参加が少ない ・地区の活動に非協力的 ・集合住宅の住民の多くは、自治会に加入しない ・自治会に加入せず、退会する人が増加 ・若い人が少ない ・近所の人に声をかけられない ・大雪時の除雪 ・母子家庭が多い ・家族構成が多様化している			・周辺の市と連携する ・数市でまとまる ・住民が主体的に取り組めるような施策が必要 ・自治会活動を活発化させる ・自治会加入を強制化 ・区の運営を行政で ・あいさつ運動 ・若い世代の同窓会で、地域に戻ってきて活気を取り戻す作戦 ・団地の費用でブルドーザー購入 ・隣近所で協力して一緒に雪かき ・地区の行事や懇親会に参加		

【移動】	
課題 ・ バスの廃止、免許返納で移動手段がない ・ タクシー券の今後が心配 ・ 自家用車がないと不便	取組や解決法 ・ かわせみバスの復活 ・ おたすけ隊のような活動を増やす ・ 市営コミュニティバスの運行
【子ども】	
課題 ・ 児童が少なくなり、通学班がなくなりつつある	取組や解決法 ・ どんどん褒める ・ あいさつ運動
【その他】	
課題 ・ たき火の煙が迷惑 ・ 畑の砂ぼこりが道路にたまる ・ 庭木が道路にはみ出している家がある ・ ゴミ問題	取組や解決法

(3) 総 括

○各地域に共通して抽出された主な課題

- ・ 区・自治会などのコミュニティ活動、民生委員・児童委員などの担い手がいらない、役員等の後継者がなく困っている。
- ・ 地域おたすけ隊など、地域のボランティアについても、担える人が偏っており、需要に対して供給が追いつかない状況下にある。
- ・ 地域の高齢化に伴い、移動手段がなく外出に不便をきたしている。路線バスの廃止に伴い、市の主要な機関への外出に大きな不便を感じている。
- ・ 若い世代や新しく転入してきた人が地域の活動に入っていない、きっかけづくりが必要と考えるが妙案がない。

○各地域における主な課題

【武蔵台学校区】

- ・ 独居の高齢者や認知症のみの高齢者世帯が増えており、外出の機会が少なくなってきた。困っているという発信ができない。
- ・ 空き家が増えていて、防犯上、衛生上の心配がある。
- ・ 移動や買い物に不便さを感じている。

【高麗川学校区】

- ・ 住民の行事への参加が少なくなっている。
- ・ 地域の活動に関心が薄い住民が多い。
- ・ 隣近所に誰が住んでいるのか分からない。

【高麗学校区】

- ・ 学校の児童・生徒数が少なく、中学校の部活動の数が少ない。
- ・ 観光地が多く、シーズンになると日常生活に支障が出る。
- ・ 子どもが少なく活気がない。

【高根学校区】

- ・ 地域の住民や活動に関心が薄い人が多く、つながりが弱くなってきている。
- ・ 地域の活動が衰退している。
- ・ 共働き世帯が多く、働く世代の地域活動への参加が少ない。

【高萩学校区】

- ・ 買い物や通院のための交通が不便である。
- ・ 地域ボランティアの高齢化や担い手不足により縮小せざるを得ない状況にある。
- ・ 若い世代の地域に対する関心が薄い。

【高萩北学校区】

- ・ バス路線の廃止や免許返納で移動手段がない。タクシーがつかまりにくい。
- ・ 畑とその周りの住民との共存をする必要がある。
- ・ 家族構成が多様化している。

○まとめ

地域懇談会で話し合われた課題や取組内容等を踏まえ、地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定するとともに地区社会福祉協議会の設置や地域資源の開発、地域活動など具体的な取組を進めていく際の参考としていく。

平成 29 年度
第 3 次日高市地域福祉計画策定に向けた
市民意識調査
市民ワークショップ
地域懇談会
報告書

発行年月：平成 30 年 3 月

発 行：日高市
編 集：福祉子ども部 福祉政策課
住 所：〒350-1292 埼玉県日高市大字南平沢 1020 番地
電 話：042-989-2111
F A X：042-985-4444